

1. 件名:「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-129)、
廃棄物管理施設(104)、MOX 燃料加工施設(2-86))」

2. 日時:令和5年12月11日(月)13時30分~18時20分

3. 場所:原子力規制庁 10階会議室(TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

古作企画調査官、大岡主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、藤原主任安全審査官、新井安全審査官、小野安全審査官、上出安全審査官、山口係員

日本原燃株式会社 燃料製造事業部

燃料製造建設所 許認可業務課長兼再処理事業部 副部長 他3名

5. 要旨

(1) 日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)から令和5年12月7日の提出資料に基づき、申請対象設備に係る具体的な設備等の設計(MOX 燃料加工施設)について確認を行った。

(2) 日本原燃から、主に、以下のとおり対応する旨回答があった。

- ・申請対象設備に係る具体的な設備等の設計については、代表性、網羅性の考え方を整理して、構造設計や評価に係る説明が補足説明資料も含めて網羅的に示されるように拡充する。

6. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

7. その他

提出資料

なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和４年１２月２６日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和４年１２月２６日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和４年１２月２６日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和４年１２月２６日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html
- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和４年１２月２６日）
「日本原燃（株）から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html
- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和５年２月２８日）
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000242.html
- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和５年２月２８日）
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000243.html
- ・ 令和５年１２月７日
「日本原燃（株）再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	公開しました、規制庁ヤマグチですとそれではただいまから日本原燃とのヒアリングを開始しますと本日のヒアリングは令和4年12月26日に申請があった再処理施設だ。
0:00:12	廃棄物管理施設、また令和5年2月28日に申請があったMOX燃料加工施設の設工認申請について、資料をもとにヒアリングにて事実確認を行うものになります。
0:00:23	ヤマザキ成長側の出席者を紹介いたしますと、本庁会議室からアライフジワラカミデオノヤマグチオクれて、コサクが参加します。
0:00:36	あとその他部会の参加で、下ハバサキ、
0:00:40	以上になります。それでは日本原燃の方から出席者の紹介と本日の議題の構成の説明をし、資料の説明力、
0:00:49	企業力、
0:00:51	説明をお願いし、
0:00:55	はい、日本原燃事務局の中浜です。
0:00:58	日本原燃側の出席者紹介いたします。
0:01:02	Steeringチームより、イシハラ、
0:01:05	サポートメンバーといたしまして、ヤマダキクチ。
0:01:10	あとMOX及び再処理の事務局参加させていただいてございます。
0:01:15	本日ご確認いただきます資料は、共通12、MOXの説明グループ1です、こちらの資料1から3及び資料4。
0:01:25	これに関連する個別補足説明資料といたしまして、閉じ込めの02、
0:01:31	A案いうー09以上、合計三つの資料です、こちらの確認をさせていただきたいと思います。
0:01:38	それで共通12側から説明の方開始させていただきます。
0:01:46	はい、三浦西原でございます。それでは共通中に、資料1から3関係の変更点の説明をさせていただきます。
0:01:55	まず資料1になりますが、資料1は、後ろの方のページでいきますと、
0:02:01	132ページ、133ページ。
0:02:06	134ページに及びがあると思います。
0:02:10	ですね。
0:02:12	まず130233、134の一番頭の方の及びの方は、
0:02:18	共通的な話でして、これ入ってなかったのがすいません町間違いだつたことで施設共通として建屋内に棒、安重関係の防護対象施設を収納すると。
0:02:30	設計方針を紐付けておく必要があったんですが抜けていたので、

0:02:34	追加をし、適正化をさせていただいたっていうのが、今、冒頭の3点で ございます。
0:02:43	はい。
0:02:46	一番最後にですねタケヤ70設備への航空機落下、134ページの一番 下も同じですね同じような観点で、もともとすいません設計としてはこう いうことで考えてたんですがうまく記載できてなかったという点でござい ます。
0:03:02	はい。続きまして資料2でございます。
0:03:07	資料につきましては、まず、これを資料1から3と切り分けて説明する っていうのがなかなか難しいところがありますけど、
0:03:16	ほとんど資料4関係のリンクをとるために使用表の記載項目を追加を したと。
0:03:27	いうポイント。
0:03:30	が、大部分でございます後は、
0:03:33	ちょっとページがどこがいいかですけど、例えばですけど、100317ペー ジとか見ていただきますと、
0:03:41	左の方、29番と書いてあるところ添付書類の構成が左側123IV、6列 目ですかね。
0:03:50	にありますけど設定根拠説明書のリンケージをとるといったことであつた り、あとは使用表として、右から1234列目ですかね、4、
0:04:01	の一番下のように、仕様表の項目を出したりという関係で整理を記載を 追加をしたということでございます。
0:04:11	はい。あとは、
0:04:15	逆戻しで言うて欲しくですけど耐震関係でいきますと、
0:04:21	構造設計と評価項目のリンケージがうまくまだ取れてなかったので、記 載をさせていただいてます196ページとかで括弧書きで、設計項目右 から123IV、5列目ですかね。
0:04:36	構造設計評価のところには他の条文では輪形状発生たんですが、耐震関 係がうまく今までできてなかったの、
0:04:44	割り込みましたが、
0:04:46	これもまだちょっと修正が必要だと思ってまして、何をという今言う点で いきますと、
0:05:00	小石。
0:05:05	入ったり、あと、
0:05:07	例えば213ページを見ていただきますと、

0:05:11	設計項目、上から構造設計でナンバー59-1、その次の評価のところ が、ナンバー59-1 とのリンケージだけではなくて事業の 117-122-1 と、
0:05:24	ということで複数のリンケージが貼ってありますこれ
0:05:27	重要なナンバー14 のところは、Sクラスの施設はSsに耐えるように、
0:05:34	に対して機能を損なわない設計とするという、いう耐震設計の大上段に 構えているところがあるんですが、
0:05:41	当然耐震評価って資料 4 でも出てきますけど、フローでそれぞれの条 件設定をして、計算をして、構造、構造が持つということを許容限界との 比較で見ていくということで、
0:05:54	一連の流れがありますので、どこか対一というよりは、どんどんリンケ ージが増えていくということになりますタダ之アノ。
0:06:02	後は子供、子供っていうのかな、ダテが後ろの方で追ってるところはリン ケージついてるんですけど、
0:06:09	親元が一番最初のところにすねどこと力があるかが欠けてなくてす ねカタカタ方向のアノ。
0:06:16	状態になってますのでこれは双方でリンケージが取れるように整理をし ていこうというのが、
0:06:21	思っているところですそういう修正を今後加えていきたいと思ってい るところでございます。
0:06:27	はい。
0:06:28	いえ。
0:06:29	今言った 2 点以外の修正という意味でいくと、
0:06:39	落ちた。
0:06:46	失礼しました。すみません。
0:06:49	ちょっと待ってください。
0:07:05	すみません資料には主にその 2 点ですね。はい。修正したポイントは、 になります。はい。
0:07:12	ちょっと資料 3 と私が勘違いしてたので
0:07:17	資料には、
0:07:22	表とかいった補足説明資料が書いてある表。
0:07:27	文章。
0:07:29	はい。
0:07:35	これどっちにしろニイヅ、A4 の表載ってない。
0:07:42	俺、ない。
0:07:44	イダセンターありましたすみません。

0:07:50	361 ページ資料 2 の参考になりますけどこの個別補足説明資料の一覧ということで一番最後の 16 条搬送設備、
0:08:00	これちょっと体制も含めてまだ見直しが必要だと思ってますがこれ本来ですね今回搬送ゼロイチつけなきゃいけなかったんですが私のコントロールがうまくなくて恐縮でございます。
0:08:11	途中で容量の設定側に搬送設備のウエイトの追加をした部分ですね、ちょっとこちらの中でミスコミュニケーションが発生して、
0:08:24	資料 4 の補足説明にすればいいだろうということで一旦、資料 4 側に寄せてしまったので、
0:08:31	そうではなくて搬送設備としての最初であったり、
0:08:35	今回核燃料物質に法令上も該当しないような劣化ウランのところでも、
0:08:41	こういった搬送設備に対する考慮というのをやってますよということも含めて全体がわかるように整理をしてもらおうということで、もう一度搬送 01 を、資料 3 件を復活をして、
0:08:53	整理をしてます。この搬送装置は、後程ちょっとスケジュールをちゃんと設定して提示をさせていただきたいと思います。
0:09:02	はい。資料 2 関係は以上です。
0:09:10	資料 3 でございますが、
0:09:14	を、
0:09:16	誤字脱字の、
0:09:18	絡みの整理、プラス、
0:09:21	先ほどの、これも資料 4 絡みと言えは 4 がらみですけど、
0:09:26	392 ページみたいに評価のところ、どんな条件との関係かというのを追加をしたと。
0:09:32	というのが他にも同じような感じの追加が発生していますと。
0:09:37	ということと、
0:09:40	中身的なものでいきますと、
0:09:45	前の堀田土田。
0:09:50	中身コレカサ
0:09:55	搬送機械装置搬送設備の関係で 3、617 ページでいきますと、
0:10:05	これ青字が構造設計のところ追加されてますがこれ貯蔵設備等、ラックピット棚の分類とこの機械装置搬送設備が取り合いのところですね。
0:10:15	その部分も今回、機械装置搬送設備側で説明をしますのでそういったリンクージの部分で、
0:10:21	追加をしていると、ということ。
0:10:24	あと 618 ページ、これは前回
0:10:29	のヒアリングですかね、外部になった貯蔵設備の、

0:10:33	シラガウタを遮へい蓋の上に置いて重ねておくようなものをこの設計上の考慮ということの追加をしています。
0:10:41	その関係の図面がですね、
0:10:45	これ審査会合の前に出したやつで出していたので青字なんか図面の方が上手く追加っていうのが明示できてませんが、
0:10:53	658 ページ、659 ページですねこちらで、
0:10:58	遮へい物の取り扱いに対する落下防止の考慮であるとか、蓋同士を重ねるときに、下にある蓋と上にある蓋の乗員藤堂を設計上考慮しているかと。
0:11:09	いうことの図を大田させていただいているということでございます。
0:11:17	はい。
0:11:19	はい。資料 3 までの変更点の説明は以上です。あとすいません個別補足ですがすいませんでした。
0:11:26	あと個別補足。まず閉じ込めの関係で、オープンポートボックスとかフードの開口の設定の話。
0:11:34	2 回ほど前のヒアリングだったと思いますがご説明をした以降出せてませんでした。
0:11:41	等を、まず取り込みの 2 の方がオープンポートボックスの例えば絵を見ていただくとするとマスキングなのであまり大きくわかりませんが 5 ページについて宇津。
0:11:52	こういったことでいっぱいポートがあると。ナカDどのポートを、何個ほど最大あける可能性があるかという説明を、その前の文書でそれぞれの
0:12:02	オープンポートボックスに対して説明を数拡充してます。どんな作業をするのかということと、1 人で作業するということを想定しているものは、その作業の内容が 1 人でできるような内容であることを、ちゃんとわかるような、
0:12:16	記載、2 人でやる場合もどんな作業をやってるのをやるので、2 人作業になる。だから 2 人が両手を入れるとすると 4 個のポートが来ますと、
0:12:25	というようなことの説明を拡充をさせていただいてます。
0:12:30	はい。
0:12:32	今後
0:12:34	複数の作業が発生する場合に同時にそういうことをしないっていうのは制限としては今後、保安規定等で定めて管理をしていく必要があるというのは認識をしているというところでございます。
0:12:45	はい。

0:12:47	フードの方は、24 ページにある、フードは審査会合の資料でもいろいろ議論させていただいたフードの形状ですね、は合わせて修正をしています。
0:13:00	ということでございます。
0:13:03	あと案いう 09、こちらは内部発生し産物に対する設計実施設備野瀬選定ということで、
0:13:09	実際、添付書類、基本設計方針含め、要求事項としてあるのが、
0:13:16	右下 3 ページにあります。
0:13:20	内部発生飛散物によって安重呉の設備防護対象施設が機能を損なわない設計とすると。
0:13:27	ということを、
0:13:28	あとMOXを取り扱うグローブボックスについては、
0:13:34	グローブボックス内に粉末容器以外の重量と取り扱うクレーン等の機器及びグローブボックス外側近傍 26 を取り扱うクレーン等を置かないと。
0:13:43	ということで対象としているグローブボックスが、防護対象になる場合は重なるところがありますので、
0:13:49	そういったものを輪形状といいながら整理をさせていただいたということでございます。
0:13:55	具体的には 5 ページ以降に表を載せています内部発生飛散物防護対象設備がある部屋物と部屋ですね、の関係、そこに対してMOX粉末を取り扱うグローブボックスがあるのかなのかと、ということでございます。
0:14:10	さらには、
0:14:14	右下 13 ページで飛散物となりうる機器の選定ということで、
0:14:19	受内部は生産物の発生要因として重量物の落下であったり回転機器の
0:14:25	回転部分と、飛散をして、それによって重機が故障するといった、その分類に応じた整理をしたということでございます。
0:14:37	それが右下 14 ページ以降の表でございます。
0:14:41	いわゆる防護対象機器がある部屋とそれに対して飛散物なり得る機器の関係、あとはそれをどういうふうな設計をしていくかということ。
0:14:52	申請対象設備が自体が飛散物と利益になる場合には、その開示とその設計はその開示に合わせて説明をしていくということ。
0:15:01	あとは搬送設備側とリンケージがある場合もありますので例えば 19 ページですかね右下に、
0:15:09	下の方に出てくる表の、搬送設備側の添付書類とのリンケージと。
0:15:13	ということも整理もさせていただいてます。

0:15:18	また、加害者がですね申請対象設備にならない場合がありますのでそういったものについては、
0:15:27	右下 26 ページのように、部屋炉対象物が 1 バーにした上で※を打って一番右側に対策状況ということで、
0:15:38	飛散物とならないように整理をしている、設計をしているので、対象となる飛散物の利益はこの部屋にはありませんよといったようなことがわかるような整理をしたと、いうことでございます。
0:15:51	はい。全体としての説明以上にあります。
0:15:56	規制庁の荒井です。
0:16:00	とりあえず資料 4 を飛ばし資料 4 の評価にかかわらないところをメインに説明いただいたと思っています。
0:16:09	それで資料 1、3 に限らず、本文から少し考え方とか、確認したいとかおさらいしたいという部分もあるかもしれませんので、
0:16:19	まず本文からちょっと確認していきなと思ってます。対象は本文 38 ページ目まで、
0:16:27	の話と、あとはもう楠田と設計説明分類と説明グループの話が別添 2-78 から 82。
0:16:36	ていうところで示されていますので、
0:16:39	ここを最初に、
0:16:41	おさらいとさしていただければと思っております。
0:16:49	規制庁側から、特に、
0:16:53	本文等については、
0:16:56	何か確認したりとかっていうのはございますか。
0:16:59	はい。規制庁岡です。じゃ、ちょっとまず今回、追加された点について幾つか確認させていただきます。2 ページ目で提出リストを、
0:17:09	をつけてもらってこれでコントロールしていくと、これ今までのリビジョンで再処理側だけ、
0:17:15	明日リーマックスだので出したりっていうものは、ここの提出リストでコントロールしていくということでまずそういう認識でよろしいですか。
0:17:24	はい、日本イシダでございますはい。なるべくメッシュが細かくなならないようにと思いながら管理できる範囲ということでこの共同管理していこうと思っております。
0:17:34	はい。清ツボクラです。それで、今回その添付 1 とか添付 2 が、
0:17:41	まず一つずつグループが出た段階で、こういう整理をしているんですがその中で、説明グループごとにごう、

0:17:50	出すメッシュというかあと資料4のメッシュとかもあると思うんですが、そういうのはそれぞれの個別の、目次のところで、コントロールしていくということですか。
0:18:02	はい。日本原燃者でございます。はい。おっしゃっていただいている通りで大枠の管理はこの2ページ目。あとはそのナカ添付1添付の中のメッシュについては添付1添付の一番頭に出てくる。
0:18:14	リストをこれで管理をしようと思ってました。
0:18:17	はい、規制庁ですその様子はわかっていました。3ページ名で、今回添付一位が、資料4だけツジになって、資料4が今まで別に、
0:18:29	充てられていたものを添付1と添付2の中に、それぞれ施設ごとに入れるっていう、
0:18:34	これはわかったんですが、
0:18:36	ゴコウ、藤城4だけ辻井アノ添付1だと例えば、資料4だけツジだと。
0:18:42	混乱してしまうんじゃないかと思うんですが、うん。
0:18:46	%どうされますか。
0:18:53	はい、乳井エリアでございますはい。ありがとうございますおっしゃっていただいているのは1ページ挟んでこの状態だと確かに混乱しそうな気もするので、目次自体意義下3ページをですね。
0:19:06	この2ページ目のメッシュに合わせて、
0:19:11	ナカミキアキヤマ河津にそれぞれの添付に預けるという形で整理させていただければと思います具体的には別添、
0:19:19	あと添付1、添付2、参考参考資料と、参考参考資料というのがおかしいと。
0:19:26	その上一緒ぐらいを、3ページが2泊という形で整理できればと思います。はい。でもその方がいいかなと何度も同じ情報を書いてしかもその不整合があつたら混乱してしまうので、
0:19:38	そのぐらいのメッシュ慣例でかつ1ヶ所でコントロールするという形の方が、
0:19:43	いいかなと思った次第です。
0:19:45	やっと引き続きですみません今出てきた参考なんです、2ページ目で、今回11月16のものを、
0:19:53	つけてまして、設計説明なり説明グループも、
0:19:58	16日のリビジョン0をつけてるんですが、
0:20:01	この辺で会合では、もう具体的にどうするか、明日、会議の資料が午前中に出てきますが、
0:20:07	説明グループの方は多分更新しなきゃいけないと思うんですが、
0:20:12	やっぱり施設の申請設備の概要の中にある、

0:20:15	申請図、
0:20:17	対象設備数とかですね、そういうのも本当は変わんなきゃいい、資料としては整合しない状況だと思うんですが、その辺ってどう考えられていますか。
0:20:28	はい、日本ネシアでございますはい。今回修正をかけられる、かけている点だけに絞りたいと思います。おっしゃっていただいている点も、
0:20:39	介護資料上は今後さらに精査を進めますということになってますさせていただきますので、そういったステータとの整合を図っていくということが必要だと思いますので、
0:20:52	それとタケシタアノ。
0:20:54	対象物をつけるということだと思いますはい。はい。社長。はい、わかりました。その位置図、位置付けは、各資料例えば参考の資料の中で、このフェーズは今どういう状況ですとか、
0:21:06	そういうことがわかるようになってた方がいいかなと思います備考で書いていただいてもいいのかもしれませんが、ちょっとそういう配慮が、
0:21:14	最低でもそこまで細かく見る人はいないかもしれませんが国民向けで、不整合が生じているような資料になってしまうという懸念もありますので、そのフェーズを
0:21:24	あるせ性がある場合は、そういう配慮をお願いします。
0:21:32	はい、宮城ニシダでございますはい、承知いたしましたリスト上今回つけるものの対象とそれぞれの市大井受ける位置付けはつけない場合は当然3項の中に、の備考なんですね、ここに位置付け現状のステータスなりを、
0:21:46	わかるように記載をさせていただきます。はい。規制庁勝です。とりあえず大枠私から以上です。
0:21:56	はい。非常アライですか。
0:21:59	1本分関係冒頭の部分で、
0:22:03	確認等あれば、
0:22:05	規制庁ヤマグチです。
0:22:07	ちょっと一斉について、
0:22:10	今回の申請で何を説明するかっていうところをちょっと確認しておきたいんですけども。
0:22:17	溢水については
0:22:19	昔申請第2回申請では回収化して最終的に次回の申請で正式評価して関係するっていう方針であったと思うんですけどそういったものをちょっと説明、どこまで説明するかっていうのがちょっと気になってて、
0:22:35	現状その

0:22:37	この資料で 79 ページから説明項目っていうの隅括弧で表されてるのは主に被害者が
0:22:46	防護対象はこの設計の説明項目食う
0:22:50	うん、しか見えてないところなんですけども、そもそもそのMOXの建屋内において 1 制限としては何があって、
0:23:00	今回その申請対象設備に対する防護設計としてどういう説明をすかってこうざっくり大枠の方針とかあれば、説明いただけますか。
0:23:17	はい、日本インダでございますはい。ありがとうございますおっしゃっていただいている通りだと思っていたただ、
0:23:24	リースイデウエキでつけなかった。
0:23:26	1 回ん時。
0:23:29	第 2 回で出てくるのが、第 1 回から第 1 回は屋外の話、建屋への水の侵入の話をやりますということ。
0:23:40	第 2 回では第 2 回第 3 回は、被害者になる防護対象設備を出しますということ、
0:23:48	機能喪失高さの設定の考え方なりをそこで整理をしていくということで、 とはいえ、おっしゃっていただいたようにMOXでの溢水に対する設計の考え方というものを、
0:24:02	が、
0:24:04	医師資料 1 の、
0:24:10	でも 4 回、
0:24:11	入れない内田これは、
0:24:14	うん。
0:24:16	1 制限も含めた全体の考え方をどうしていくかということがおっしゃっていただいている考え方を、第 1 回でいくと溢水 01 で分割申請の話、あと今でいくと、資料何ページなんです。10、
0:24:33	139 ページで一斉とかの考え方をですね今、資料 1 の、これは別添 9 でつけている状態になってますタダシマアノ。
0:24:47	ベースは基本設計方針を述べるからここでくるけど、これ全部もらってるけど、これってどういう意味だ。
0:24:54	臨床全体のイシイとしては、設備、冷却設備とかこういう説明みたいに出てくればいいけど、はい。出てこない人って、
0:25:05	そうです。
0:25:07	ある。
0:25:08	現場メーリングでありました。
0:25:10	この全般的に戻るっていうと 1 末の話を第 2 回でするんですかっていうと、

0:25:15	cないんだよね。はい。
0:25:19	それが第4回に預けようとしてんだよね4回がいいかどうか議論があるけど、
0:25:24	その辺の話を全体を整理しないとこれタダまざったらもう誤開の方もいないと、はい。
0:25:30	はい入園者でございます今130何ページ、139ページも若干まだ誤解を生みそうな気がするので、
0:25:38	まず139ページのその表のですね整理をして各階ごとで何を説明していくのかという整理をさせていただきたいと思います。その上でご説明できるようにしたいと思います。ただ
0:25:51	現状でもすでに悩みところありまして、溢水の場合
0:25:57	防護対象設備単位ですが、実際の機能喪失高さとか評価高さっていうかねこれを設定するには、区画ごとで、
0:26:05	やらないといけないということからすると、その第2回出てくる申請対象設備の仕様表にですねその区域の、溢水高さっていうか、評価高さみたいのが登場します。
0:26:17	これがどこから出てきたかって説明しないといけないというのが前提であると思ってまして、そこの整合というでどこまでは説明するかっていう整理をしないといけないと。
0:26:27	ということだと思います。ここもまた、
0:26:30	ミソが1個あってですね、分割申請する。
0:26:33	9個とD2階と三階にその区画の中の設備が分かれてしまうと、それもまた将来の枠取り第2回の申請対象設備の、
0:26:44	仕様表の中で、その区画の溢水、評価用の高さを設定するということになるので、この辺の担保を、個別補足も含めて全体どうやって仕切っていくかという整理をしないといけないと思ってますので、
0:26:57	そういった大枠の全体整理をさせていただいて、先ほど139ページも含めた全体の話、ストーリー性起こった説明ができるようにさせていただきます。
0:27:09	規制庁山口です。私も気になってたところ今、どんどイシハラさんがおっしゃっていた、
0:27:17	通りで、
0:27:18	なので、
0:27:21	第1回位は屋外の溢水、
0:27:26	屋外からの流入防止っていう説明なので
0:27:30	保守的に屋外の水源っていうのを見積もって高さっていうところで説明して完結はできたんですけど今回屋内で、

0:27:39	結局 1 水源が今回出てこないやつがあったりあとそもそも批判、
0:27:45	10 とかそういったものの 1 水源の考慮とかもあって、
0:27:50	結局
0:27:52	頭仮評価して、
0:27:54	溢水の水位没水でいうと、高さこんだけなので、もう私はある。
0:27:59	それより高い位置に、
0:28:02	設置する設計としますって説明するにあたって結局その溢水量の見積もりっていうところでは、
0:28:08	耐震数補強とかしてるのがあればそういったところの説明とかも、今回、
0:28:14	説明するのとかちょっと、やっぱり水源側の方がどの範囲まで説明するのかが気になってるので、
0:28:22	今整理されるっていうことだったのでちょっと
0:28:25	よろしくお願いしますということで、
0:28:28	また、
0:28:29	確認できればと思います。
0:28:34	はい、宮城西田でございますはい。承知いたしましたはい。
0:28:39	以前お出ししたそうですね自分とこで出してるものも数日もらってなくて以前、令和 4 年 9 月 6 日に出している溢水 01 レビジョン 9 の、
0:28:49	資料で見るとですね、そのときも同じような議論になって 1 階から 4 階までどういう整理の仕方なんですかというやりとりがあって、その中で開示ごとの整理をして、
0:29:02	その中の通しの 11 ページのところですね 2 階 3 階 4 階でそれぞれ何が出ていくかと、それ対象設備区画図、
0:29:11	対象設備リストを水源溢水量、溢水評価結果、下水道 5 設備、いわゆる対策設備ですね今言ってるのを設計と、
0:29:24	いうもので、2 階 3 階は溢水防護対象設備のリストまで、設備を特定して区画を特定してリスト化するという話をした上で、4 階で 1 制限含めた全体の流れに持っていくと。
0:29:40	いうことを説明してはいるんですけど、実際これが全体の申請の、基本設計方針との関係も含めて、どうなっていくかということ整理できればと思います。
0:29:52	はい。規制庁山口ですよろしくお願い。ちょっと私も第 1 回のところをちゃんと釧路市で確認しておきますが、ちなみになんですけど MOX、
0:30:01	それがちょっとこれまでの資料に現れてたら申し訳ないんですけど、1 制限って、

0:30:08	結構あるんですかっていうか今回申請対象となってる設備のが設置されてる区画内に、やっぱり制限っていうのはいて、もういるんですかね。
0:30:26	はい。人間者でございます基本的にはアノを張りほど多くないですただ
0:30:33	候補になる設備も中にはありますんで防護対象設備になってもそれを冷やすための水が循環してるものも中にはありますので対象物の近くに水源が全くないというわけではないです。
0:30:45	ただ、それも含めて溢水にならないように考えたいですねあとはMOX粉末を露出した状態で扱う、いわゆる工程室地下3階の工程室の、
0:30:56	メイン部分は許可のときからもう溢水高さゼロだと、そこには水は入れないというのが基本コンセプトですという説明をしまするので、それと関係の考え方は特に変わってません。
0:31:09	規制庁山口です。わかりました。ありがとうございます。
0:31:14	期間は以上です。
0:31:17	それ超過ですじゃあ、ちょっと今の話に関連してなんですが、
0:31:22	MOX側は、第4回までの間に、それぞれ申請対象設備を仮担保取ってやっていくっていうことは第1回に定めた方針で、
0:31:32	その申請対象とか、あとそれに対する価格は明確にしていって上で、泉減衰量は仮担保をとっていくと、まずそういう、
0:31:42	ところも変わってないっていうことですよ今この説明だと。
0:31:45	はい、二本木吉田でございますはい。変わっておりません。はい。江藤河津 それで最初ニワは今回もう第2回で、最終審査になるので全部、
0:31:56	実施して食うわけですが、す。
0:32:01	MOXをサンプル的に扱っ
0:32:04	今やっている中で例えば、
0:32:07	グループさんでしたかね、衛藤。ちょっと評価の話になって申し訳ないんですが評価とかって、
0:32:15	ところ、この共通12の種類の枠組みで話していくんですか。
0:32:23	はい、日本峰社でございます。今言われたようなですね再処理側の資料4でいう評価等MOX側の評価部分のコラボというかどちらで先陣切ってやって枠組み決めてみたいな。
0:32:38	話のことですかね。はい。社長から、そのタイミングもちょっと微妙な気がするのにはMOX側でサンプルを示してやっていく方がいいと思っている一方、MOXは仮評価になるっていうのもあって、
0:32:49	ちょっと今伺った次第なんですけど、そこはい、弓削2社でございます私が、どっちの立場で言うか難しいですけど溢水に関しては、ちょっと木製事業が難しいなと思ってまして。
0:33:03	正直先ほど、山口さんの会費ご質問に回答した時のいわゆる

0:33:08	防護区画ごとの評価高さもですね、いわゆる仮設定になったりするし、
0:33:14	それも含めて資料 4 としてそれを条件設定で扱うかという、全体の枠組みも示せないのに、それは使うのも辛いなということで、
0:33:25	現状は構造設計側資料 4 側で吉尾さん側でそこを担保できるような形に持っていけないかなという思ってましてそれが若干最初にやろうとしてることと、差が出るんじゃないかなと。
0:33:37	思ってますということも含めて、一斉については再処理で枠組みを決めるということ、MOXIはMOXの今の申請の特性を踏まえた設備の範囲に限定した形になるということの差が出るかなと思ってました。
0:33:50	はい、規制庁カシマそこまで、
0:33:54	大体整理されてるといことであと今後
0:33:58	どういうふうにしていくかというところの整理との兼ね合いを見ながら、確認していきたいと思います。ありがとうございます。以上です。
0:34:08	はい。規制庁の荒井ですけど。
0:34:11	ちょっと
0:34:12	まず、
0:34:14	先ほどの 79 ページですか。
0:34:17	79 ページ目と。
0:34:21	ちょっと私本文の方見てたんで、24 ページ目って、
0:34:26	79 ページ目の方が正しいってことでいいんですよね。
0:34:36	79 ページ目だと、12 条の記載が、関連条文で出てきて、24 だと出てこない。
0:34:46	24 ページか。
0:34:53	はい。日本原燃志田でございます。そうですねおっしゃっていただいた 79 ページが正しいものというか全体を示したものであります。かなりかいつまんだ説明をするために
0:35:07	簡略化しているのが本文側について表ですので、それとの関連でいくと、MACCS情報が入ってるのは 79 ページがということです。了解ですわかりました。じゃあ 79 ページ目を最新のものとしてちょっと、
0:35:20	ていただいて、
0:35:22	あとは結局、ちょっと最後の確認なんですけど、
0:35:26	仮設定とか言ってたじゃないすか機能喪失高さの、
0:35:32	今回、
0:35:34	決めるのって、各仕様表に出てくる、設置高さ、
0:35:39	ていう理解だけでいいですか。
0:35:42	機能喪失高さは、
0:35:45	仕様表に書いてあるんでしたっけ。

0:35:50	区画と設置高さぐらいしか書いてなかったような気がしたんですけど。
0:35:57	ちょっと記憶違いだったら申し訳ないです。
0:36:14	稲毛インダでございます。設備の機能喪失高さもあるんだよね。
0:36:20	その主婦は1宮脇ニッタアノ区画の中での一番低いものの、機能喪失高さを区画としてのその溢水の考慮が必要な高さとして書いてますので、はい。はい。
0:36:33	ちょっと今話を聞いて私もこれ本当にいいのかなってちょっと整理をさせていただかなきゃいけないと思ったのが、
0:36:38	二階と三階で同じ区画のものが分かれた場合に、二階で登場する設備で一番機能喪失高さが低いものを、その区画での考慮が必要だとかそれと書いてるようなので、
0:36:51	段階で上書きされてしまう可能性があるかと。
0:36:55	というのは、傾斜上どちらか並べて一番厳しい方で検査をすればいいんだらうなという気もしながらも、
0:37:02	これって分割申請とはいえどう本当にいい、正しい姿なのかをちょっと考えたいと思います。
0:37:10	悩ましいですよ。補足説明も含めないと情報が全部ピックアップできないから、
0:37:16	でもこれ書かないと駄目なんじゃないの。
0:37:19	図面に書くか。
0:37:22	図面率の点線かなんかで書いといて、
0:37:25	各、
0:37:27	遅くからん。
0:37:29	でも、仕様表に書いてある数字が補足でしかわからないっていう。
0:37:35	そういうこと。
0:37:37	ちょっと全体整理します。はい。はい。
0:37:40	わかりました。それでは
0:37:42	機能喪失高さっていうところまではもう設備特化しているので、書けるとは思っているんですけど、
0:37:50	仮評価っていう言葉が、
0:37:54	出てきたと思うんですが、仮評価って具体的に何するんすか、溢水量の没水高さとかまで出すんですか。
0:38:02	ちょっとよくわからなかったんですけど。
0:38:06	与儀ニシウラでございます。例えば、第1回時は屋外の棒、オク建物を申請対象設備にして、
0:38:16	その建物2、建屋外で起こる溢水が侵入することはありませんということ、

0:38:25	1 制限それこそ最初でいろいろ揉めている水源を、
0:38:29	結構大盤振る舞いで全部イデにしてぶちまけて敷地全体でならして、
0:38:35	10センチだったかな、2ぐらいになりますそれに対して、それ以上の開口、開口部の高さがあるので、水が入ってくることはありませんということの説明をしています。それを、
0:38:48	あくまでMOXとして1の1のってか同じ会社なんですけど、最初に施設の1制限になる申請対象設備みたいのも含めて、
0:38:58	ある種説明をしているので、そこを概略評価として、当て込みでやった部分があります。将来的にはちゃんと最初に申請も全部そろったところを見ながら、
0:39:09	結果的に対それを超えることはありませんでしたっていうか開口部高さが十分余裕があることに変わりはありませんのか、そういったことを確認できるような情報をインプットしていくという全体の流れがあるかなと思ってます。
0:39:22	そういった意味で1回常盤建屋がイデー1水源の溢水量と溢水による溢水高さを概略評価として銘打って書かさせていただきました。
0:39:32	その次の話で、二、三回目っていうのは、オクないじゃないですか。屋内機器に対して、その溢水のハザードってどうやって設定するんですか。
0:39:49	日本原燃社でございます。
0:39:53	多分井清様自体の概略評価は難しいかなと思いますんで何も出てこないんで申請対象設備で出てくる人が三階に例えばいれば、その中での冷却水を、総量が何ぼかっていうのは含めて書けるとは思いますけど、
0:40:10	なかなか先ほど山口さんのご質問に回答したどこを溢水高さとしてどう設定していくか、それに対して、溢水、
0:40:21	区画をどう設定しているかということ香月その区画の機能喪失高さじゃないな、考慮する高さをどうしていくかということの設計上の配慮事項みたいなものを、
0:40:33	順次設定をしていくということそれを積み上げて最終的に評価イデ評価結果につなげていくと、井清評価につなげていくという流れかなと思ってます。
0:40:44	規制庁の荒井ですけど、結果的に言うと、23回目目では加害者側となる溢水量っていうのは、
0:40:53	多分見積もれないんですよ、まずそこは。
0:40:58	はい。日本原燃石原でございますはい。そうですね。はい。はい。
0:41:03	そうした場合に、これって新設の施設に特徴的なことなのかなって思っているんですけど。

0:41:12	物を作り始めたときに、水源っていうのが多分、徐々に増えてくパターンじゃないですか。基本的にUTT系とかも含めて、
0:41:23	そうした際に、完全にクローズするのって最後の申請になるっていう理解なんですよねやっぱり。
0:41:30	評価。はい、藤平でございますはい。そういうことで第4回と、第4回ってのも、
0:41:37	個人的には第3回かなっていう気がしてるんですけど、第4回にしています。おっしゃっていただいたようにすべてのパーツが出とった時にというのが、第4回にしている理由です。
0:41:50	そうすると、また、整理し直すって話はあるんですけど、二、三回目っていうのは、溢水については
0:42:00	基本設計方針プラスで何が示せるかっていうと、
0:42:05	多分機能喪失高さ、
0:42:08	当区画の設置位置ぐらいしかないっていう理解でいいんですか。
0:42:13	はい。二本木ソヤでございますはい。そうだと思いますはい。はい。
0:42:18	わかりました。
0:42:19	その際はいろいろな申請回ごとでこういうことを示すっていう理由をつけて、完全に固まるのは、
0:42:28	第4回か第3回のがどっちかわかりませんが、そういう
0:42:34	ことにしないと。
0:42:36	基本的には申請対象設備が基準適合してるっていうことを、設工認、確認しているんで、
0:42:43	12条もうある程度、設備がそろってれば、確認しないといけないって。
0:42:49	いうふうに読めてしまうんですけどもそこは分割申請の事情等もあって、こういう理由で、ここではまだ示せないんですけどっていうのはちゃんと明確にした方がいいんじゃないのかなと思っています。
0:43:02	が、いかがですか。
0:43:05	はい、与儀西尾でございますはい。先ほど申し上げた第1回出した溢水0一位を、もうちょっと具体二階と三階の申請対象設備ツジについての輪形状を図り、
0:43:20	どういうことをそれぞれ説明していくか、それが他のパーツが説明できない理由というのも含めて、拡充をしていくということは考えたいと思いますそれを
0:43:34	今説明グループさん。
0:43:37	3例、出てくるところでご説明をしていくということで、整理ができればと思います。
0:43:45	はい。

0:43:46	規制庁アラシバわかりました。
0:43:51	他、本文形で、
0:43:55	ございますか。
0:44:01	そしたら資料1の方に入りたいと思いますけども、
0:44:07	資料1が88ページ目からで、
0:44:19	私から確認させていただきたいなと思っておりますが、
0:44:26	先ほど132から134の話があったと思っていて、132ページから、
0:44:35	ここはうまく記載ができていなかった。
0:44:40	なのを、ここにちゃんと入れ込むのが正しい姿ってところなんです が、
0:44:47	そもそも施設共通っていうのは、
0:44:53	どういう範囲からどういう範囲のものをまとめるものっていうのって、定 義ってあるんでしたっけ確認なんですけど。
0:45:02	どこからが施設共通になるのかどこから個別になるのかっていうの って、
0:45:15	はい、日本エリアでございます。明確な線引きがあるかという明確な 線引きは、ありませんという、じゃあ考えだよって話になるんですけ ど。
0:45:26	現状は、共通類の本文に書かせていただいた考え方かなと思いま す。どこに書いたかという、
0:45:38	B20全体6ページの27ページ目ですかね、米印で施設共通基本設計 方針の扱いと、
0:45:46	いうこと、これともとはですね、前もお話かもしれませんが、
0:45:51	申請書の施行認可の添付書類について申請対象設備リストってのは各 条文と丸を付けるんですけども、
0:45:58	いわゆる、ほとんどの設備に丸を打つことになってしまうと、何を説明す るんだかっていうのもよくわからないなということであるべく軽重をつけ たいなというのがあって、
0:46:08	安重なら全部0っていうのが、8条だと全部の条文にならん、事象に並 んでしまうよりは、
0:46:15	何らかの防護設計を具体的にするものを対象に丸付けをして、共通 的なものはリスト化して既設共通側に放り込んで、管理をしましょうかとい うのが最初のスタートでした。はい。
0:46:31	うん。了解です。そういう意味だと八条に関しては、防護設計が同じ ところまでは見てるっていうことなんですかね。
0:46:42	はい。日本原燃志田でございます。はい。防護設計が同じといいます と、

0:46:47	守り方です今回で言うと、オクないとか、
0:46:51	はいはい。そういう意味ではそのときの線引きはおっしゃっていて何らか防護対策をとるのか屋内に収納して守るのかみたいな。
0:47:02	分類では見ながら、リストのときには、管理をしているということです。はい。了解。そういう意味だと今回のって、何で漏れてたのかっていうと、
0:47:13	建屋内っていうのが 132 かな。
0:47:22	ありましたが、
0:47:28	はい、日本イシハラでございます。
0:47:31	正直ですね今回並行スタート資料の説明グループ 2 の、
0:47:37	資料 1 からさ、資料 2 と 3 ですね、の作り込みを開始しまして、その関係であれないぞということに気が付いたということです。事情としては、はい。了解。フィードバックが、資料 1 の施設共通の方にもありましたということですかね。そういう意味で、
0:47:54	はい。
0:47:56	はい。そういうことではい。はい、わかりました。
0:48:00	私からは以上ですが、ほか、資料 1 関係で、
0:48:04	はい、衛藤家です。今のところなんです、今だから来る、MOX のグループ 2 で、
0:48:11	屋内に設置することが書かれてないぞということで気づかれたっていうことなんです。
0:48:18	はい。二本木ニシダでございますはい。そうですね市いわゆる、別紙にどうなった。
0:48:25	ミイ工事の節には、定例ってな、
0:48:28	いうことだよね読みきれなかったんですね。
0:48:33	1010 基ぐらい小中途半端だったってこと。
0:48:38	くらいな、第 1 回ヤブキ議論しといて、
0:48:41	はい。整理がうまくいってなかったというのが現状だった気がします。全体の整合をとりながらかつ最新の情報でフィードバックをかけながらやっているのは、
0:48:52	現状の姿ですのでそういった形で修正をかけていっているということだと理解をしますはい。はい。その部分は理解したんですが、再処理の外傷で今設計項目抽出しているところで、
0:49:04	結構 00 資料の別紙 2 の構造が結構、
0:49:10	いじくったり、いろいろ記載項目がちよっと変わったりもしたりしているところなんです、供給種別とかですね、そのフィードバックっていうのはちゃんと確認とかされてます。

0:49:22	はい。日本原燃石原でございますはい。しております。私もなかなか日本語の言い方がこの立場だと難しいんですけど、
0:49:30	外部衝撃が特にですね第1回と聞い
0:49:33	MOXが最初走らせていただいて審議の整理をして、いろいろやってきましたけど、再処理がうまくそれをトレースできてないまま第1回終わってしまっているところがあるんですね。
0:49:45	MOXができ上がったの作ってた姿より大分手前から今、
0:49:52	整理をしていると、要求種別も含めてですね。
0:49:57	例の評価要件しかなってないものも評価要求だけじゃ駄目だよなって議論も第1回的に判断してたんですけど、うまくフィードかけられてないとかってそんな状況を、
0:50:08	になってて、両方見てた私としては非常に心苦しいところございましたはい。はい、わかりました。基本設計方針に何書かぐらいまではしっかり比較して、提示さ、最初にご提示されて、
0:50:21	いたもののやっぱり資料2で改めて今回様。
0:50:26	今回こういう共通中みたいな資料で確認していくと、結構やっぱ合っていないところが、
0:50:32	あってですね、どっちのせいにするかとか、そもそも議論してない、かけて最後に、どっちが上になるかみたいな話だとは思うものの、最終的には共通順位として、
0:50:43	最初にもMOXも綺麗にそろっておいてもらいたいなっていうところなので、その辺は適宜、フィードバックっていうのが必要だと思っていますのでよろしくお願いします。
0:50:53	はい、日本イシダでございますはい。それは認識をしておりますのでそれぞれのフェーズでのフィードバックというのをかけながら、共通的な形になっていくようにしていきたいと思えます。はい。
0:51:07	はい。規制庁角です。あと、今回外傷関係4辞書、フィードバックしてもらったんですが、
0:51:17	135ページからのその他の部分は、
0:51:21	と書いてないんですがここは、凍結なんかはあの文の中にちょっと入ったりもしてるんですが、
0:51:27	そのあとの高温とかですもん。
0:51:31	書かなくていいのかなとか、ちょっとその辺ってどういう整理だと。
0:51:49	はい。日本原燃シェアでございます。いや逆に言うと、貯蔵で0じゃないんですね。
0:51:56	いや、違う、建屋内設置よりもどちらかというと、29度の貯蔵の評価に多分37度持ってたかな。

0:52:03	第 1 回、
0:52:07	もう、逆に言うとだから、どこに売った。
0:52:13	血のタテタテコウウダって最初その管内でタケヤ中に収納して守るってか。変わらないよね。
0:52:20	わかんないんだったら、変えても意味ないよね。
0:52:24	同じように書かないと、説明つかないよね。
0:52:27	それはあれだね。今の最初の最新の状態を反映していくって意味でいくと同じように整理しましょうって話でいい。
0:52:34	はい、日本イシダでございますはい。
0:52:37	そうですね。あまり、
0:52:40	おっしゃっていただいた部分、何か、何でこれがあんまり議論にならなかったっていうと、もう草 1 個しかタテなくて建屋に入ってるのが当たり前だったからあんまりよくならなかった気がしますのでそこは最初の今の最新の状態を、
0:52:54	反映していくということも含めてフィードかけられれば良いと思いますので敗退をします。
0:52:59	はい、鶴岡です。あと関連してなんですけど 133 ページ目の外部火災で今回追加いただいたところだけ、
0:53:08	これ、定義と評価要求になってて評価要求はあってや、
0:53:14	までの離隔ですか。
0:53:16	定義がちょっとわからなくて、これテレビタテ評価要求って、具体的に何を
0:53:22	想定してるのか、ちゃんと資料見ればわかる話なんですけど、ちょっと、
0:53:28	教えていただきます。オカダと設置要求になってました。
0:53:45	はい。乳井の石田でございますちょっと確認をしますはい。評価要件をおっしゃっていただいて建屋内の設備に対する影響というのも建屋の壁厚使って評価をしたいということも含めてやっていますので、
0:53:58	定義が何に当たるかちょっと調べさせていただきます。
0:54:03	はい。サイトウかです。調べるのに時間かかるようでしたら後で結構であれします。資料 1 関係私から以上です。
0:54:10	はい。
0:54:11	他資料 1 関係で確認等ございますでしょうか。
0:54:21	それでは資料 2 の方に行きたいと思います 189 ページからですかね。
0:54:35	それで、じゃあ、せっかくなんで私から 1 点だけ、また再処理のときと同じような質問になっちゃうと思うんですけど、
0:54:45	例えば 190 ページ目に目次がありまして、
0:54:50	21 条があるじゃないですか 10 条に、

0:54:54	小判鮫みたいな形でくっついているような、
0:54:57	条文なんですけど。
0:54:59	これって
0:55:01	資料、一井の方だとう特に第 21 条 1 項っていうところは、10 条のところと同じように、丸とか何かつくのかなと思ったんですけど。
0:55:12	資料 1 側で整理しない理由って何かあるんですけど。
0:55:23	再処理の 26 条も同じです。
0:55:36	日本原燃石田でございますすみません今言われてるのは、重量と 21 条がセットになっていて、はい。
0:55:44	これはおっしゃっていただいているように
0:55:49	00 シリーズをまとめる時もう、閉じ込めの基本設計方針の一番最後に汚染防止として、4.2 だったかな、でやったので、今回もセットにしています。で、
0:56:00	今言われたのは、どこの話をイワイベッショ設備リストですかね。
0:56:08	内野。
0:56:09	21 条のところって、
0:56:14	BOになるのが多いかもしれない理由なのかどうかわかんないですけど十条と。
0:56:20	10 条がついてるものにはすべてついてるっていうイメージでいたんですけど、特に何も、
0:56:27	書いてないってところ。
0:56:29	だったので、
0:56:35	21 条第 1 項ってやつですか。
0:56:44	はい。イノウエニシダでございます。
0:56:48	同道した。
0:56:50	いいんじゃないねえ。
0:56:53	後で調べて、
0:56:55	はい。いただければ。はい。
0:56:57	はい。基本、汚染防止ですので汚染の塗装とカーの話でいくと対象で大體建物構築物が対象になりますので、
0:57:07	そういう意味で閉じ込めの十条の対象が全部が 21 条対象になる場だけではないところは整理をしてタダノ対象を決めていく必要があると思ってますはい。
0:57:18	了解ですそういう意味だと、構築物系が該当するっていうそういう整理なんですかね今。
0:57:27	はい、管理区域内での構築物のいわゆる床とか、壁の塗装が対象になりますので、建物構築物系なんですけど、

0:57:38	本当にどうなってるか確認しておきますはい。
0:57:42	工程室もそうなんですかね。
0:57:46	魔法提出建屋に入ってくるんであれなんですけど。はい。第1回でそこはやってる部分ですので今回の新制度二階の対象でいくとあまり対象にはならないと思ってますはい。
0:57:59	了解です。
0:58:08	他は、私は以上なんですけども、資料2関係で確認等あればお願いいたします。
0:58:15	清々オカです。
0:58:17	今回補足説明資料1で先ほど説明された357ページ目、
0:58:27	参考になっていてまずこれって、従来はサンポ。
0:58:31	2-2になっていて、もう1個が評価項目一覧で、評価項目一覧表に、参考。
0:58:40	から資料4に資料4明らかになったのでこちら参考というふうになったということですね。はい、入沢でございます。はい、ありがとうございます。おっしゃっていただいている通りちゃんと書いておけばよかったです。すいません。はい。
0:58:52	はい。再調査です。それで、今度の悪い話というか、今度
0:58:59	12月の会合で、資料1から3は、最初に付けて、資料4をMOXつけてみたいなのちょっといびつな構造になりますが、ここは、
0:59:09	どういうふうにしますかっていう。
0:59:24	はい。二本木ニシウラでございます。そうですね
0:59:32	そう、ハンドリングが難しいなあ。
0:59:36	ただ個別補足説明資料の資料4との関係が出てこないと思うんだよね一覧表が、資料4の行き過ぎると、でも資料に1件、辛いな。
0:59:46	でも入れないの仕様表との関係で今回項目足してるから、
0:59:50	2と4をつけるってではあるのかもしれない。
0:59:54	2をつければこれもつく。
0:59:58	ちょっと考えますはい。はい。それでは笠間、全体の中で布施がならないようにっていう観点で、検討させていただければ、今のように資料を見つけるっていうのも、
1:00:08	全然大丈夫だと。
1:00:10	内容の確認なんですけどまず、今日提出、今日とヒアリングを、の対象としている。
1:00:18	閉じ込めと案いうは、資料3に関わるところで更新したということで、今日それだけ出されているとまずそういうことです。

1:00:32	はい、日本イシダでございますはい。まず本当はアノ搬送 01 もなきやいけないんですけどそこがちょっとこちらの感度リングミスで抜けましたんでそれ以外として、資料 3 に関係するものとしてレベルアップさせていただいたということでございます。
1:00:47	はい、規制庁これ前 1 回ヒアリングしたと思う十四条貯蔵とは、廃棄の
1:00:56	それぞれの 01 は、これは資料 4 だけに限った話なので、今回はヒアリング対象にしていなくてそういうことなんですか。
1:01:06	はい。与儀ニシダでございますはい。資料 4 もまだ中身というよりは全体の構成をどうしていくとかですね最終ゴールを資料 4 としてどこまでいくかと。
1:01:16	いうことの整理がまだ完成してないかなと思ってましたのでそういう意味で資料 4 に関係するものは今回、つけてないということでございます。 はい、わかりました。カーにも
1:01:29	いろいろある中で、今回グループ 1 の資料 3 までに関係しているのっていうのは、
1:01:38	先ほど説明あった搬送 01 とあと案いうと、取り込め、農協でヒアリングの対象になってるやつそれだけっていうことなんですか。
1:01:47	乾西原でございます。台詞がありますんで相当はっきりいえないんですけど耐震側の整理をちゃんとしなきゃいけないくて、それが再処理との関係も含めて耐震建物 01 含め、多分あるんでしょうけど、
1:02:02	対象除くとおっしゃっていただけるものが対象になると思ってますはい。 はい、わかりました。とりあえず認識としては。はい。で、あとちょっと細かい話ですが、361 ページ目の十四条。
1:02:16	この 07 と 09 団体さん入ってるんですけどこの線って何特に意味ないです。
1:02:22	ずっと続いてくる 14 条ということですよ。
1:02:32	すいませんでした。何ページですよ。361 ページ名で、3 ユフ 07 と 09 の間に、
1:02:40	条文のところでちょっと四条 2000 日が引っ張ってあって、
1:02:44	これって上から続いてくる 14 条の中、
1:02:48	表現ミスというか、動きということですか。
1:03:04	はいニシダでございます。これはミスですね、十四条枠にして上の線よりは上、さらに上側もグルーピングしないといけませんはい。
1:03:13	はい。規制庁加瀬です。わかりました。とりあえず、資料 2 関係。
1:03:19	ちょっと私から以上です。
1:03:21	はい。他、よろしいでしょうか。

1:03:24	規制庁カミデですけど、さっき耐震の話でしたのはあれですか、357 ページの、
1:03:31	資料 2、3 号、この補足説明だったんですか。
1:03:40	はい。二本木ニシウラでございますそうですねはい。ここのところを逆に、
1:03:48	前回、
1:03:49	前々回かな、
1:03:51	進め方の時も含めてカミデさんにおっしゃっていただいた。
1:03:55	資料 3 の説明でいるものを資料 4 の説明でいくもの、それ以外という分類もあるんじゃないのかということ、あと、資料 3 にしてもどのタイミングでやるかっていうのを、
1:04:07	再処理との関係も含めて考えないと、MOX だけでつくれるような補足でもないものが多くありますんでその辺の整理をちゃんとしないといけないというところがまだ十分できてないと思っているということでした。はい。
1:04:20	はい、規制庁から、それっていつぐらいに話しましょうか。
1:04:26	はい、日本インダでございます最初にも一応、
1:04:35	歴がどうかっていうのは微妙かなり微妙な耐震建物で 1 も出させていただいたので、それも含めて全た耐震のヒアリングをプリセットしたいですね、ちょっと考えますはい。
1:04:47	なるべく早くちょっとセッティングして、話ができるようにしたいと思います。
1:04:51	あと、規制庁カミデですか。あれですか、耐震以外の外部事象とか、
1:04:57	ああいうところは、共通 12 のヒアリングと一緒に積んでおけば、大体話は進めていけそうだねという手応え。
1:05:09	はい。与儀ニシダでございますどちらかというとそうですね言い方が、日本語のチョイスがいいかどうかあれですけど、どちらかという、
1:05:19	構造設計とかの項目と一対一で紐付けがしやすいものをだと思っておりますので、共通のヒアリングの中で、その欄に応じて適、
1:05:31	適宜っていうかそういうタイミングでやっていけばいいのかなと思ってました。あとは全体見渡して足りる足りないの議論はまさしく資料 3 なりの議論をするときに、できるかなと思ってました。はい。
1:05:45	はい、規制庁上津って、ただ共通の進め方としては別に耐震とそれ以外が別々で進むわけではなくて、医師、それぞれ、
1:05:55	同じようなタイミングで整理していきたいと思ったんですよね。
1:05:59	はい、乳井エリアでございますはい。おっしゃっていただいている通りですとはいえこの間もですね耐震建物でてあれでいいのかって議論もあって、

1:06:09	ずっと別途設定しないとっていう議論もあった記憶もあるので、そこをどうハンドリングしていくかちょっと考えなきゃいけないかなと思ってました。
1:06:17	とはいえうちも、Steeringチーム含めその体制ができるかというところもなかなか難しいところもあるので、ちょっと全体整理を、交通整理をさせていただきたいと思ってました。はい。
1:06:29	はい。
1:06:33	あとは、見せられて出してくれれば、
1:06:36	なしではあるんですけど、現状多分全然そんな感じがあって、
1:06:43	今、この耐震の補足がないと共通の話が聞けないかっていうと、切ったそうでもない、特に資料3まではそうで、
1:06:51	資料4もう絶対なきゃいけないかっていうと多分、
1:06:56	割とないんじゃないかなっていう気もしてまして、まずは共通12を御説明ながら、やっぱりこれがないと話聞けないよねっていうのを早めに出してもらってというのは、
1:07:09	一つやり方かなと思います。ただ変更点に関しては資料1とかに関係するので、どういうくくりで変更点をまとめて説明するのかっていう話はしておいた方がいいと思いますけど。
1:07:25	あと、波及的影響とかですね、その辺は登場人物の話なんでやっという方、
1:07:31	思いますけどそれ以外、細か目の補足のやつ、例えばアンカーの話がないといけないかっていうとそういうわけではないので、少しまず一つ中にしっかり進めましょう。
1:07:43	いうところで、
1:07:45	として、また進め方のヒアリングなりで、どういうふうにやっていくかっていうのをお話できればと思いました。
1:07:59	はい。弓削西浦でございますはい。ありがとうございます。頭の体操というか検討を進めながらはい。おっしゃっていただくと理解をしました。はい。
1:08:09	はい。私から以上です。
1:08:11	はい。資料についてほか、
1:08:13	よろしいでしょうか。
1:08:16	はい、じゃあ最後私が1点だけ
1:08:19	体裁だけなんですけど301ページ目のNo.14の、
1:08:24	仕様表のところはミキれてるので、ちょっと高さの拡幅をお願いします。
1:08:30	ラックピット他のところですかね。

1:08:35	はい、日本イシダでございますはい。出した後に気づいてました。すいませんでした。はい。拡張してというか見えるようにして、私を次しますはい。はい。
1:08:48	では続いて資料 3 の方に行きたいと思います。資料 3 は 6363 ページ目か。
1:09:05	1 点だけ私から 373D、74 でもいいんですけど、
1:09:15	373 の右方の、※1 ってあるじゃないですか、必要に応じてスクラップ処理へっていうところで、閉アノスクラップ処理をする設備ってというのは、
1:09:26	今回の申請対象。
1:09:29	何なんでしょう。
1:09:32	申請対象なんでしょう。
1:09:38	はい、日本イシダでございます 137、374 ページを見ていただくと、でもあれかこれ、※3 はどこにある。
1:09:49	うん。
1:09:50	関係ない。だから、第 3 回で少なく出てくるんだよね。ちょっと設備は、第 2 回は貯蔵設備、そういうところにスクラップの、
1:10:03	をかけないから諦めたんや。
1:10:06	森崎を受けてだろうって思って諦めたという格好にしてWACなきやいけばいいじゃん。3 海田って言って、
1:10:12	ダテイチノセでまとめて 3 回なんですよ。
1:10:15	スクラップ関係。
1:10:16	はい。2 オギニシダでございますスクラップ処理機を、
1:10:20	申請対象設備です。それは第 3 回の申請になるので、
1:10:25	ちょっとこのスクラップ貯蔵のところ、
1:10:28	谷中をされた。
1:10:30	スクラップ所得からスクラップ処理だけ処理設備処理設備として、資格を変えて第 3 回に出てくるのがわかるようにしますはい。はい。
1:10:41	最終的保管廃棄の方に行くんですけど。
1:10:46	保管廃棄には行かずにスクラップは、
1:10:51	戻して、使えるようにしますということで、はい。
1:10:57	ただこれでもいろいろオクいろんな問題があるのであれですけどはい。基本、そういうことです。はい、わかりました。そこの部分の、できればメーカーお願いします。
1:11:12	オカ資料 3、
1:11:15	関係で、
1:11:16	何かございますでしょうか。
1:11:19	規制庁岡です。今、データ 373 ページ 374 ページの辺りなんですけど、

1:11:25	373 ページの注釈 2 を打っている真ん中の箱に書いてあることは、
1:11:31	ちょっとよくわからなくて、ウラン粉末を受け入れてから 2 次混合設備、
1:11:37	に渡して 2 次混合設備から、まず一時保管設備を経由して一時この設備へ行くような書き方をしてるんですけど、これだとプルトニウム稼働の調整とか何か、
1:11:48	難しくなりそうな気がするんですが、これどういうことなんで、
1:12:05	逃げニシダでございますまずですね。
1:12:09	一緒になってください、自分で。
1:12:15	ですね。
1:12:18	だよね。
1:12:20	2 次混合設備と言ってるのが 2 次混合設備のメインの設備じゃなくてこの中にですね、ウラン粉末の橋梁文書、文書装置っていうのがあってですね、これウラン粉末用の容器に入れ替えると。
1:12:34	いうのがありますのでここを通過して、
1:12:36	1 次混合設備の設備のところに持っていくということに次今後設備も行くんじゃないですよ。だよね。
1:12:47	なので二次混合設備のメインみたいに見えるところちょっと書き方を工夫したいと思いますはい。はい、わかりました二次ほどの設備の附属くう部分で一次と二次に、粉末一時保管設備にまずい。
1:13:01	それが一次と二次の方に行くようなルートをとっているわけです。はい、わかりました。
1:13:08	あと、前からされていて先ほどの搬送 01 の説明でもちょっとあったんですが、結局ウラン受け入れてから外部からウラマツ受け入れてるから、
1:13:18	ポートボックスの方で、
1:13:23	ホッパーに入れてそれが一次とか二次に行くことで、浦野単体の粉末として重量物として、安重機器、
1:13:32	安重の内部は水産物の
1:13:34	重量物になるっていうものもあるっていうことでまずよろしいですか。
1:13:49	どうですか。
1:13:54	入園者ちょっと受け持ってください。
1:14:08	はい、宮城でシェアでございますちょっと見つらくてあれですけど、今
1:14:17	373 ページ真ん中の原料粉末支払装置括弧Uと書いてあるところの緑の
1:14:25	ですねホッパーの上にちょっと、何を積んだなこれ黄土色違うな。
1:14:32	アダチはいいよ、ハイドでもない、これ。

1:14:35	緑色の、かんかんみたいのがひっくり返ってますけどこれが粉末村粉末を外から持ってくる時に入ってる容器なんですけどこれが大体 30 キロぐらいですね。
1:14:48	これを 1 個ずつ、ローラーが乗ってるレールに乗せたり、1 個ずつハンドリングするような異才装置ってうかねそういったもので取り扱ったり、
1:15:02	エレベーターみたいな形の階を跨いだりするようなところの装置野瀬たりということになりますので重量的にはそんなもんだということです。
1:15:14	ただ落下防止も含めて必要な措置はしてますけどちょっとこの中でも、うちの中でも議論だったんですけど、
1:15:21	いわゆる純粋な劣化ウランは改修案ではなくて純粋な劣化ウランとすると浦の含有量も含めて核燃料物質としての扱いというののレベル感を考えると、重量物というスタンスは確かにエミなきやいけないと。
1:15:39	あとは搬送設備として見る単位になるかっていうところで整理が必要かなということ考えてました。補足の中では、重量物として扱いますんで、それに対してどういった落下防止も含めた措置をしているかってのは整理をしようとしておりました。はい。
1:15:54	はい、斎藤です。わかりました。おっしゃる通りで搬送設備自体には、該当しないとこちらでも思っているんですが、重量物として扱うと。
1:16:04	ああいう条文の内容水産物にしようになってしまうという観点で、今回も整理いただいているものと認識しておりますので、そこでの整理を進めていただければと思います。
1:16:17	あと、関連してウラン燃料部も外部から持ってくるということでしたがウラン燃料棒に関しては、
1:16:25	入寮物として扱われるかどうかという観点ではいかがですか。
1:16:45	はい、日本インダでございますこちらはそれほどの重量ではないものではありますけど、いわゆる濃縮ウランが入った品ではあるので、核燃料別として
1:16:58	搬送設備側のハンドリングを対象として整理をしていくということで考えてました。
1:17:03	終わっててオオオカです。- 10 クーラン
1:17:08	の燃料棒ですね。
1:17:10	MOX、
1:17:11	の、
1:17:12	ウラン燃料棒、
1:17:15	はい。
1:17:16	はい、規制庁、わかりました。

1:17:20	あと 374 ページ目で、一次コウノと二次小村のところで、今後のプロセスが 2 回ずつあるんですが、
1:17:29	これって今後期も 2 回ずつ計 4、
1:17:32	回を号機に入れるってということなんでしょうか。
1:17:39	はい、日本イシハラでございます。はい。それぞれ別の混合設備がありますんで、この予備工房一次今後均質混合、今後それぞれ、
1:17:50	混合機があります。はい。はい。それで、その添加剤を肛門した後にスクラップに行くラインがないんですが、その添加剤ってそもそも最後にコウ。
1:18:01	変化した後に、分析とか何か、
1:18:05	結構大事。
1:18:06	なポイントではないかなと思うものの生産系の話なんでそんな、詳しくはつきませんが、
1:18:12	いや、ここってスクラップ 2 位もないんですか。
1:18:22	はい、日本ニシダでございます調べておきますけど私の記憶だけでいくと、
1:18:28	今後、プロセスでいういわゆる呉、
1:18:35	富化度も含めた話と、この金融添加剤混合の時の添加剤割合っていうの、管理の仕方からすると一番最後は、
1:18:46	なくても良いっていう整理だった気もしますがちょっと正確には調べておきますはい。
1:18:51	はい、規制庁＋わかりました。で、値、ちなみにこれも生産系なんですが、均一化コウノ時、
1:18:59	添加物小添加剤コウノと切って同じようなコウ、
1:19:04	今後、プロセスを得るんですか。
1:19:07	何かこの辺って、
1:19:10	結構大事だと思うんですが、どのぐらいのコウ。
1:19:14	今後、
1:19:16	をするんでしょうか。な、同じって言ったって下コウないって言っていただけ
1:19:25	日本会社でございます。今言われてるのは、頭からこれ今後のレベル感っていうんですかね。ターゲットがどんどんどんどんシビアになってくるので、ロットとしての扱いが同じぐらいの扱いなのかっていうことですかね。
1:19:40	はい、規制庁カセそういうことです。

1:19:52	ちょっとあれですけど調べさせますけど、記憶だけでまず行くと、ここで3番目に入ってる均一化混合が一番ボリューム的には大きかったと思います。
1:20:02	はい。それはわかります。わかりました。ちょっと。
1:20:06	逆に、
1:20:07	なんで添加剤が後なのかっていうことがちょっと気になった次第で、均一加工が一番ボリューム感が大きいってのはその通りだと思っていて、
1:20:17	何でこの順番なのかなってところがちょっと気になった次第でした。
1:20:21	もしわかれば結構ですので、
1:20:24	後で教えていただければと。
1:20:27	はい。姫野インダでございますちょっと、それも調べておきます度合いちょっとこれもだんだん私も
1:20:37	再処理のウラン試験用のウランを作ったりしたときの、いろんな試験をやったのであれですけど、添加剤今後って結局は最後の焼結のところでのいわゆる
1:20:47	飽和っていうんすかねそういったものも含めて考える部分が、
1:20:51	証券、添加剤の意味合いだとすると、結構もう、添加剤今後終わるとスムーズに、そのまま圧縮成型まで行ってグリーンペレットになって、焼結してしまうっていう流れのイメージが、
1:21:03	してるんですねここであまり止まるっていうプロセスは、私自体は想像できなくて、
1:21:08	どちらかとその前の混合プロセスで1個1個管理しながらやっていくってイメージの方が強かったんですね。
1:21:15	はい、規制庁カセわかりました。その歩がどのぐらい入るかということだとは思っています。いえ、おっしゃる通り、
1:21:24	ここからスムーズっていうのは私も感覚持ってますのではい。
1:21:29	少しわかればっていう感じで教えていただければと思いました。
1:21:34	374 ページまでのところですから、以上で、次 433 ページの遮へいの辺りなんですけどそれまでの間で、規制庁側から確認等ありますでしょうか。
1:21:48	規制庁の荒井ですけど。
1:21:50	432 ページ目の、せつかくなんで、
1:21:54	上部クドウ軸の方は、いろいろ、
1:21:57	上の方でどういうシーリングがされているのかって説明ありますけど、
1:22:01	下部駆動軸の方って、単体とどういうふうに接しててシール構造になってるのかっていう説明で、
1:22:09	どうなりましたっけ。

1:22:26	これ塾載ってるだけなんだ。はい。だからどっちかって機構がついてるのウエダワダユリで改正させて従って乗っかってるだけじゃない。
1:22:35	何か乗っかってるだけなの加来課長。
1:22:38	はい、規制庁ないですけど、駆動機構は上部にあるっていうのはわかるんですけど、下部の方がどうシャフトがどう乗っかってるのかっていうのが、はい。
1:22:49	ちょっとこの絵をどこかにいたさせます。はい。300。
1:22:56	7は433ぐらいですか。100、132が1、ちょっとはい。はい。はい。ちょっと貸しますはい。はい。以上です。
1:23:07	末岡です。同じ観点というか同じところなんですけど、遮へい扉の、
1:23:13	433 ページ目開いた状態があって、これ、結局、上のところのだけでこう押さえていて下の片側だけ押さえているんですけど、
1:23:24	もう方はこれ、完全にフリーな状態で平時も開示も、
1:23:28	行われるってそういうことなんですよ。
1:23:46	はい、乳井根井者でございますちょっと確認をしますがおそらくフリーだった気がしますんでここが開くタイミングっていうのは
1:23:54	この間のものを通過するタイミングということもあるので、それほどナカイだいてるわけではないと思いますけど、はい。
1:24:01	はい。製造課です。他の扉だとグローボックス間登校バタつき防止とかで、少しく、固定するようなメカニズムもあるんですけど、ここだけ何かないのは、
1:24:11	気になりますして、何かそうな、何でないのかなっていうところなんです。
1:24:23	はい。人間のインダでございますはい。この扉の形状内とあとは固定できるかどうか固定式固定的も、
1:24:34	この状態から動く吳ような状況になるかどうかも含めて、設計上どう考えているかをちょっと調べておきますはい。はい、そうです。はい。設計ポリシーがもちろんあるんであれば、それでいいとは思うんです。
1:24:47	そんなはいちょっと気になりましたのでお願いします。
1:24:51	と、
1:24:54	448 ページまで飛ぶんですが、
1:24:59	今回補足説明の方でも、を示していただいている。
1:25:05	オープンポートボックスの
1:25:08	作業時のところとかを書いていただいているので、
1:25:12	448 ページ目の燃料棒の表面汚染検査機、
1:25:17	これ、完全に内側に入っていると思うんですけど、今回の説明だと角谷氏を交換するっていうことだけが示されていてこういう内部に入ってる表面汚染検査機って、

1:25:29	これまず全自動で、全然、
1:25:32	メンテナンスも、
1:25:34	あまり補助がかからないような装置なんではないですか。
1:25:50	はい。与儀志田でございます。汚染検査自体は自動でやります。ただメンテナンスは当然、当然ながらごく可動部分もありますんですけど、そういったのも含めて、
1:26:02	あれここだけ、鷺見八尾線はお1人だけが何人でやってタダそれ以外にもう点検があるけど、それはこの数を超えない範囲でやりますって書いてあるよね。
1:26:13	はい。イナミネ社でございますその辺のケアを、
1:26:18	閉じ込めるにでもしたつもりでありますけどもう1回確認をしておきます はい。はい、規制庁から馬淵米田にもちょっとそういうのが書いてあったんですが、全体として
1:26:28	何を保持するのとかかですね、また補足のほうで少し提示しながら進めさせていただきます。共通住民の範疇ではもうマックスになる。
1:26:39	住吉の交換っていうところを記載していくと、そういうことですか。
1:26:45	はい。日本原燃石田でございますはい。ここでやりたいのが、冒頭の数の制限と、外構部の風速との関係になりますので、最大のポート数学部分をまずは書いておこうと思ってました。
1:27:02	それ以外の作業も含めて全体どう考えているかを、閉じ込め02の中で整理をさせていただくということで、整理を今はしております。
1:27:11	はい、わかりました。レイズ今の整理ということで、突然不明瞭ということではありませんでしたので、はい。で、次449ページ目の風土の話なんですけど、
1:27:23	これ以前からちょっとある話でもあるんですけど、結局このストップっていうものが、
1:27:29	どういうふうに
1:27:31	扉を止めていて、そのストップユリした部分はコントロールできるものなのか。
1:27:36	途中で止めるものなのかっていうところもちょっとわかんなくてですねこの辺って、具体的にどういうふうになってるんでしょう。
1:28:14	はい。乳井ニシダでございます。今大岡さんが聞かれているのはもともと、ちょっとストップの書き方がいいかどうかは考えますが、ストップのところが止められるポイントだと思ってましてそれ以外のところで止めるっていうのが基本できなかったように記憶をします開けることはできますが、
1:28:33	互恵はできなかったと思う、記憶をしてみました。

1:28:37	はい。はい。ちょっと大蔵さんそれでこのストッパー自体はどういうふう に留めているのかっていうところがまず初めからわかってなかったとい うところなんです。
1:29:20	はい、日本イシダでございますちょっと至急調べます。私も再処理とか 濃縮でやってたフードは、
1:29:32	なんか見た限りってかさ操作スズキ乗っかっちゃって、音がして、ロック できる形になってたような気がするんですけどどうやって固定してるかも ちょっと記憶が曖昧なので、ちょっと調べます。はい。
1:29:44	はい規制庁下すまあそこがわかるようになって欲しいというのがこの 図の要望でしたので、そこはわかるようにということで、はい。コメント です。
1:29:55	はい、与儀西浦でございますはい、承知いたしました。
1:29:59	はい。超過です。次は鍛冶 606 ページまで飛ぶんですがその間何かに コウ規制庁が確認等ありますでしょうか。
1:30:09	いいです。
1:30:10	ちょっともう、特にないようでしたら 606 ページ目を作って、当然規制庁 カミデですけど、ちょっと戻っちゃいますけど、ええと、
1:30:20	408 ページ。
1:30:24	443 ページで、
1:30:33	下の、
1:30:35	緑囲いの 2 行目から 3 行目で、
1:30:39	原則、
1:30:41	床置き年って書いてあるんですけど、原則以外のグローブボックスってあ るんですか。
1:31:01	イシタが浮いてるっていう絵からつってるようです。それは、貯蔵のやつ で下の空間を受けなきゃいけないから、
1:31:09	ここ、
1:31:11	さっきの取り合いで、上から増えたらおかしい。
1:31:16	部屋の上を渡って貯蔵設備、トレイそれがあるなどその例外をここに書 かないといけない。
1:31:24	今回、第 3 回、
1:31:28	4 列車でございます。第 2 回だから。はい。
1:31:33	はい。聞こえたんでいいんですけど。はい。はい。
1:31:36	何か例外がまた今度は書けませんっていう話の話なんで、架空とあと、
1:31:42	何だろう、別に天井からつってるものがあるから、天井からもつりまわし て書かれたところで、何なんですかっていう話で、うん。

1:31:52	達成したい目的がわかんないんですよ。床借り湯カーとか、ちゃんと天井からすることによってどうしたいのかっていうのがよくわからなくて、
1:32:04	紐付け見て、
1:32:07	400 ページぐらいに
1:32:10	兵庫見に行くと、一応関連してる、基本設計方針があるんですけど、
1:32:16	何か本文だと、モデル吳の作り方、要は、ものによって、
1:32:22	ちゃんと適切に戻る、モデル化しますよぐらいの話でしかなく、
1:32:27	機器の指示方針も貼ってますけど、
1:32:31	何かちょっとずれてんじゃないのかな。要は、ちゃんと5になるように、設置しますよ。5 なり、添 02、
1:32:42	全体としてはこうではなくてもうC、CGのところはこれぐらいしっかりつきますっていう素行が説明されるべきところだと思うんですけどどうですか。
1:32:56	はい、日本イシダでございますはい。おっしゃっていただいている通りですね、ちょっと銀行も含めて、もう一度確認をします。それこそ、
1:33:07	何だよね。
1:33:08	第 1 回の 1.2Ssの時でもあった。
1:33:12	どこからサポートといって指示すると、結局そのある耐震性というかも、そういう大きな地震でも、それが倒れないとか、支持できる構造になりますっていう設計のコンセプトがまずあるんで多分ね。
1:33:26	規制庁カミデですけど。
1:33:28	1.2Ssのときの話はしましたけどあの時は耐震駅とかこういう、これぐらいの設計にしてるでしょうと。一方で間仕切り壁とかそうじゃないからみたいなところでどっから取るっていう話だったんですけど何名いたような話であるけどちょっとここで、
1:33:43	はい包括という話はちょっと違います。はい。ちょっと全体整理しますはい。
1:33:50	はい。整理直下ベースであと 446 ページも、
1:33:54	同じく原則として、基本は原則として書いてあるところにそれ以外のものが潜るんであればちゃんと書いて、目的、こういう目的を達成するんだっていうふうに書いてくださいと。
1:34:07	いうところなんですって。
1:34:10	もう 1 点 446 ページで細かい話をする等、
1:34:15	右上の図の、
1:34:18	R150 以上って、これぐらいは埋め込みますよって言っている起点がすごい曖昧で、

1:34:24	グラウトの上なのか、下の鉄筋コンクリート製の基礎なのか、その中間なのかというの、いまいち判然としないんですけど、どういうつもりで線引いてますか。
1:34:49	はい、日本インダでございますちょっとまず、事実関係を確認して回答させていただきます。
1:34:56	何か、どうあるべきかっていうのは、ちゃんと技術的な、前例ない資料を見ればわかると思うんでちゃんと
1:35:03	しっかり整理しといてください
1:35:08	はい、日本インダでございますはい。承知いたしました。
1:35:13	規制庁カミヤ私からは以上なんで、
1:35:16	岡さんどうぞ。
1:35:17	他の方いればお願いします。
1:35:22	出席者そろったんで、
1:35:25	資料4の方を、
1:35:28	確認していきたいと思うんですけども。
1:35:32	現任側は、
1:35:34	すぐ対応できますかととりあえず、
1:35:41	急で申し訳ないんですけど、
1:35:43	はい、二本木西田でございます。大丈夫です。はい。そうしましたら資料4を付随して、本文、
1:35:50	あとは資料1から3で直した図、メインのところあった資料4の構成等についてまずは説明をお願いいたします。
1:36:00	はい、与儀西田でございます。まず、本文からの流れとして本文、右下35ページですかね。
1:36:11	資料4の関係の文章を追加をしていますが、これまで資料4の関係で、
1:36:21	ヒアリングでご説明させていただいた内容を書き下したとか聞かせてもいいのかな、季節を書いているだけになっているので、まず、現時点足りてないと思ってるのは資料4のゴール
1:36:36	最終的には00だったり、申請書へのBとの反映というのも含めて全体、こういったところまで資料4で整理をしていくのかと。
1:36:47	いふことのゴールがまずちゃんと示せていないというふうな現状だと思っ てます。
1:36:52	そういう意味で今、35ページで(1)評価項目1段表を作りますということで、今MOXの例示ということで第2回申請で評価のフラグが立つもの。
1:37:05	整理をします。この段階でもう、どこまでやりますかっていうところでまだゴールが描けてないのがどういう説明単位でやっていくかと。

1:37:15	いうところまでの整理をここでやらなきゃいけないと思ってましてそういった整理がまだできてないのでまず、
1:37:21	ゴールを明確にして整理を進めていくということ。
1:37:25	さらに、(2)で評価項目の評価方法評価条件等ということが出てきますこれその前の3637の表のところですね評価項目ということで、
1:37:37	ある種、同じようなものをまとめていながらもこれでも項目単位所、条文の基本設計方針単位の項目でしかないので、これを
1:37:50	同じようなものをグルーピングしないといけない。
1:37:56	これ下、下の、あと何だっけ。
1:38:01	でも、
1:38:03	でも仕切ってなくなり、
1:38:05	しきれてない気がするの、表面づらだけグルーピングしてる感があるから、ここまではもうちょっとやんなきゃいけないんだな。
1:38:13	はい。(2)番の評価項目の評価方法評価条件とこの評価項目の表から、それぞれに対してパターンごとに、とある消化概要目的評価方法、
1:38:25	評価条件等の説明を行うということを書いています。
1:38:29	とはいえこれをまとめてどうしたいんですかってところのゴールが、今ひとつ書ききれてないのでそこをちゃんと整理しないといけないと思ってます。
1:38:40	最終的に添付書類の構成ダテ政府処理としてどういうことを、どの添付書類にどう変えていくのか。
1:38:46	ということの関係性というの、構成も含めた整理をしていかないといけないかなとそうしないと0にも結びつけられないですし、申請書にもなりえないと。
1:38:58	いうことだと思いますんで、そういったゴールをまだ定めたと定めないといけないと、これはこのゴールをちゃんと示せないといけないのはまさしく審査会合資料もまさしく同じことだと思ってまして、
1:39:10	現状やってる範囲が、最終ゴールまで行き切っていないところをちゃんと出さないといけないと、いうふうに思っているところです。はい。
1:39:20	現状のこの(1)(2)と書いてあるものを、今685ページから、
1:39:28	それぞれの686ページからが先ほど(1)番と言ってる評価項目一覧表になります。
1:39:36	これも
1:39:41	今は条文の評価項目単位。
1:39:44	だよな。
1:39:46	さっきの評価項目単位だよな。

1:39:51	はい。に、それぞれの関係する一番右側に構造設計とかの説明するタイミングと、説明時期というのが右側 2 番目にありますけども、
1:40:01	構造設計とかいわゆるインプットになるものの説明時期との関係も含めて、この評価を 1 説明をするのかということのタイミングを書いていますと。
1:40:11	ということです。これも先ほど申し上げた通り前回の進め方やですかね、あった、説明グループさんにかかなり固まりますんで、これをどういう順番で説明していくのか。
1:40:22	あと資料 1 から 3 との関係でいくと資料 1 から 3 を説明した後に、資料 4 としてピックアップして説明していくという流れだと思いますんでそういうことの流れもこの中で示せるようにしないとイケないと思ってます。はい。
1:40:38	あとは、699 ページからが、(2)、4 の(2)になります。これはこの表紙、目次が 700 ページからありますけど、
1:40:49	先ほどの評価項目ごとに目次でピックアップをし、
1:40:54	それぞれ今数字になっていない、今回 1 シノが 10 条の①、あと、23 条の①。
1:41:04	評価パターン(2)で言う設定根拠①、
1:41:10	ですかね。
1:41:12	あと耐震化の評価パターン(3)共同力評価関係の 6 条 27 条の①。
1:41:22	ぐらいか。
1:41:23	はい。になってますはい。それぞれにそれに対して、以前漏えい液受け皿でお示しをした例示がありましたが、703 ページ以降がまさしく、
1:41:35	その形でそれぞれ評価の概要だったり間瀬。
1:41:42	どういう流れでその評価をしていくのかということの流れそれぞれに対してどういうことを設定していかなきゃいけないのかと、いうこと条件みたいなものというものの関係性を整理をしているということでございます。
1:41:56	はい。
1:41:57	で、
1:42:02	前回のやりとりも含めて、今個別補足で書くものと、
1:42:08	その考え方を、例えば 711 ページ以降の所、数値的なものに対しては、何かどう持ってきているのかということの整理をしていますけど、
1:42:19	712 ページがまだ足りないかなと思っているところでもうちょっとブラッシュアップが必要だと思ってます。

1:42:28	これも※1 個目にそれぞれの番号ごとにどういったところから持ってくるのかということを書いていますけど、これがそのまま読み取れるものとそうじゃないものが多分あるはずなので、
1:42:38	その辺の考え方もこの中で整理をしていくということかと思っておりますはい。もう少しまだ拡充が必要だと思っておりますがそういった形で整理しているということです。あとはシングループ 1 に関係するものとして 714 ページ以降の、
1:42:54	会計上の評価の形。
1:42:57	同じような整理をさせていただいているところであります。
1:43:05	700、そうですね個別のデータも 719 ページ以降につけつつ、整理等しているということです。
1:43:17	で、これが評価パターンの(1)番の項目。
1:43:22	721 ページ以降が評価パターンの(2)ということで、
1:43:27	今、ついているのがまず 1 個目が搬送設備の定格荷重、必要容量の根拠ということの整理の仕方を同じような整理の仕方です。
1:43:37	杉新井田
1:43:40	724 ページは、
1:43:42	こんなもんだっけ。
1:43:44	そっか。
1:43:45	なんかもうちょっとだな。
1:43:47	はい。関係するリストがついたりという構成は一緒です。はい。
1:43:51	で、各校パターン(3)のものが 749 ページ以降になります。耐震の今、
1:44:01	本の 751 ページ以降につけさせていただいています。はい。というようなまとめ方を関係するものでやっていきたいと思っております。
1:44:14	この関係で、
1:44:16	ベローズだとか、
1:44:20	土木設置、
1:44:23	これ。うん。
1:44:25	だからこの中に抜けてるってこと、ベローズが。
1:44:29	だから、ドイウエダ 700。
1:44:34	0 っていうのが、
1:44:36	どこの 0 ジンノのベローズは、
1:44:40	モリイ大井 787 ページからあるグローブボックスの 1 年が終わった後にベローズをつけようと思った。
1:44:50	はい。すいません。ちょっと今ベローズ関係の
1:44:56	モデルの話も含めて入っていないがあるのでそこを今後追加しようと思ってたところでした。はい。

1:45:01	全体の説明としては以上です。
1:45:06	はい。
1:45:07	規制庁荒井ですけど。
1:45:08	それでは資料 4 関係解析評価等に関係するものですけども、本文から、
1:45:15	あと資料 1、2、3、メインは資料になるかもしれないですけども、気になる点について確認していきたいと思います。
1:45:23	まず本文、
1:45:25	36 ページ目からですかね。
1:45:29	35 ページ目から、
1:45:32	うん。
1:45:35	資料 4 に関する内容は書かれていると思いますけども、
1:45:40	この辺で、まず何か、冒頭のところで、確認等ありましたらお願いいたします。
1:45:51	規制庁オカです。36 ページ目から評価項目一覧表が、第 2 回申請ということでまとめてあって、
1:45:59	資料 4 の(1)でも評価項目一覧表とついで、結局、第 2 回申請全部をまずは俎上に上げるっていう更新と、
1:46:11	要するに今とられてますまずそれでいいですよ。
1:46:15	はい、日本インダでございますはい。全体の説明の時期も含めた、整理が必要だと思っておりますので第 2 回全体をまずスコープに当てて整理を進めようと思っております。
1:46:26	はい。製造課です。この整理で後で別添の方で、結構いろんなところからフィードバックが来る評価項目っていうのが、
1:46:35	ところだと思うんですが、今回グループ一位、
1:46:39	を説明して行って、ひょ結構よ、評価、評価要求になったものなんかも、
1:46:46	あって、資料 3 とか資料 4 を今後、順次説明していくとまたここに飛んでくるというようなフィードバックがあると思うんですが、
1:46:56	その辺って結構、
1:46:58	来る。
1:46:59	初めに説明する評価グループと、
1:47:03	あとで資料 1 から 3 を説明するグループとの関係みたいなものって前から、
1:47:08	整理されたと思うんですが、結局どういうふうに進め
1:47:22	はい。石原でございます。ちょっと私もうまく衛藤オカさんの趣旨が酌み取れてないかもしれませんがいわゆる、資料 1 から 3 だけではなくて資料 4 でゆう、

1:47:38	説明グループ 1 以降のですね評価項目として挙げるものの評価の内容とかも、
1:47:45	リンクージがあるものってのを挙げた上で、それも踏まえてどの説明のタイミングでやるかということ整理しようとしたのが 686 ページからの表だと思ってまして、
1:47:58	その中でちょっと書き切れてないかもしれませんが、何か聞いてない。いいか今現状か聞いてないかもしれませんがちゃんと書かなきゃいけないと認識してるのは、
1:48:07	評価、行動設計の内容の一部が、
1:48:16	鍵設定とも言わないな。グループ 1 で例えば説明するモード類似で、グループ 1 で説明した構造が代表になるから、全体それを前にやりますよと言ってる項目があれば、
1:48:29	そういったものをちゃんと担保条件が何かということも含めて、そのタイミングで整理をしていくのかなと。何らかフィードバックがかかったときにはどう。それはまた、結局直さざるをえないので戻ってくる可能性はゼロではないと思いますけど、
1:48:44	そういった形で前々前の方で確定しながらやっていくものと、仮設定でやっていくもの、どういうものがあるかっていうのを全体像をまずは整理するのが必要かなと思ってました。
1:48:55	超過です。その辺が別添なんかでこう、
1:49:00	見える別添なりどこかで見えるようになってればっていうのがまず、感じたところでした。ちなみに、今書いている評価項目は、00 資料の、
1:49:11	資料にあらピックアップしている評価要求、
1:49:15	を記載しているということですよ。
1:49:29	はい、日本イシダでございます現状はおっしゃっていただけてる通りです。
1:49:33	はい、規制庁から室長おつてしますとまずは、全体の枠組みというか、というところで、いたしました。以上です。
1:49:42	とコサクです。
1:49:44	今話のあったやつを、別添ではなくてというか別添は当然のことながら、
1:49:50	本文のところでちゃんと書いて欲しい。
1:49:53	ですね、イコール、
1:49:56	今回の会合でもちゃんと話して欲しいということなんですけど、
1:50:01	うん。
1:50:02	藤 35 ページー2 評価項目一覧表と、
1:50:08	で示すといって、

1:50:12	あって、表の中では説明グループと書いてあるんですけどその説明グループの、
1:50:20	ことはどこに説明があるんですか。
1:50:29	(1)の三つの矢羽根かなっていう気もするんですけど、これタダ示すと言ってるだけで、はい。ないので、ここを太らせるっていいですか。
1:50:39	はい。日本イシダでございます。はい。ちょっと
1:50:44	どれが先についていう状態があるので反映できてないところは申し訳ないですおっしゃっていただいている通り前回、
1:50:51	審査会合のご説明をした時にもう、まさしくその部分の流れなりをちゃんと説明をしないとイケないと、いうことだと思います。評価項目を全部並べた上で類似性だったり構造設計との関係だったりを、
1:51:06	踏まえて説明のタイミングをどう整理していくかということも含めて、全体の流れを、まずはこの本文の中で書いていくということが必要だと認識をしておりますはい。
1:51:19	はい。補足です。
1:51:25	遠い。
1:51:26	一通り資料3の方が出た後に、
1:51:29	ていうのはまあ、それを基本と言いつつ、ただ、こういう場合はというので前倒しする。
1:51:36	古藤。
1:51:38	がある旨、それはどういうものなのかと。
1:51:41	いうこと等を記載いただくということですけど先ほど説明されたのは、
1:51:48	と、
1:51:51	パターンの
1:51:53	評価の中での代表評価の代表性というのを考えた時にその代表するものが資料3でももう出ていれば、そういう、
1:52:01	イメージっていうことでしたかね。
1:52:04	はい、日本イシダでございますそういうパターンもあります。そこをまさしくちゃんと書かなきゃいけないと思ってまして審査会合資料でもそこを正しく書いていかなきゃなと思って整理をしたところですが、
1:52:15	評価の代表という意味で選考を、
1:52:20	ある程度説明というパターンであったり、このインプットである行動設計そのものが、ある種、今回RIグローブボックス等グローブボックスと同等の閉じ込め機能を有する施設、これ設備の
1:52:33	いわゆる呉代表性類似性というもので、ワーク鳥居にいけるんじゃないかということで風量なんかを、大説明グループ1であったりと、

1:52:43	ということの関係性というのもあります。
1:52:47	とコサクです。ちょっと後半に言われたことが何か、その代表性とか、説明を先行してやった方がいいということなのかはちょっとよくわからなかったんですけど。
1:52:59	明確にしてください。
1:53:06	はい、与儀西田でございますはい、承知いたしました。
1:53:12	コサクです、今のその表カノウ。
1:53:15	東ね方だったり、代表性だったりっていう話になるんですけど、
1:53:25	等、
1:53:30	具体的に後ろの評価項目一覧表を見ても、代表性について、あまり
1:53:40	明確に書かれてないような気がするんですけどそのあたりはどうなってるんでしょうか。
1:54:01	はい。日本原燃石田でございます。はい。ちょっとそこも書ききれてないので、整理をします現状私が思ってるその絵姿が足りないなと思っているのは、
1:54:10	今評価パターンを三つに分けますと言っていますがこのいわゆる 36 ページ 37 ページ表に入っているものの評価項目というのいわゆる主、類似。
1:54:21	類型化をしてどれかを代表にするという整理の考え方もあるはずで、そういったところにまず上手く整理ができてないところを、があると思ってます。そういった部分を、
1:54:33	整理をして本文でも明記をし、今後の展開にもつなげていくということが必要だと思ってます。
1:54:43	古作です。今の話でいうとまだ代表性については選定してませんこれから考えを整理して作業していきますってことですか。
1:55:05	はい。二本木ニシダでございます。はい。ある種、今 3637 についても特に(1)(2)入っているものはまだグルーピングが私はずね、できるんじゃないかなと。
1:55:20	思ってるんですけど、作ってる人たちの作業側、これが最大限まとめたものだと思っているのでそこでまだミスマッチがあるかなと思ってますはい。ちょっとまだ議論が必要かというところだと思いますはい。
1:55:35	はい、細田です私もまとめられると思ってまして、少なくともキーワードとして同じものっていうのは、
1:55:44	これはこれの並びかもしれないですけど 1 回並べ替えをしてみてもいいですね。
1:55:48	類似性があるところで差分があるところっていうのを、
1:55:52	1 回位書き上げて見ていただきたいです。

1:55:57	そうすると、まとめた上で説明すればいいよねだとかそれ一やっても結局こう見なきゃいけないから分けた方がいいんですっていうことなのかっていうことが話ができるかと思いますので、
1:56:10	検討をお願いします。この資料ブラッシュアップじゃなくても、進め方資料なり何なりのところで、相談何でも構いませんけど、ご検討お願いします。
1:56:20	はい、乳井西田でございますありがとうございますはい。ちょっと評価の中身であったりの話も整理しながら、
1:56:27	グルーピングができる呉ではないかと思ってるところ考え方を整理していくということで議論をしていきたいと思いますので、進め方の資料なり、
1:56:38	使わせていただいて、ヒアリング等々の設定をさせていただければと思います。
1:56:44	はい。補足です。一方ですね、
1:56:50	悩ましいなと思ってるところある程度割り切りでってこれまで言ってたんですけど、
1:56:55	括弧一位のパターンの中に、消火剤容量というのは、
1:57:01	あって、
1:57:03	或いは換気風量というのがあってと。
1:57:07	ということなんですけど。
1:57:08	(2)の、
1:57:10	パターンの方にも、
1:57:14	要領と、
1:57:16	というのがあってと。
1:57:17	ということで、
1:57:20	言葉じり要綱は、単語をくっつけてることによって違うようにはしているものですね。
1:57:28	類似品なんですね。これ、どこで線を引いた形にしています。
1:57:48	はい、弓削西田でございます。例えば消火剤の容量等、今おっしゃっていただいたように設定根拠の④番ですかね。これが消火剤の入ってる容器の容量、
1:58:03	その関係になるんですけど、
1:58:06	消火剤の容量自体は、火災の規模なのかな、よう体積かどっちかっていうと部屋だと。
1:58:14	あと、消防法に基づくタブ消火剤としての必要容量を機能性能にかかるといったように基本設計方針から、要求事項を展開してその容量が確かにありますよねと。

1:58:28	いう説明が今(1)番に入っていて、
1:58:31	一方仕様表上は、買ってくる容器の容量をかける、本数がこんだけです ということで、その本数分が、多分この
1:58:42	(1)でいって利用料を上回っているということ、括弧 2 番側で説明しよう ということなんですけど、何かもうちょっと整理できるような気がします ねただ、
1:58:54	(1)番と(2)番の整備をどうするかってところと、適合性の中でどこまで 説明してあとばと思って、
1:59:01	設定根拠に渡すかということも含めてかと思いますが、
1:59:07	はい、古作です。
1:59:09	今で言う消火剤容量っていうのは具体の消化器の容量とかではなくて、 ショウカー。
1:59:18	設備の系統として、どういう性能を持たせなきゃいけないのかと。
1:59:24	いう評価である。
1:59:25	一方で、具体の、
1:59:28	機器のレベルでの整理は(2)ですっていいですかね。
1:59:32	はい。弓削イシダでございます。おっしゃっていただいている通りです。
1:59:37	はい、細田ですわかりました。
1:59:39	と全般そうになっているってことで大丈夫ですかね。
1:59:44	ちょっと、(2)の①も表現としてはあやしいところありますけど、内容とし ては具体の、
1:59:50	動作機器の計画荷重というような気もするのですが、はい、はい、そ の通りです。
1:59:59	古作です。考えは整理されているということで理解をしました。今後表現 ぶりとかでは、
2:00:06	何でしたっけ、評価。
2:00:08	項目なり何なり、要望は整理をしていくということだったような気もするの で、
2:00:14	わかるようにしていただければと思います。
2:00:20	はい、乳井入沢でございます承知いたしました。
2:00:27	はい。規制庁の荒井ですけど、この冒頭のさ、さわりの部分で、他何か ございますでしょうか。
2:00:35	規制庁山口です。
2:00:38	本文と若干収支の方からってしまうんですけども確認に行きたくて、溢 水、

2:00:44	についてちょっと先ほどの議論とも関係するかもしれないんですけど、その 36 ページの評価項目には、第 2 回申請の評価項目には相乗しないんですけども、
2:00:58	700、
2:00:59	資料 4 の(2)700 ページの目次に暑い時っていう形で入れてきて、
2:01:07	資料 4 の(1)にはなくて(2)の目次で出てきて、この辺りちょっと井清の整理状況っていうか、教えていただきます。
2:01:32	玉井ちゃん。
2:01:34	はい、西浦でございます。はい。まずはこれは間違いです。沖です。沖ですというかちょっと冒頭、
2:01:44	この議論をさせていただき、私が中でも議論になって非常に迷いながらどうするかということで分割申請のことも考えて 2 回でやることっていうのを考えたときに、
2:01:55	資料 4 でど、こんなのを出せるのかっていうところで資料 32 のリンクージも含めて、整理をしているところですので、その辺も含めた全体整理をして、
2:02:08	別途また説明できればと思いますはい。
2:02:12	はい。
2:02:13	規制庁山口です。
2:02:15	水中っていうことで本当にも議論した通り、
2:02:20	最後に
2:02:23	そろってから評価完結するっていうところで、
2:02:27	今回の方まで示せるのかっていうところはちょっと整理。
2:02:33	あ、すみませんコサクです。
2:02:36	先ほどヤマグチちょっと言ってましたけど、
2:02:38	本文の方は、第二課申請分ということで、
2:02:44	一番最初に大川からも確認ありましたけど、
2:02:47	こっこの目次はどういう範囲なんですか。
2:02:53	はい。弓削ニシダでございます現状同じ範囲で書こうと思ってました。はい。
2:02:58	ただ先ほど全体の 7 整理っていうのが分割申請の結果 MOX の場合は全体像が見えないところがあるので、溢水みたいな
2:03:09	グローボックス取り込みみたいに第 2 回と第 3 回同じようなものがものが変わって出てきますっていうとちょっと訳が違うので、第 4 回まで含めて全体像を、

2:03:20	第1回のあるときにあったような個別補足で整理をしつつ、そういう範囲の説明がどこの資料で展開されるのかをわかるように見える化しようと、いうことを思っていたところでした。
2:03:34	古作です。そうですね。それをどのあたりでどう表現するのかなと思うんで、どこまでやるんだろうっていうのはちょっとよくわからないところがあって、
2:03:49	溢水の高さであれば許可で暫定的な話がしてあるのか。
2:03:58	最初2、
2:04:00	最初でモリか、今回まとめちゃったから、
2:04:04	うん。
2:04:08	今回急いでいいのか。
2:04:13	藤真帆カノウイセスタ事業者の施設とかでも
2:04:18	溢水影響評価は最後だけでやっていると。
2:04:23	ということだと思うんで、それまでの間で何が説明が必要なのか、っていうのを、
2:04:30	どこかで明確にして、入れておいていただければ、
2:04:37	はい、二本木西浦でございます承知いたしました。そういう意味では、
2:04:44	先ほど一斉の取り扱いはおっしゃっていただいている通り1回では、個別ホソノ101とかで整理しましたけどもちょっと踏み込んで、今回の共通順位での関連の説明とのリンケージも含めて整理が必要かなと思いますのでそれぞれの会議での出すものと、
2:05:02	ということの整理をさせていただきます。
2:05:04	そういう意味で私もMOXだけでも前第2回の全体像がわかるようになっていって36ページ37ページつけたんですけど、そもそも共通商品が第2回に限定した。
2:05:16	補足説明共通の補足でもないのに、ここに第2回リストを載せること自体が、私が指示したにもかかわらずナンセンス極まりない気がしてきたので、ちょっと全体の考え方を整理します。はい。
2:05:31	はい、細木です。わかりました。一方し、第2回っていうものの審査の中でどう進めるかっていう意味では、倉庫に限定しなきゃいけない部分もあると思うんで、
2:05:44	ある程度枠は全体を押さえても、第2回ではどうするっていうのがわかるようにしていただければと思います。
2:05:57	はい、承知いたしました。
2:06:05	他
2:06:07	最初3割の部分と、もしくは
2:06:12	資料4までの冒頭の部分まで含めて、

2:06:15	何かあればというところなんですが、
2:06:18	私から1点だけで、
2:06:22	30、
2:06:23	6ページ目に、パターンが(1)から(3)でございまして、
2:06:29	(2)が設定根拠のお話で、
2:06:32	具体的に設定根拠って、資料2の中でいろいろ
2:06:38	抽出されて、仕様表として抽出されてると思うんですけど。
2:06:45	全体的な整理の話として、資料2の表に出て、
2:06:50	書いてある仕様表の中の、
2:06:55	例えば
2:06:56	そこに仕様表がありますって書いてあって、そういう項目については設計項目として評価っていうのは絶対隣り合わせで出てくるものなのかどうかっていうのを確認したいんですけど。
2:07:10	例えばファンの容量であったら評価に飛びましてあるんですけど、
2:07:15	開口風速とかそういうものについては評価には飛びませんかとか、
2:07:20	そういう仕切りが今資料2の方でなされていて、設定根拠として使用表がついているものに対して、
2:07:28	評価として抽出するものとししないものってどういう整理なんでしたっけっていうのを確認したいんですけど。
2:07:35	はい、二本木西原でございますが、まず容量とか、あとは、例えば最高使用温度ですかね、とかは、
2:07:45	評価の項目とひもづきますけど例えばですけど主要材料みたいなものは、構造設計側と結びついて評価にあまりGTGが、条件としてあるかもしれないんですけど、はい。材料構造の条件にはなるかもしれませんがあんまり直接的な認定じゃないのかもしれませんが。
2:08:00	アノというようなことをどこかで整理しておけばいいんですか。
2:08:05	そうですね。例えば318ページが一番、私としては見やすいかなと思っていて、
2:08:14	容量については評価っていう項目が構造設計とかシステム設計の下についてるんですけど、例えばナンバー30、
2:08:24	318ページの、
2:08:27	フィルターの効率みたいなところって、構造設計止まっていて、
2:08:32	ここの設定根拠っていうのは、評価の項目としてここで起こさないんですしたっけ。
2:08:38	何か左にはフィルターの効率の設定根拠って出てくるんですけど。
2:08:43	左の添付資料か。

2:08:45	はい、日本イシダでございます。はい。絶対根拠上はフィルター能根拠当然、いろんな日、値の許可の中でも前提になってますので、
2:08:58	設定後の仕様表にも書きますし設定根拠の説明書も書きますが、基本、そういうフィルターを設置するそういう能力を持ったフィルターを設置するという構造設計側の、
2:09:11	意味合いがあると思って今構造設計側にフィルターの仕様表とかのやつは、効率ですね、リンクを取ってます。
2:09:20	というのが現状の整理です。
2:09:23	評価。
2:09:33	はい、説明を終わりです。
2:09:36	あとはどこまで説明者、飯野甲斐ですけど、フィルターの段数を例えば4段設けます。それによって非江藤評価自体は許可で被ばく評価の中でやっている巨強化。
2:09:49	あれが全体の評価だと思っていてそこである程度クローズしてるかなと思ってましたんで、その評価の前提になってるような法律のフィルターをつけますというのが設工認側での約束だと思ってました。
2:10:03	うん。
2:10:05	ただ
2:10:08	なんていうか、
2:10:09	設定根拠って、そうすると、フィルターの設定根拠の効率、フィルターの法律の設定根拠、
2:10:16	の説明書って、評価チックなことが出ないってことなんですか。
2:10:27	はい。上西荒でございます。はい。そういう効率を持ったフィルターであるということそういうものを準備しますということだと思ってます。例えばですけど、
2:10:40	個数容量無を小アノD、設計基準の設備なんかの個数っていうのも結局、一つである説明っていうのも、別に評価チックなものは何もなくて、
2:10:50	系統上必要な容量を確保する、仁木準備します、1基準備しますっていう説明とも同じであまりそこに評価チェックなものは設定公共だろうと入ってこないものも一部あると思ってます。はい。
2:11:06	コサクですけど、
2:11:08	それはそうなんですが、
2:11:11	ですがというかだから何とか、どこでどう説明してるのかを明確にしてくださいっていうのがアライの言いたいことかなと思った。
2:11:21	出まして、今言われた個数容量だったら、資料3のここでご説明しますと、
2:11:28	ということだと思うんですね。

2:11:32	じゃあ効率はいったときに、こうですよと言えればよくて、
2:11:39	構造設計ですかね。
2:11:47	生徒システム設計かって言うて、あとそれこそあれですねグローブボックスの近辺のフィルターなんかは、配置設計もどっかやってると。
2:11:59	あれ、4台に入ってる。
2:12:02	グローブボックスが後に打つ。
2:12:06	今のPCの中に入ってきたら、
2:12:10	前年の報酬の形の効率評価の中に入ってるね。はい。だから、構造設計だけ、今示しとか318ページ、防災けど、
2:12:20	関係者のってナベタシステム設計は位置的構造セキミナミですよ。どれか。はい。どれかの組み合わせだよ。はい。
2:12:29	なのでその関係性も見える化すればいい。
2:12:34	はい、村崎です。まず、末端からすればそういう整理をしっかりとくださいということだと思っんです。その上で、アライの言いたいところをなるべく明確に示すためには、
2:12:46	本文とか2それぞれの扱い方っていうのをしっかりと書くということで、これまでも構造設計と評価の釘を明確にしようって話はしてたと思うので、
2:13:00	設定根拠のうち、個数要領はこういう対応で、
2:13:06	法律はこういう対応でということをして1回
2:13:10	書き下しておくといいのかなと思います。
2:13:14	はい、日本イシダでございますはい。ありがとうございます私が理解が十分じゃなくてですねはい。やっていただいている理解をしました。そういった整理を、今回資料の中で、仕様表とかの値、項目であったり、設定今度のリンクも含めて、
2:13:30	ありますので資料2のところの説明の中にそういったことの整理の考え方というの追加本文上していければと思いますはい。
2:13:38	はい。規制庁の荒井です。はい。お願いしたいと思います。また資料4という概念が出てきてしまったので多分ガイドの方かもしれないですけど資料4を整理していく中でまた資料二、三なり、フィードバックするものがあるので、
2:13:51	その、
2:13:53	抜け漏れっていうかリンクの漏れがないように、そこは留意して作業を進められるように、また繰り返しますけど、ガイドの整備もお願いしたいと思っております。
2:14:03	以上です。
2:14:10	はい、弓削イシハラでございます承知いたしました。

2:14:13	うん。
2:14:16	それで、補カー特に資料二、三、あと資料 4 ももう入ってしまって、
2:14:23	資料 4 で説明した議論した方が早いかもしれないので、683 ページ目以降ですかね。
2:14:31	古作です。ごめんなさい。ちょっとだけ細かな話で申し訳ないんですけど 36 ページ
2:14:38	(2)の設定根拠⑥2、072、
2:14:44	ファン、
2:14:45	ポツ、ポンプの原動機出力と書いてあるんですけど、
2:14:49	⑥はポンプだけだ。
2:14:52	ですね。
2:14:53	これとセットで原動機出力説明されるのかなと思うんですけど、パッとどうなってるんですか。
2:15:07	はい、日本イシダでございます。今後ちょっと全体の整理を明確にしていきたいと思います今 20 条の①番で排風機として必要な換気風量これで、
2:15:18	要領の説明を菅の方はするということで、(1)と(2)でまた先になっているところが多分あると思ってますので、それも含めて、さっきの容量評価概要じゃないですけど、
2:15:31	全体の関係性をちゃんと整理をして、どこのボックスに何が入っているかと、いうことの適切性も含めて整理ができればと思いますはい。
2:15:40	はい。補足です。それでいうと先ほどの(1)の方は系統としての排気風量であるはずで、それが
2:15:49	1 台のファンで対応するのか 2 台にするのか、三分の 2 にするのかみたいな古藤については、システム設計で整理はしてあった上で、
2:15:59	1 台のファンについてはというのは(2)だというのが、先ほど私の確認した上での方向性かなと思ったんですけど、いかがですか。
2:16:09	はい。与儀ニシダでございます。はい。私もイメージ。そうです。はい全体の設計のコンセプトを込む決めなきゃいけないことの流れと、それ(1)(2)の関係性というのを整理できればなと思ってました。はい。
2:16:28	はいコサクです。(1)カッコ 2 ノースグループ、パターンの中のグループ化については、先ほど項目を踏まえながら考えてくださいねということでもいいかなと思ってますけど。
2:16:44	グループ化の関係だと(3)、
2:16:48	がいっぱい書いてあるんですけど、
2:16:52	これは
2:16:55	申請前から大分累計の話で議論してたと思うんですけど、これ一、

2:17:02	仮結果なんでしたっけ。
2:17:05	はい。二本木ニシウラでございます。これも、これが結果ではないと思っ てます先週、いつだっけ、審査会合資料的にイマセ議論になった。
2:17:17	A3 の中でも当然、
2:17:21	テストパターンをグループ分けっていうんすかね、をした上で、あんまり
2:17:26	グループの設定のもともとの考え方にもあった通り、ボリューム感にあ んまり隔たりがないように、詰め込み過ぎてできないようなグルーピング ならないようにってのが、
2:17:37	全体のコンセプトであるのでそういうことも考えていかなきゃいけないと 思ってます。それをすることによって、3 と言ってるのが 3-13-23-3 とか、多分さらに細分化された。
2:17:48	タイミングが出てくるんじゃないかなと思ってます。はい。
2:17:53	はい。補足です。
2:17:58	そうですね。
2:18:02	多分、完全に独立ではなくて、入力が違うだけですよとかいうことが あると思うので、その関係性は整理をして、どこを中心に枝葉として表 現するのかと。
2:18:16	いうことは整理をいただきたいなと思うところ。
2:18:20	です。
2:18:24	なので波及影響だっけ耐震での評価で済むものは、オオモトによらせ るんでしょし、
2:18:32	その辺りをもう少しクリアにしてもらえるといいかと思います。これは、
2:18:38	耐震の補足説明資料なりで、
2:18:41	いえ、
2:18:42	不要になるんじゃないかなって気もしますけど、
2:18:45	今ってあるんです。
2:18:47	特にはないですね。
2:18:51	ないので、はい。それも含めて全体。はい。必要なパーツをそろえ ていきますはい。
2:18:56	はい、古作ですお願いします。
2:18:59	へえ。
2:19:00	一方
2:19:02	その内数の中に代表性。
2:19:06	藤。
2:19:07	ダートっていうのが大分あるはずなんですね。
2:19:12	その中には、グループのAなのかBワンダとかBIIなのかっていうような ところもあったりすると、

2:19:18	いうところだと思いますので、
2:19:22	代表性の話っていうのを、そこは
2:19:27	(1)(2)でもうパターンとナカクドウを整理した上で、
2:19:33	逆の意味でその中での代表機器、江田オダで説明する機器ということ を抽出してということだと思うんですけどそのあたりはどう進めますか。
2:19:46	はい。日本原燃石田でございますはい。ここの評価項目の類型を全体的に どうやっていくのかという考え方の整理をまず早急にさせていただきつつその上で、
2:20:00	その中である種、どういうステップで代表だったり、類似性の考え方だっ たりをし、まとめてこれをソーティングしていくかと。
2:20:10	ということかと思えます。やりたいことはおっしゃっていただいているこの評 価項目と言ってるものの、類似性を菅評価内容を見ながら、
2:20:21	代表を選ぶということをそれをまずは(1)(2)(3)の
2:20:28	多分項目でまずやりつつ、(1)(2)の関係性を見ながら、さらに、一番 の代表になり得るもの高になるものっていうのの整理かなと。
2:20:40	思いますのでそういうことを整理していければと思えますがまずはその コンセプトをちゃんと整理していかなきゃいけないと思ってますんで、そ れをなるべく早くお出しをして議論ができるようになればと思ってました。
2:20:55	はい。補足です。よろしくお願ひします。
2:20:58	登場人物は整理されてきているので、もうさっと考えまとめて
2:21:04	例示してくれれば、まとまるかなと思えますので、あまり時間をかけずに 対応をお願いします。
2:21:15	はい、柳下でございます承知いたしました。
2:21:24	いいですか。
2:21:25	規制庁の荒井ですけど、全体資料4関係を通じて、
2:21:36	他何かもうほぼほぼ言ったような感じだと思うんですけど。
2:21:41	これだけは、
2:21:42	何ていうか全体を通じて整理しないといけないっていう部分があれば、
2:21:49	規制庁カミデですけど、その耐震で今回、グローボックスが出てて、 話にも出てたと思うんですけど、これが何を代表するものなのかってい うところ。
2:22:01	整理中とは言いつつも、どういう目線で、どれぐらいはカバーすると思っ て書いてます。
2:22:27	はい、八木西原薄井丹さんっていうのはですかね、有限要素出し典型 だというのが今グローボックスで書いてるけども、有限要素で出てくるも のを全体をカバーした代表だと。
2:22:39	持って作っているのか、あれ説明グループ1の範囲での

2:22:45	物産イデ書いてるのか。
2:22:47	でもこれグループにも含めて、絶対いて、代表性で言ってんだよね。そう。
2:22:54	だからここで言ってる 754 ページに書いてるのが、これを代表のつもりで書いてんだよね。
2:23:01	でも、これ一の代表になりえてることの説明は多分書いてないんだよね。
2:23:07	この流れを書いただけだもんね。
2:23:09	そこがないと足りないねってことだね。
2:23:12	そこを頑張る排尿ギリシヤでございます原料 754 ページに書いてある呉、有限要素であれば、
2:23:20	出てくる機器のタイプこれを全部代表してるつもりで書いてますけど、本当にそうかってところも含めてちゃんとこの中で書き下せないと、駄目な気もするので、差分がないのかどうかっていうのも含めて定義。
2:23:33	だと思うので、はい。
2:23:38	あれ。
2:23:39	はい。大丈夫です。はい。次、
2:23:43	何だ有限要素全部って言われたって、
2:23:46	何だろう。
2:23:48	入れとき集まれば、グローボックスはいい年ぶつかってるし、あとは、どこだったかな、何かそり一等もあるんです。本当にそれとMOXで使うのか知らないですけど、
2:24:00	それとも一緒ですって言われちゃうとなあっていう気もんしつつ、
2:24:06	さらに、
2:24:07	今の様子だとあまり定めてはいないようなのでちゃんとそういうのを定めてくれないと、
2:24:14	グローボックスの説明としてはそこそこかけてるなあとは思いつつですね、いや実はこれも入ってるんですってなると全然目性んが、視点が足りないところがあった。
2:24:25	感じがあるんで、そこを入口ちゃんと目線を合わせて話ができる。
2:24:30	次できるように、次回、できるようにお願いします。
2:24:36	はい。乳井ニシヤマでございます。はい、承知いたしました。
2:24:42	規制庁カミデサトウこま本当に細かいところなんで今やる話じゃないんだとは思いつつ、
2:24:51	776 ページ。
2:24:54	の根井。
2:25:02	776 ページの加速度の話がちょっとよくわからなくて、

2:25:08	あれ何でしたっけ。
2:25:11	動的機能維持を見るときって、普通、
2:25:16	暴力見るときは 1.2ZPA使うけど、
2:25:20	動的機能維持の時は、普通の 1.0ZPAを使いますっていう説明してるんですか。
2:25:36	日本原燃石田でございますまずおっしゃっていただいていることを書いてるつもりです。
2:25:41	はい。規制庁深見です。それでいいのかなっていう感じは非常にしてて、ちょっと他電力を含めて、どうしてるか見てもらったらいいと思いますし、
2:25:53	あと
2:25:54	暴力の時はCPって
2:25:58	原動機自体が、自分の進藤で、
2:26:03	揺らされますよね、そのパソコンを足して評価してるんですけど、動的機能維持の時はそれは関係ないっていうふうに見えるんですが、
2:26:12	本当に果たしてそうなのかなっていうところもあってそれは細かいところなんでこれからなのかもしれないですけどちょっと目についたので、お話しておきました。
2:26:21	はい。日本原燃千田でございますはい。ありがとうございます。そういったところも含めて整理を進めますはい。
2:26:28	そうですねおっしゃっていただいたように、動的機能維持だから動いている時にね。はい。
2:26:35	もしても、熊坂宍戸地震の震度で止まりますって言ってるわけじゃないんで、なかなかそんなホンダこともないわけです。
2:26:42	そういったことが動き続けるんでしょ。
2:26:45	はい。ちょっと整理をして、拡充なりなんなり整理をしていきたいと思えます。設置言いたかったのは
2:26:53	要はまず政治性リーをちゃんとしたさっき言ったみたいに、何が代表ですかとかここで示すものなんだっていう整理をしてくださいと言っていいのでそれをやってくれば、
2:27:03	いいんですけど一応中身もそのあとちゃんとありますからねっていうことだけ覚えといてくださいっていうので、今そこれを解決してもしょうがないので、そういうことだと思う。
2:27:17	はい、日本ギリシャでございますはい。承知いたしました。
2:27:22	確か、もう以上です。
2:27:24	規制庁の荒井ですけど、大体大枠も説明終わりましたし、

2:27:30	時間も結構経ってあと細かい点もう少し聞かなければいけないというところもあるんですけども、
2:27:37	16 時になりましたので、1 回休憩挟んで、16 時 10 分再開するという形でもよろしいでしょうか。
2:27:49	はい、日本イシハラでございますはい。大丈夫です。はい。では 1 度、録音を訂正お願いします。
0:00:00	お願いしました。
0:00:03	はい。規制庁の荒井ですけど。
0:00:06	それでは、結構冒頭の部分で議論もあり、かつ、資料 4 にも入ったんですけども、
0:00:13	そういう意味だと、資料 4 に入るまでに何かある人って、
0:00:19	ある方って確認したいからって、ございますか。
0:00:24	規制庁岡です。あと参考資料の記載方針はどっち側で議論します。
0:00:30	資料 4 の中でもいいんですか。
0:00:33	そうですね。参考資料については、どちらでもいいような気がするんですけど、資料 4 の中でしましょうか。
0:00:43	はい、わかりました。はい。
0:00:48	そうしましたら資料 4 の方で確認を。
0:00:53	さして適宜していただく、いきたいなと思っております。683 ページ目以降で、
0:01:08	まず、685 ページ目から、一覧表になるんですけども、
0:01:15	ここで何か
0:01:18	確認等ございますでしょうか。
0:01:27	市岡です。結局評価項目一覧表。
0:01:32	は、先ほどの議論
0:01:35	を
0:01:37	本体側と参考資料側はいろいろ修正されるっていうことは、
0:01:44	流れとかですね、明確になったと思うんですが、
0:01:48	今の記載から何か変わることでありそうですか先ほどの議論、
0:01:54	はい、弓削西浦でございますこの評価項目一覧表は先ほどの、
0:01:58	代表性だったりグルーピングだったりも含めて、特にこの評価時期だっ たりのところが、修正が加わると思ってます。はい。といってもこれも、
0:02:11	本文が大体の流れの整理だったり、どういう目的でどういうことをやって いくかというステップとの関係で、最終的なゴールをちゃんとここで示せ るようにするということだと思ってます。
0:02:22	はい、規制庁岡です。結構、
0:02:25	この資料って、その資料の 4-02 なんかを、

0:02:28	詰めていったりあと個別補足説明するような、もう、
0:02:32	にもフィードバックしたり、資料2にもフィードバックしたりするような、結構重要な位置付けのものというか、かなりいろんなところと密に、
0:02:41	面接していて、ちょっと先ほどの議論で代表の話で気になったのは、紐付け、
0:02:49	表との関係で、今回代表わかって、
0:02:54	紐付け表の中の代表を選定しているわけではないんです。
0:02:59	すいませんちょっといろいろ言ってしまったんです。
0:03:17	日本イチノセちょっと待ってください。
0:03:48	はい。二本木ニシダでございますそういう意味でいくともとの参考2-1だけ。
0:03:54	参考2-1で評価も含むと言った上で、評価の含めん関係も含めて代表性の話をしてましたけど、結局は
0:04:04	この評価項目1代表に全体を吸収したと言いながらも、その代表の話をすっぱり抜けているところもあるので、
0:04:13	先ほどあった作ってる側は、今までグルーピングできてるところと、まだまだ代表も含めた整理ができるねと違ってるところの、私との多分差が、
0:04:25	埋まらないと全体の整理にはいかないのかなと思いますので、そこも含めて、
0:04:33	全体この評価項目一覧表をどういう形にしていくのがいいのかっていうところに、持っていければなと思います。はい。
0:04:40	はい。高須。そうですね全体の流れの中での評価項目一覧表がかなり大きい養えるようになってしまったっていうのが、
0:04:50	あるので、そこの再生利用待ちたいと思います。
0:04:55	で、
0:04:56	とりあえず評価項目一覧表が私以上ですが他の方は、
0:05:13	規制庁アノオカなければ(2)ゴコウ699ページ目からの、
0:05:19	評価条件等の方で、
0:05:21	もし確認したいことがあるんですがよろしいですか。はい。お願いします。
0:05:25	704ページ目から漏えい器受け皿と漏えい、施設内漏えい防止堰の話があつてで、
0:05:33	衛藤氏、審査資料の方でも注記の部分ちょっとわかるようになっていう、
0:05:39	お願いしたところだったんですが、この二つをどういうふうに進めていっていかつていうのがまだちょっと理解できてなくてですね、ウエキ受け皿は、今回書いてある言葉を、

0:05:51	で、説明していくってということなんですが、
0:05:54	漏えい防止堰の方は、この紙資料の中でどういうふうに記載しているかとしていっているんですか。
0:06:20	はい、日本イシハラでございます。まずはすいません最初にこの資料 4-2 をどう作り込んでいくかというところCグループ間のやりとりの整理も、
0:06:32	しないまま、この 10 条の①をつけたところで、この位置付けをどうしようか悩みながら、ここまで来てしまっているのだからアノとはいえず、
0:06:42	おっしゃっていただいて 704 ページに書いてある今後施設外漏えいで墓石が出たときに、どういうところが変わっていくもしくはアノ分岐じゃないんだそれぞれの項目がどう、
0:06:54	追加されているのかのイメージを、705 ページのプロセスとかですね、そういうところで、
0:07:00	示さないとなら、いや、あなたたちがやってるこれ多分わからないんだって将来情報じゃ。
0:07:07	いきなりここに来るとき、漏えい液ウエダと話しかけないんだよね。
0:07:14	だって括弧 1、1 ポツですね、言ってんの。
0:07:17	だから、タイトルと中身が合っていないんだよ。だから全体を皆さん示し切れなくてないだけなんで、
0:07:24	何かやるなら、1 ポツの概要 2、一節が披露宴セキの話も入っているということを確認した上で、
0:07:32	細かい話をしないまでも 705 ページのフローの中にそれでどういうところが施設外漏えいセキ特徴として追加されていくのかって話を、
0:07:41	書かないと実態がわかるんですよ。
0:07:44	結局、
0:07:45	このくらい。
0:07:47	うん。例えば、イセとしての設定が結局違ってくる場所、そういうそれをちゃんとイメージ示さないで、
0:07:56	元、
0:07:57	何を言いたいのかわからんやんね。
0:08:00	はい、日本イシハラでございます。ちょっと、そうですねまずタイトルと、中身が一致してないところを、少なくとも 705 ページなりで全体像がわかるようにしつつ、
0:08:13	それ以降は漏えい引き受けざる話を展開しますとかですね、お断り書きも含めて全体の整理をさせていただきます。はい、光岡です。これは審査会合資料としての以前は今回のこのフェーズで、漏えい。
0:08:30	防止セキがついてくるというふうに説明があったと。

0:08:34	思ったんですが、結局は審査会合資料にも、今回のフェーズでも、そこは出さないって投資に今なってるんですね。
0:08:50	はい、日本イシダでございます。まず今、この704ページの注記の意味合いというのも含めて全体の流れがわかるように少なくとも審査会合資料も含めて、705ページのところは、全体がわかるようにさせていただきます。かつ、706ページ以降が、
0:09:11	少なくともその中での漏えいきざに、トピックスというかスコープ分けて書いているものだと、いうことも関係性も含めて整理を支給して、
0:09:22	介護資料側とのセットにもさせていただきますはい。はい、わかりました。じゃあ705ページのところでどういうふうにならなっていくかっていうのを、施設の色エザキもアガワも含め、
0:09:34	全体像がわかるようになって別のナカイの資料でも、
0:09:37	出てくるということでとりあえずのツールを持ちたい、思います。
0:09:42	あと、707ページ目。
0:09:45	閉じ込め03とかはあるんですが、今借りてついたりして、下の表の上ですね。
0:09:52	おらへんって結局グループさんで出てくると、今回サンプルとして十字をつけてますが、この当時小室さんなんかはグループさん側で、
0:10:02	説明した後に、このグループAと、
0:10:05	この上ご出席とかを説明する段階で出てくるとそういうことですよ。
0:10:11	はい、乳井西田でございますはい。おっしゃっていただいている通りです。
0:10:15	はい。岡です。結局、今回この資料で説明しようとしているのはそのフォーマットとか、これぐらいの記載の目習慣レベル感を、認識を調整したいとそういう理解でまずよろしいですか。
0:10:28	はい。与儀ニシダでございます。はい。まずおっしゃっていただいている通りですということも含めてこの4の(2)(1)、(2)も含めた最終ゴールをちゃんと定めないとこれだと今かなり中途半端だなと思ってるところもあってそういった全体像も含めての整理が、
0:10:45	まだ必要なところだと思ってました。はい。はい。政調会です。先ほどの議論。
0:10:51	関連しますがそういうところが明確な、
0:10:53	いるといいかなという、
0:10:55	でした。あと710ページ目から添付がついていて今回それぞれ位の評価項目で添付ということで、
0:11:04	いろいろつけてもらっていてここは、代表以外は代表も含めなんですけど全部こう、
0:11:11	このパワーポイント形式で掲載しているんですが、

0:11:15	このパワーポイント形式で、このね、
0:11:18	やり方で全部これから、
0:11:20	共通 12 の資料 4 として付けていこうとされてるんでしょうか。
0:11:27	はい。イナミネイシダでございます。そこが正しくですね、私が、
0:11:33	これ最後どうしたらいいだろうってなやり始めたところでした、
0:11:37	結局は最後は、添付書類の形になっていくとすると当然、ワードなり何なりの縦書きの文章になっていくと。
0:11:45	それをやるためには少なくともこの中で、その評価としてどういうことを整理しなきゃいけないかということに加えて、
0:11:53	添付書類としてどういう構成で示していくかということを決めて最終的にそっちの形に持っていかなきゃいけないので、そういった全体像も整理しつつ、
0:12:03	キタナカ資料 4 の(2)の位置付け、
0:12:07	最終ゴールとの関係でこの形のとときにどういう整理をしておけばいいのかと、いうことの関係で形態も決まってくるのかなと思ってました。
0:12:17	ツボクラですこちらもその認識で今回、
0:12:21	今回のだけでも、搬送設備なんかはかなりのページ数を抑えていて、
0:12:27	本当にこれを全部やっていくと今後相当いろんなことにならないかって言うてもでき、この後続いていく、00 資料とか、
0:12:36	厚生省とか、この形式ではつかないので、そこはよくコウを考えていただいた方がいいのかなと思った時代です。
0:12:50	はい、日本イシダでございますはい。かなり後手後手になって恐縮でございますはい。おっしゃっていただいている通りのオダと思ってますので。はい。
0:13:00	誠意を進めますってということですねはい。本当は一番最初にそれ決めないと、多分資料もつくれないので、
0:13:07	中途半端にスタートかけさせてしまったなと思ったところを反省しているところでございますはい。
0:13:13	はい、規制庁からです。あと、添付で気になったんです。代表で 1 回説明したものを添付でもう一度書いているわけですが、その中で代表でこれでしたよみたいな。
0:13:25	開くとか、そういったものって、
0:13:28	つけないんです。
0:13:48	2、
0:13:51	ふうん。
0:13:56	宇和エクスキューズ 4 対象支店だけで、
0:14:03	それが代表だってことはもうわかんないんだよね。

0:14:06	でも前では書いてあり、
0:14:09	明日、
0:14:16	はい。ちょっとだからこのx94 が出てくるのは、
0:14:21	前川どういう意味で代表なんだったという 707 ページ側の説明とあとはその表の中での代表だったというこの関係性の説明と多分セットだね。
0:14:32	全体からすると、はい、新居上坂でございますはいちょっとあの、
0:14:37	最終的な形はどうあれ、その 707 ページで言ってるx94 を出しているところの、代表で示すと言ってますけどこの代表性の話をどう持っていくかということと、
0:14:48	あとは一覧表になってるところでどれが本文上頭の方での代表になっているかということの、リーケージということも含めて全体整理をできればと思います。はい。ツボクラです。712 ページ目の結果なんか見ると、
0:15:02	代表性というかその一番厳しいところをとっているというのが、
0:15:08	わかってきつつ、もう
0:15:11	もうこの頃には大丈夫。
0:15:13	の議論が、別添の中ではなくなくなってしまうというのは何か。
0:15:19	後でまた、代表何だっけ、エミタケシタんで、
0:15:22	その辺もわかるようになってればいいなと思いつつその全体の流れの中との河成もあると思いますので、私は 1 人のほどよろしくお願ひします。
0:15:33	はい。二本木記者でございます承知いたしました。はい。
0:15:37	はい、規制庁課です。あと 714 ページ目からの換気風量なんですけど、
0:15:44	こちら、結局はグループ 3 で説明することにまずなってるんでしたっけ、もう。
0:15:52	はい。先ほどの評価項目一覧表の方で、はい。稲毛ネシアでございます。ですね先ほど評価項目一覧表でいきますと、これは、
0:16:07	そこじゃねえ。
0:16:08	23 秒。
0:16:17	687 ページの、23 条の①番ですね。
0:16:24	これは説明グループ 1 でやりますということにしてまして、
0:16:29	これいろんなところのリンケージがあるのでその全体の整理をしないといけないと思ってます。最終的に風量を決めてるのは、20 条側での、
0:16:40	風量になるのでその前のページに出てくるやつの全体の
0:16:46	グローブボックス排気系の風量かな、
0:16:48	それが多分、貯蔵側の国会熱除去の風量設定ともリンクしながらグループ 3 になっていると。
0:16:56	ということですがその中の一つのパーツの

0:16:59	負圧維持に関しては、グローブボックスの設計、
0:17:03	なんかすごい音がまじってるけど、誰かマイクつけたよね。
0:17:07	阿保。負圧維持の関係と、あとがあればいいということで、その設定をするときには関係するのはグローブボックスとあとはそのあと第3、説明グループさんで出てくるグローブボックスと同等の閉じ込め機能を有する設備、
0:17:24	これが関係するものになるんですが、この700687ページに書いてある通り説明時期は、なお書きのものがグループ1のグローブボックスで、
0:17:34	全体の設計方針はどう同じだと。
0:17:38	ということで、先立ってグループ1の中で整理をしていこうということで設定しました。はい。ということで説明タイミングとしてグループ1です。はい。はい、わかりましたじゃえと。
0:17:50	結局負圧維持とかその風量って全体的に415因子みたいな風量設定因子が出てきたと思うんですが、
0:17:58	それぞれ説明できる場所で説明しながら最後には20条でしっかり束ねて、全部網羅してるでしょうが、出てくるとそういう感じですか。はい、柳下でございますはい。おっしゃっていただけてる通りです。もう、
0:18:11	その関係で先ほどの仕様表との関係も、盤の容量みたいなのはグループさんに最終的にはなりますって話もあります。全体像もちょっとわかるように、
0:18:20	これは単独で何らかの整理ができればなと思ってます。はい。
0:18:23	はい、佐藤です。わかりました。
0:18:26	716ページ目。
0:18:29	て、
0:18:32	ミギタ2.1のところでは字数漏れ率等、開口部不足が事実に基づいて設定されてるんですが、
0:18:40	オノ実って、森津野、愛甲呉両方もう選択肢がある。
0:18:46	もの。
0:18:47	その中で、0.25ボリューム%とかを選んでも思うんです。そういう場合、
0:18:55	もう少し
0:18:56	根拠として具体的に、
0:18:58	明示すべきかなと思うんですが、そこら辺っていかがです。
0:19:09	はい。宮城ニシダでございますはい。字数の中に入っているものと今回設定したものの関係性を、示せるように、記載を拡充できればと思います。

0:19:22	実際は確かにおっしゃる通りグローボックスの欄空海いくつか分かれて いって一番厳しいやつを選んでると思いますけどそういった関係性も含 めて、整理ができればと思います。
0:19:31	はい、規制庁プラスどちらも厳しいものっていうのは確認しましたので、 そなぜこれを選んだかっていうところがちょっと選択肢がある場合は、根 拠になると思いますんでそこはよろしく願います。
0:19:43	あと 717 ページの 2.4。
0:19:47	今はちょっと難しいなと思ってるところでして、
0:19:51	この排風機の容量はこれは 2 分、
0:19:54	なんですがああ仕様なんです。
0:20:05	それ超過です。要は、これは何で許容限界としたかっていう部分も説明 が必要な部分なんです、それが結構説明しにくいのもかもしれないなと 思いつつ、ちょっとそこら辺の考えを教えてくださいませんか。
0:20:39	ちょっと待ってくださいすいません。
0:21:00	はい、二本木西尾でございますこれ多分仕様表の値自分で与えてるの それを許容限界とすることが、これこそですね。
0:21:11	さっきの(1)の(2)等って言って、ちょっともう訳わからないそうです けど、関係性の問題な気がしますので
0:21:18	教育委員会として設定したものがどんな出しなのかっていうのは少なく ともこうだからちゃんと説明をするということかと思えます。実際 5 万 4820 と書いてある数字は、
0:21:32	説明グループ 3 で出てくる他のインシを組み合わせ要素をさらに上回 る容量として与え、設定した排風機そのものの容量なので、
0:21:44	その関係をギブンとして与えてることなんでしようけどその全体像が まずわからないと、これが教育委員会として正しいかどうかはわからな いのでそういったところを整理をしていければと思います。
0:21:56	はい。セトオカです。そういう何か、
0:22:02	鶏卵みたいな話が結構いろんなところ出てくると思いつつ、説明がな いと説明を求めますのでしっかりそういうところを提案していくっていうの もこの
0:22:14	共通 12 でやってるような作業だと思いますんでそういうところをよろしく 願います。
0:22:22	719 ページ目。
0:22:27	開口部がない。
0:22:29	FOX、オープンポートボックス数、
0:22:34	の、
0:22:36	あって、供給部材供給装置のA-POSがあります。伴蘇武名和。

0:22:44	結局 0 になってんですがこう言って、
0:22:47	ここまでバイトされずに来るものが、
0:23:17	ユリ社でございます。今言ったような例えば 719 ページの、その他の開口部スッポン
0:23:26	開きとかですね、サポートの開口部寸法もその他の開口部寸法もなしに行って、0 になっている。その評価も風量なんかも、
0:23:35	全部ゼロになっているものがミキあって、
0:23:38	部材供給装置は部材搬送部。
0:23:41	オープンポートボックスの A と B、
0:23:44	何か。
0:23:45	あるんですが、でもそうです。
0:23:48	やっぱりこれ環境供給分で、もう決まってるってこと。
0:23:54	アノ留分呉is時間スベンです。日比と GB の間に、
0:24:02	だったらちゃんと長くそうだってちょっとアノ含めて、
0:24:10	入ってない。はい。お願いします。
0:24:14	入れていない。
0:24:16	このシャッターが開いたか、全体してその検出しているってうちアオキコマツと、
0:24:22	いつで、
0:24:23	いいですよ。
0:24:25	最もです。だって今日電力的に繋がってるやつのオープンポートボックスって江川のやつ。そうですね。そうするとき、
0:24:34	いや、ごめんね。東郷。
0:24:38	ポートアーケードが供給部材供給分だけ開けます。それぞれ供給します。発送分は、次の橋渡しのところの間に入ってるやつで、
0:24:49	ポートを開けることはありません。だとしても、どっかで開口があるのはその海溝以下空くんだよね。から開口部でどっかに書いておかないと、んな、繋がってることがわからない。
0:25:00	そうですね。
0:25:06	ちょっとリーダ。
0:25:08	言ってますね。そうそう断面断面だとなんかもうそうですね。全く開口がない人がいるっておかしな話で、やっぱり時ということです。
0:25:18	それを、
0:25:19	ハンソク側に書くと、話が繋がる。
0:25:23	ということ。
0:25:27	逆に多分言いたいのはでしょ供給部は海溝あるけど、買う側との間に、多分それがどういうことないしきつと応答サッカーが、

0:25:38	シャッターが同時に、
0:25:40	またこれ、まず全体の、
0:25:43	上にまず説明してくれ。はい。
0:25:47	上西ハラでございますちょっと多分、全体の整理がうまくいってない気もするので、おっしゃっていただいている部分、部材供給部で括弧書きで書いてあるところで部材搬送部、この組み合わせさらにその先に送る場所との関係が多分、
0:26:02	あると思うのでちょっと全体の構成見て、整理をして適切な記載にしたいと思いますはい。はい、わかりました。繋がっているからってというのが何となく想像できる。
0:26:14	他者のこのレベルでこう、
0:26:17	なしですが、
0:26:18	ヤマトと同じ考え方だと、いろんな設備が、
0:26:22	出てくるなと思って、上流の方でちゃんと整理していただいて、ここで書くかどうか、再検討いただいた方がいいかなと思った次第。
0:26:32	はい。与儀ニシダでございます。はい。全体としてのエントリーとおそらくこの場合だとですね今、具体を整理して書き方も整理しようと思っておりますが、
0:26:45	ダブルカウントしないように計上しようとしてると多分、話が面倒くさく記載が面倒くさくなるんじゃないかなと。
0:26:53	そういう意味で今、なしなしで開口部が面積 0 オンダっていうところは、
0:26:58	上の分布ボックスの隣のグッドボックス他のオープンポートボックスの関係での開口部の同時開口がない場合にどう整理するかってところも含めてかなと思いますはい。
0:27:11	はい。室長からその通りかと思えますよろしく申し上げます。後継ぎ搬送側 725 ページ。
0:27:20	うんですが、
0:27:24	この 725 ページからの搬送で、先ほどもちょっと議論があった劣化ウランは、核燃料S社に相当しないということで搬送条文でも、
0:27:35	この安全に著しい支障を及ぼす恐れがないっていう、そういうふうに、
0:27:40	になるかなと思うんですが、分析資料の中は、
0:27:46	これ量が少ないって以前説明されてたと思うんですが、一応プルトニウムを扱うんですよね。
0:27:54	はい。与儀ニシダでございますプルトニウムは使います。はい。はい、規制庁かですねその量が少ないというのは想像つくもん。そこがちゃんと説明してもらわないとタダコウ。
0:28:07	言い張ってるだけになってますので今はこの定量感とか、そういう

0:28:13	安全に著しい支障を及ぼさないっていうことをちゃんと説明していただかないといけない場所だと思いますので、
0:28:18	よろしくお願いします。
0:28:20	はい、日本イシダでございますはい。現状、入れてもないので、はい。その辺の整理はした上で、ご説明できるようにさせていただきます。はい。
0:28:31	はい。規制庁甲斐です。あとこの説明も結局、ここでやるのかっていう話もあるんですが、漏えい防止と臨界防止のみが示されていますので、
0:28:41	それだけじゃないと思いますんで、
0:28:45	ちゃんと例えば基本安全機能に基づくと冷却なんかもありますし、あとその搬送設備として何をエントリーして、何を除外、どういう観点から除外するのかっていうのをちゃんと、
0:28:56	説明いただく必要があると思いますのでよろしくお願いします。
0:29:06	考えてることが、遮へいと冷却です。
0:29:12	日本イシハラでございます今おっしゃってる趣旨は、搬送設備の
0:29:19	落下等の事象によって、機能を喪失しないように俺に行かなきゃいけない安全機能っていうのを、今核燃料物質の漏えい防止と臨界防止としているところが、
0:29:33	ほかにも安全機能があるのに、必要であれば全部上げなきゃいけないし、限定するんであればなぜここに限定できるとかの考え方がないと、ここにいきなり行かないよねっていうことで理解はいいですか。
0:29:44	はい、サイトウからその通りです。
0:29:55	はい。与儀西田でございます。まずおっしゃっているいただいていることは理解をしました。
0:30:02	そうですね。はい。全体整理をしたいと思います。そういう意味でここはあれですかね。
0:30:10	安全機能を有する代表水産物との関係も含めて、全体の整理かなと思いますはい。
0:30:19	はい。江藤オカです。搬送としての要求と、ダイバース端部としての要件目的は、一応違いますし、あと蓋が開くかどうかとか、ちょっと
0:30:31	搬送側で確認することっていうのも、いろいろ各種ありましてその辺は、あと、
0:30:37	整理いただいたものを添付していただいておりますが、それぞれに対して、安全機能として何を考えているかということをやちゃんと明確にさせていただく必要があると思っておりますので、
0:30:49	そこはどこかでよろしくお願いします。
0:30:51	はい。日本原燃石田でございます承知いたしました。

0:30:54	はい。で、規制庁からです後 726 ページ目からの利用料、定格荷重への設定根拠なんです、ここ、まず、ちょっと気になっていたのが、
0:31:07	受けた書類を、
0:31:09	それぞれやっていると思うんですが、
0:31:12	定格荷重に対して、+1 桁とか、あと仕様で決まってるものはそのまま書いているということ、
0:31:20	なんです、例えば 726 ページ目、もう米 1 とかですね。
0:31:27	集合体みたいに大きいものを取り扱うクレーンとか搬送せ、
0:31:32	輸送容器とかですね、そういうものも、
0:31:35	同じように受けた処理をしてるんです。
0:31:38	有効数値の観点から、遅くたい。
0:31:42	Cみたいなものは、大分次元が変わってきているフェーズでもうちょっと、ポリシーでやり続けるっていうのに違和感を感じていてですね。
0:31:51	そこら辺、
0:31:53	何かどういう考えとかありますでしょうか。
0:31:59	例えば 739 ページ目のあたりで、出荷設備とか、
0:32:03	料金を扱うんですが、そこまで同じポリシーで、こういった処理をして続けてるっていうところは、
0:32:11	違和感あるところなんです。
0:32:26	はい、乳井西田でございますはい。ちょっと有効数字の書き方ですね。はい。全体、おっしゃっていただいたように 1 桁のものから、5 桁ぐらいのものまで、
0:32:40	幅広くありますのでそういったものをどう扱っていくかということの整理は進めたりしていきたいと思っておりますはい。
0:32:47	はい、成長からです。搬送が、結構そういうところが多いかなと思うんですが他の方も、当然ながらそういうところありますので、本当に同じポリシーでやっていいのかっていうところで、お願いします。
0:33:00	あと 728 ページ目と 2。
0:33:04	これは
0:33:05	その元に言ったようなパワーポイントに焼き直した時の、何かあったのかもしれませんが、
0:33:11	トナミかトレイ取り出し装置の波田と 0。
0:33:16	んじゃないじゃん。
0:33:20	スタックトレイ取扱機能、乾燥ボードを、
0:33:28	ページ数社、
0:33:31	やってます。スタックトレイ取扱機、スタック就業装置のストレート平塚ウエキの岩相ボードがNGIになっていまして、

0:33:41	これは多分、
0:33:43	何か記載ミスか何かですよ。
0:34:11	え。
0:34:12	これは 46 と 6.3 二つ還元関係あるのが正解で、この定格荷重のところを本当は 46 億ある下で 60 みたいな数字を書かなきゃいけないところを間違えましたと。
0:34:26	はい。宮城インダでございます。事実関係は今申し上げた通りでございます。
0:34:30	はい、規制庁岡です。わかりました。じゃあ、NGということですか。
0:34:36	定格荷重が 60 もあるってことですか。はい。計画荷重がはっきりではなく 60 に書き換えないといけなかったということです。はい。すいません。わかりました。あと、
0:34:47	734 ページ目。
0:34:51	ここの
0:34:54	似たような話というか、燃料棒解体装置の浪板トレイ取扱機の浪板トレイが、
0:35:01	上側の枠に入っていて、
0:35:05	これは、
0:35:06	どういう整理なんですかっていうなミギタテラノ。
0:35:10	圧壊がどっちに会えるのか、ギフトに入るのか取り扱い機に入るのか、そういう取り扱いかと思うんですが、
0:35:17	どちらでしょうか。
0:35:34	はい、日本インダでございます計画か準野瀬の整理の書き方が間違っ てということですかねはい。
0:35:41	波田と令和なその通り浪江とトレー取り扱い機で取り扱う対象になります んで、
0:35:48	上から 2 段目の 35 と言っているラインが企画規格外ペレット保管容器 の下側の線がそのまま伸びてこないといけないと。
0:35:57	ということです。そういう意味ではニツタトレイ取扱機で扱うのは浪板トリベ ート保管容器企画課ペレット保管容器の三つで、その一番大きい 30.5035 が、
0:36:09	定格荷重ということになります。
0:36:12	はい、わかりました。もうするということで、ちょっとこういうところもう少し ちゃんと精査してから出していただきたいというのが、
0:36:23	サンプル的に伝えたところでした。
0:36:26	とりあえず私から資料 4 以上です。

0:36:30	はい、ありがとうございます。規制庁の荒井ですけど、少し重複するとうか、
0:36:36	NGだけで本当に大丈夫なのっていうところでした、
0:36:41	777 の、
0:36:46	耐震の、
0:36:48	機能維持か、機能確認済み加速度のところ、
0:36:53	評価用加速度の方は、
0:36:55	上回ってるんですけどこれ本当なんですけど水平方向、
0:37:07	イデ評価結果は昨日、
0:37:09	確認済み加速度が大きいので大丈夫ですっていうふうに書いてあるんですけど、
0:37:29	すいません人間ニシダでございます。これ、
0:37:33	1点でどうでしょう。いや、だから、多分関係は外食関係っていうのが許容限界との関係じゃなくて、1点ってところが床側の応答から出ていく。
0:37:45	話なんだよね。
0:37:46	戸谷さん内の、はい。はい。すけ田尾ミヤマ。
0:37:51	出ました。
0:37:52	はい。はい。以上です。
0:37:56	ちょっと中のくらいかと思ってます。
0:38:03	失礼しました。
0:38:05	あとは、大きい点で言うと、
0:38:10	先ほどの714ページ辺りですかね、16ページか。
0:38:16	JISの話があったと思うんですが、
0:38:23	これで結局JISに載っている、多量の、今調べたんですけど放射性物質が扱うもの、非密封で扱うものについては一番、
0:38:34	厳しい0.25。
0:38:37	もうボリューム%パワーを使いますって書いてあって、
0:38:41	結局
0:38:43	仕様を満たすための構造なり何なりっていうのは、どこでどう確認するものなんでしたっけ、0.25っていうのは、
0:39:00	耐震の方だと機能評価でやる単体の場合、
0:39:05	どうしてるんでしょう。
0:39:10	漏えい試験を団体でグローボックスはやって、この0.25ボリューム%パワーを満足してることを確認するということでこれ、実際のってなったんだよね。

0:39:22	試験の方法井清載ってんだよね。13に乗って漏えい率の確認の試験の仕方、試験、検査なりをして、値を満足してることを確認するという事です。
0:39:34	要するにこのJISってものがたい構造としてはこういうことだっというところまでは書いてないという理解でいいんですよねちょっと深くまで読めてないんですけど。
0:39:47	はい。日本原燃志田でございますそういう意味でいくと、今回特に資料1から特産ですね、のグローブボックスのところを説明するときに、多分関連性を持ってこの0.25ボリューム%パワーってのが、
0:40:04	最終的にグローブボックスなりが満足しないといけない、性能目標だと考えた上で、
0:40:11	構造設計側では当然実にはそんなアノコード世界でないので、
0:40:15	それを満足するためにどうしていけばいいのかっていうのを、構造設計で書いてますんでその中には当然、
0:40:21	先行施設とかでやってる、設計の実績というの踏まえた上で、こういう呉境界のところの設計をしておけば、最終的にこの0.25は満足するんだということで展開をしていっているという姿になります。
0:40:35	うん。わかりましたそういう意味だと、設工認上では、そこまであれなんですよね。結局、試験をやりまして、それで持ちますってところまでを、
0:40:45	は見れないってことなんですよね。
0:40:54	はい、日本イシダでございますはい。おっしゃっていただける通りかと思えます。そういうことをやって、0.25になるっていうことを、設計上の要件にはします。はい。はい、わかりました。
0:41:07	そういう意味だとこれはほぼ気分みたいな情報なのかもしれません。
0:41:12	けど、
0:41:13	あともう一つは
0:41:15	この負圧維持評価しますって書いてあるじゃないですか、2.2の評価条件で、
0:41:21	2.2. 1、この上の負圧維持に必要な換気風量というところで、
0:41:26	グローブボックスにおける負圧維持ってのはどういう状態のことかっていう説明とか、
0:41:32	あとグローブボックスに求められる負圧っていうのが、-400PASCALとかそれぐらいあったと思うんですけど、それとの関係とかがどこで説明される予定ですか。
0:41:49	それともここではなくて、他のところで説明しているの要素の中の一つとしてここは今、サンプル的に説明されてるってことなんですかね。

0:41:59	今荒井さんが言われてるのはどこでしょうかね。16 ですかね。
0:42:06	116 の、
0:42:08	もう見出んところですよ。
0:42:14	もうタイトルがそのままですけど、負圧維持等に必要な換気風量の評価 ってすると思うんですが、
0:42:22	はい。グローブボックスにおける負圧っていうのはどういう状態っていう 説明がない中で、これをやりますっていう説明なってるような気がするん ですけども。
0:42:36	そういう意味でいくと、
0:42:41	前のページ、
0:42:43	うん。
0:42:46	多分これだから、全体のシステム設計とカー等の認定事故後、
0:42:52	俺もいまいちイメージがつかんでないと思ひ何があれば足りるなんぼ抑 圧とか、金城さん。
0:43:03	弘中 1、6 月における、モリイ。
0:43:07	Dクロダ、
0:43:09	いや、単純に俺らが当たり前だと思って書いてないことが当たり前じゃ ないときは、文章が足りないってことになるから、いつものごとくで、
0:43:18	だからこの分を僕佐伯設備に負圧に維持してっていうこの負圧に維持す るっていう形態状態がどういう状態かっていうことを、
0:43:27	何も説明しないまま、いきなり排気風量をこう設定すれば、当たりの ように当然負圧になるでしょうかって言ってる。
0:43:35	モリだと、話が繋がってないってことね。
0:43:40	だからそこを、
0:43:44	どこかで説明しないとイケないな。
0:43:49	せっかく負圧の値があって、はい、フナツに必要なための封を出してる んですねニワ目標の負圧値があって、この体積のものをこんだけの負 圧の値にするためには、
0:43:59	こんだけの不良が言いますよって出してるよね。それに漏れ率考えて、 全体のパートを組み合わせて最後、
0:44:05	換気風量するでしょ。
0:44:07	その流れがどっかに書いてないと。
0:44:11	わからんよね。
0:44:13	大津大夢。
0:44:15	来終わって評価方法、
0:44:17	何で、どういう目的自分達で、うん、どういう評価をするのかって説明す るなんて僕は一番使わないんです。

0:44:26	知らない人が見たら負圧とインリーク量は、
0:44:30	同容量の関係がわからないと言われてるような気がするんでそこを書き足しますかもうちょっと、はい、二本木西原でございますちょっと概要のところも含めて全体の負圧維持と、
0:44:40	ここでやっている、漏れ率との関係も含めたふうそう風速の風量の設定ですね、この関係を整理できるような、文章なりを拡充できればと思いますはい。
0:44:54	はい。規制庁新居です。お願いします。
0:44:56	ただ負圧っていうのはインディクがあれば負圧だよねっていうことを言いたいんじゃないのかなとは思ったんですけども。
0:45:03	多分目標とする負圧の数字がある中でそれだけじゃ多分説明が足りないと思っているのと、あとは段階的負圧っていうところで、工程室との差圧もどれぐらい立てる、立てないといけないのかっていうところも、
0:45:18	含めてだと思しますので、そこら辺の考え方を一度整理してから負圧維持に必要な換気風量の評価はできるのかなと思っています。
0:45:28	はい、人間者でございますが、今日のその関係はちょっとシステム設計も含めた全体の中で説明したつもりではいたんですけど、そこを呼び込むなり、あと全体の流れを書くなり、もうちょっとケアをしていければと思います。
0:45:43	イメージは、
0:45:46	何て2章、部屋を負圧にする時も当然部屋の体積に対してどのぐらいの風で引っ張れば、どういった
0:45:58	差圧なりが生まれて負圧になるかと、深くなるかと、それに対して当然入ってくる空気との関係があるのでそれを因子に入れて整理をするということです。
0:46:10	これについては、
0:46:14	529 ページ。
0:46:17	529 ページ、520 ページ。
0:46:27	せっかく作ってもらった方がウエダセキしないと。
0:46:31	29 オカ
0:46:39	529 ページが全体の負圧に対する換気風量の設定の考え方とか全体像を示しています。
0:46:51	グローブボックスの音あと工程室建屋っていう管理区域ですね、との関係の負圧の目標値の関係性、
0:47:00	等、

0:47:02	インターの関係ですね、をどう整理していくかということかと思いたすのではい。その辺の考え方を、このシステム設計なりとリンクをとりながら、
0:47:12	評価側で整理をしていくということも考えて全体像を示していければと思いますはい。
0:47:20	コサクです。ちょっと話脱線しちゃいますけどこの図間違ってますよね。
0:47:27	9293 とかっていうのが内数になっているところが、
0:47:32	あるはずなんですけど。
0:47:35	そう。はい。そうですねこれ一対一にならないんだな。
0:47:40	同じ記号使っちゃ駄目なの。
0:47:42	定義によりますけどどちらかを多数にするのか低いするのか。いえ。
0:47:47	うん嫌がって、同じ器具を使ったら 1 個でないけど 1 個じゃないね。
0:47:54	いや、
0:47:56	そう。
0:47:58	うん。でもここからの、
0:48:02	これ多分全体見てんだよね多分もう全般を見て、
0:48:06	タダノモリ率はこのやつで、わかっておられるようで五つ一応言っときますけど、今漏れ量という形で入口側の話で定義してるんだったら、
0:48:19	排気設備の縮量は、
0:48:23	旧さんはいいですけど、Q2 の方は -9 さんじゃないといけないし、はい、はい。
0:48:29	ていうことで、
0:48:31	はい。はい。そう。多分全体考慮しないと、いるから、
0:48:36	そう。はい、ありがとうございますすいませんはい。
0:48:44	古作です。そういうミスをしてるっていうことからすると設定根拠説明書をちゃんと書いてるのかなと。
0:48:54	はい、日本原燃石田でございます。出しておきながら私も不安になるのでちょっともう 1 回言いますはい。
0:49:01	ちょっと私もあれですけどちょっと脱線して申し訳ないですけどこの 529 ページの、
0:49:07	負圧のパスカルの書き方って、小さいほう左にして、大きいほう右にするっていう書き方ではないんですかね。
0:49:24	日本原燃者でございます。はい。ちょっと私も、
0:49:29	普段、再処理でも書いていた気が、普通通じて左がちっちゃいを書くじゃないかーデーター 400 からー 200 って書くのが普通じゃないかと言ってんだけど、

0:49:42	負担ってマイナスなのが前提なのでご普段最初でも公開できやすいけど、どう角度が正しいかちょっと調べてみて、はい。ちょっと全体見て調べなさい。
0:49:53	はい。
0:49:56	風量のところは私は以上で、全体もほぼ
0:50:01	言いたかったところは言いたんで、
0:50:07	カー
0:50:09	770 何ページ目まで行きましたけど、あと最後、参考資料、
0:50:18	つけて、
0:50:20	資料 4 を追加するにあたって、また修正したと思いますので、
0:50:27	803 ページ目からで、何かございましたらよろしく願いいたします。こちらから確認をお願いします。
0:50:54	規制庁から、先ほど資料 4 の中で議論
0:50:57	するっていう整理になったので、資料 4 で、二つ下、
0:51:02	改めて、
0:51:04	そうですね。
0:51:05	お願いいたします。
0:51:07	もういいんでないんじゃないかなと思うんですけど。了解です。
0:51:18	はい。
0:51:19	そしたら、
0:51:20	資料 4 まで全体通じて何か、
0:51:31	乙規制庁からして、ちょっと途中で止まってしまった資料 3 の確認なんかは、あと補足なんかは、また戻られるってことですか。そうですね。これからやろうと思ってます。
0:51:44	はい。
0:51:49	規制庁ハバサキですが
0:51:52	耐震はこの次でということでもいいですか。
0:51:59	耐震も含めて大丈夫資料 4 関係は。はい。
0:52:04	今の段階大丈夫です。
0:52:06	はい。規制庁浜崎です。
0:52:09	ちょっと耐震関係で幾つかあってですね
0:52:13	フェイス幾つか、
0:52:15	ですね、まず誤記関係なんですけれども、これまた、
0:52:19	小さい話なんですか。774 ページ。
0:52:24	下の式が違ってますね引っ張り。
0:52:28	無線LANの式が違ってます。それから、規制庁山崎です。理解していただきましたか。

0:52:38	はい。日本イシダでございます失礼しましたはい、理解しました。
0:52:44	はい。ツジヤマザキです。あとですね、これも全く小さい話ですけども、775 ページ下から 3 行目ですか。
0:52:54	160PASCALMPaですね。
0:53:01	はい。宮城ニシダでございます大変失礼いたしました。はい。
0:53:05	はい。規制庁浜崎です。
0:53:07	あとですねFEM系で幾つかあります。
0:53:10	778 ページこれも議論で確認ですけど、
0:53:15	これ数値は大丈夫ですよ 3 号。
0:53:20	64 って書いてあるんですがこれ 3 号炉、3664 の間違いですよ。
0:53:27	2ヶ所ありますが、
0:53:32	はい、日本イシダでございます。そうですねその上の吹き出しでさ、3664 って書いているのにこの下のボックスにすると 3583564 って書いてあるんですよ。
0:53:44	はい。ちょっと、
0:53:47	これどっちが正しいん。
0:53:51	吹き出し等、その資格があってないけど、
0:53:56	水、
0:53:57	コウ、
0:54:01	3 号炉オク 4 が正しい。
0:54:05	やっぱ 778 ページの図について左の図について 3564 と。
0:54:12	真ん中のボックスサンゴオクが正しくて、その運営について吹き出しの 3664 が間違い。
0:54:19	日本イシハラでございます事実関係は、サンゴ 64 が正解のようですので全体見て正しい値になるように整理しますはい。きちやうわけです。そうすると、サンゴ 58 ってその真ん中の四角の中にある数値が、
0:54:34	あれですかね、63 号は、そうならないとおかしいですね、ちょっと確認して、しっかり確認してください。はい、わかりました。はい。確か、規制庁和崎です。
0:54:44	782 ページ、これはちょっと確認なんですけれども
0:54:51	付加質量の図が発注。
0:54:56	ありましてですね、
0:54:59	青の部分、青のを図示されているものが付加質量の対象だと思うんですけどもちょっと文章に出て意味がわかんないんですけども、
0:55:07	ちょっとせず、
0:55:08	不明いただけますか。はい。
0:55:29	いや、言いたいのは、

0:55:32	上の文章で、こじつけ箇所が特定継続だその近傍に負荷荷重として設定するってことは、この後それぞれの場所に負荷を設定するんだよね。
0:55:43	モデルの不自然にせよ深津とかいろいろ書いたよね。それとこの青い枠で、色で塗ってるところの関係は、
0:55:57	ていうか、耐震チーム説明しろよ。
0:56:02	コネクタ部。
0:56:03	規制庁の古作ですけど、今石原さんの心の悲鳴が聞こえてきたんですけど、
0:56:10	前も言いましたけどヒアリングdays、Steeringチームだけがしゃべるっていうルールにはしてないので、
0:56:18	作業してる人も責任持って発言していただいて構いませんよ。
0:56:29	日本原燃の意向です。
0:56:31	この
0:56:34	管台とかコネクタウツミコウとフラッシュ箇所て、
0:56:39	特定できるものはその場所につけてるということで、
0:56:43	この近くのあっちングで囲んでるようなところなんですけども、そういったところはコネクタ部に当たるところで、
0:56:52	あそこに付加白はしてますと、ここシェルの様子のところで、
0:56:58	シェルの形で出してるといったことになります。あと、とりあえず阪神港の後は、この
0:57:07	なんか空いてる状態になりますので、
0:57:11	周りにですね、それに従量分割して、出力化してる、そういったことを今ここで説明しております。
0:57:22	はい、井関山崎です。
0:57:24	シェルあって、光岡、設けてるだとかあと付加質量集中質量にして、4点で代表させているというふうに見えますけれども、
0:57:37	ちょっと、
0:57:38	説明を聞かないと本当にそうかなというのがわからないんで、ここは丁寧な説明をしてもらいたいと思います。よろしいですか。
0:57:46	はい。日本原電の伊東です。はい。矢作先生お願いいたします。小阪です。ごめんなさい。山崎です。小崎です。ごめんなさい。浜崎さんやさしいので丁寧なっていう表現で丸めてますけど。
0:58:01	概要説明書じゃなくて、
0:58:04	具体の説明書なので、
0:58:06	今言われたところが、
0:58:10	荷重がどういうふうにかかるものがついているのかそれをどう算出したらここに入力できるのかと。

0:58:17	ということまでちゃんと説明いただかないと、説明として漏れがありすぎですよこれ。
0:58:23	はい。
0:58:24	どんなレベルの書類をつくらうとしてるんですか。
0:58:29	添付書類よりも詳しい補足説明資料一式のつもりでいて、
0:58:34	だけど、%で示すにはちょっと厳しいからというので、概略にさせてくれるという場合には補足説明資料に落とすのはいいけど、
0:58:44	落とすところはちゃんと明確にするようにって前回言ったはずですけどどうなってんですか。
0:58:57	同様、
0:58:59	はい、乳井西田でございますが、ちょっとそもそも何説明したいかもようわからんですね。はい。
0:59:06	ちょっと耐震は特に、すいませんケアがうまくいってなくて、説明自分で説明すべきでまず資料作ってみようって言いたいところなんつあるので、
0:59:17	かつこの資料でちゃんと全体説明してる気にならない等、説明があったんですけど、別に大した話じゃなくて、モデル化にそのもの入ってる場合はそれに、質量なり、密度なり、平米、
0:59:34	手段と平米当たりの重要を入れてやっています管台みたいなものは、
0:59:40	モデルに組み込んでないから、そのままの形がないから、アノ期とりあえず均等になるように設定してますというそれだけだと思うんですよ。だから、
0:59:50	パネルも、サポート部材も全部、おんなじ話で付加重量だからとか、何だからっていう差じゃなくて単純に、モデルをどう作るか。
1:00:03	どういう要素で作っていくかだけの説明で終わるんじゃないかなっていう気はしますよ。
1:00:10	そこの説明がちゃんとしそ説明できないからどんどん深みにはまっちゃう。
1:00:22	はい。日本原燃でどうです。はい。はい、わかりました。ちょっとどういった考えで、
1:00:28	付加質量を付加しても%テラノしっかりわかるように、ちょっとして見直したいと思います。はい、規制庁、簡単な話でモデル化してるんだったらそこにスペックいるでしょ。
1:00:39	でモデル化してないんだけどくっついてるものがあるんだったら、プラスでつけますとかそういうだけの話じゃない。
1:00:47	木戸佐々ですけどごめんなさい。考え
1:00:50	なくて、

1:00:51	データもちゃんと示してくれていうことであって、こういう入れ方をしていますっていう分類があったらその入れ方としてどう入れたのかっていう数字も本来この次に表で、ここはこういう荷重が入ってますとか、
1:01:05	いうことがあり、その荷重はどうやって算出したんですかっていうのが、ここで作るのか、補足で作るのかということです。
1:01:15	これ日本語で説明資料作ってないんですか。
1:01:30	日本原燃の伊藤です。
1:01:32	はい。事業の考え方については、
1:01:37	エビデンスのチェック等でやっておりまして、ちょっとそういった考え方をきっちりと、こちらの方に記載するいたします。
1:01:46	コサクですけど、考え方じゃなくて入力値を全部書けって言ってるんですけどわかっています。
1:01:51	日本原燃伊藤です。はい。入力値もちゃんと記載する
1:01:57	資料がありますので、そちらの方を記載する、いたします。
1:02:01	お酒ですけど資料あるに決まってるですよメーカーそんなの作らなきゃ、解析結果示したことなんないんだから。
1:02:08	それをちゃんと原燃が理解をし、検証した上で、我々に説明することっていうことじゃないと、申請レベルに達してないんですよ。
1:02:20	なのでしっかりと資料作って対応してください。これは申請前にやることであり、申請時に提出することと前から言っていたことなのでよろしくお願ひします。
1:02:34	はい。日本原燃藤です。はい、了解いたしました。
1:02:38	はい。規制庁浜崎です。そしたら続けてたんですけれども、788 ページ。
1:02:46	5 うちのの結果が出てますけれども、1 時から 8 時それから 15、1516 時ですか。これはどう、どういう状態の固有値なんですか。
1:02:58	どういう状態っていうのはNSEW或いはさ、3 方向同時の状態の解析ができる状態なのか。
1:03:12	はい。日本原燃の伊藤です。
1:03:14	こちらは 3 方向、同時に固有値解析した時に出ているグループ集計、そちらの方を記載してございます。
1:03:23	はい規制庁ハバサキそしたらですね、多分、例えばタテ方向じゃないごめんなさい。潮流方向が一次で、二次が短辺方向だとかですね、いや却下
1:03:35	えとモードに応じたですね、
1:03:40	こういう地域になるわけなんで、その説明がないと、この数字だけだとわからないで、いきなり 1516 時が出てくるんですけどこの 1516 時って何ですかとかですね、そういう話になっちゃうんで、

1:03:54	妥当な建物でも書いてますけども、一次はこういうものですか二次はこういうものですかという説明が欲しいっていうのと、これ、モード図は出せないんですか。
1:04:12	はい。日本原燃の伊藤です。そうですね。こういう周期が、どちらの方向がシライというか、
1:04:22	こちらの方は刺激係数とか、数字ありますので、そちらの方でご説明する、いたします。あとモード図についても、
1:04:30	とありますので、ちょっとそちらの方をお諮りしたいと思います。すみませんコサクです。
1:04:37	基づくって、添付書類についてないんですか。ついてる。
1:04:43	日本原燃の伊藤です。はい。今、エントリーの中にはついてございません。
1:04:52	メイキョク等つけませんでしたっけ、規制庁カミヤイシコ
1:04:55	ツカベ。
1:05:00	最初に本件イトウですけども今今の申請書の中にはつけておりません。
1:05:07	古作です。通常つけるもんだらうなと思っていたので、
1:05:14	その点も確認していただきたいんですけど。
1:05:17	その上でですね先ほど能のこともそうですけど、この書類としてどこまでつけるのか、そういった情報をどこにつけるのかっていうところの考えをまず整理してもらえませんか。
1:05:29	ここで添付書類に書いてますって書いてもらえば添付書類、具体を見に行くけどとかっていうことも、
1:05:35	やってたと思うんですよ或いは資料3の方のあの資料見てくださってのも、
1:05:40	いやいいですよっていう書いてくれればっていうふうに話をしたはずで、
1:05:44	その機械方針がわからないと。
1:05:48	記載を求めた方がいいのか何なのかがわかんないんですけど、そのあたりの進め方ってどうしますか。
1:05:55	日本イシダでございますそもそもの方がすみませんこちらもおきながらですけど、この前にできた評価パターン(1)(2)と比べるとこれだけ、まだ、そういった記載の仕方が十分整理できてないと思ってます。
1:06:11	数字を書いてあるその数字ってのはどういう数字なのか、どういう関係性にあるのかだったり、資料3との関係であったりということも含めて、あと個別補足で示すのであれば今書いてある数字と個別補足でマツノの関係性だったり、

1:06:28	そういったものを、この中でちゃんと整理をしていくというのが前提だと思っておりますので、同じような整理をしていくためにまず足りないところをピックアップして全体整理をしていきます。
1:06:42	はい。補足です。
1:06:44	次回提出までには、耐震ってそんなに、
1:06:49	パターン多くないし、整理もそもそもできているはずのものなので、ちょっと従来の申請書とできが違うみたいなので、
1:07:00	現状の申請書でってなっちゃうとウタないところが多いとは思いますが、
1:07:04	そういった場合には、
1:07:06	ここでとりあえずこう入れといて後でこう直しますとかっていうところの方針とかも、
1:07:11	整理をしてもらえばざっと話ができると思うんです。よろしくお願ひします。
1:07:17	耐震以外のところも含めて、
1:07:21	ちょっと考え方っていうのを明確にしてもらって、具体こういうふうに書いてますっていうのをまた説明いただければと思うんですけど。
1:07:31	現状、他のパターン、ある程度できてるところなのかここまで含めてコウコガ足りないので交流しますっていうことなのかっていうのは、
1:07:40	状況認識をそろえた方がいいかなと思うんですけど、どう思われてます。
1:07:45	はい、日本イシダでございますまずう、
1:07:52	流れとして見れば、先ほどから幾つか他のパーツもご指摘をいただいているので、整理が必要ではあります、
1:08:03	要はイイダ、
1:08:05	起こって、資料3との関係会議、
1:08:12	だから、こういうことなんだろうなんて話やな、一番利益がいいというか、少なくとも、
1:08:25	形を考えながら整理するベースになりそうなのが、一番最初についてる利益受け皿かなと思います。それぞれ出すべきパーツの考え方だったりその数字の意味だったり、
1:08:38	出し方だったりも含めたものを書いてありつつ、ある部分については個別補足意見会をしますよと、いうこと。あとは図面類から持ってくるものはこういう図面からこのパーツを持っていきますというリンケージを含めて、
1:08:55	展開をしていると、いうことだと思っております他も含めて全体の、この中で整理の仕方というのをちゃんと整理をしていければと思いますまだ、

	これでもか、一番最初の領域ウエダでも足りないところあるかもしれないのでそこも含めて、
1:09:10	まずはベースの形をちゃんと決めていければと思いますはい。
1:09:15	古作です。漏えい休憩ざらでいうと、米英等、
1:09:21	個別補足に飛ばしてるっていうのは、711 ページの表の中で、* の一番 2 番っていうのが、
1:09:30	あって、* 2 番で補足が書いてあり、* 1 の方は、公称値ということは、
1:09:39	これは仕様表との関係でっていうので対比がつけてあってということで、エビデンス
1:09:46	的な扱いをしていると。
1:09:49	いうことだと思うんですけど、これ、公称値っていうので、
1:09:54	何がいいんですけど。
1:10:02	はい。それが、あれ、これ、容量はどういうとこだっけ。
1:10:20	今ここで言ってる 711 ページの公称値によるって書いてあるけど、
1:10:25	これって前って言ってる漏洩量の設定んところの、
1:10:30	707 ページに書いてある説明なんだよね。
1:10:34	多分これもう、なぜこの量でいいのかの考え方がないんだよ。それはここに前に書いたつもりなんだよね。病院の設定で、頭の文章に、
1:10:44	うん。
1:10:45	いやそれが多分、頭の容量の設定ってそもそもどういことをやる必要があって、っていうのとその漏液受け皿とかの高さを設定するために設定する数字はね。
1:10:58	だからその担保しなきゃいけない要件との関係でこういう設定の仕方をしとけばいいんだっていう、多分流れがあってだから交渉中でいいんだっていう流れになってると。
1:11:07	その流れがつかれないと、多分説明したことにならない。
1:11:13	どういうことも含めて全体見ないと駄目だ。
1:11:17	阿部です。今言っていたいた通りなんですけど、
1:11:23	707 ページ、(1)で容器衣類の話があり一つのポツで公称値を用いるっていうふうに書いてあるんですけど、
1:11:32	何で公称値でイイダは書いていないと、ということなので、
1:11:36	そのあたりはもうちょっと書き加えてくださいということなのと、これと対応づくんであれば、この考え方っていうのを設定ですよっていうので、先ほどの、
1:11:48	表の中の今の文章とひもづくような形で書いてもらわないと。
1:11:52	何でこれでいいんだっていうところがそのポイントとして繋がっていかないかなと思うんで、

1:11:59	すけど、
1:12:04	今は弓削肥後とは繋がってはいるからそれでもう、そうですね、この本と見三つがどういう関係にあるのかっていうことの関係がよくわかんないんですけど。
1:12:29	古作です。はい。
1:12:32	707 ページの下、ものを見ると、主経路上にあるものかそうでないものか。
1:12:39	或いは分析設備の何云々かという仕分けはわからないと設定根拠として、繋がりが持てないってことですかね。はい。
1:12:48	それが、どういうリンケージかがこのパターンに分けたものってこのパターンであるものが、
1:12:59	そこに該当することを、
1:13:01	説明が今の状態で 707、711 ページでできてますかって。
1:13:08	て言う、皆さん多分この衛星イケダの名前と設置機器の設置って何だポリビンっていうのもあれだけど、
1:13:18	やっぱり、
1:13:20	うん、だからそれでわかるでしょって思ってたよね。
1:13:23	うん。でもわからないから。
1:13:25	わからん。
1:13:27	いや、それが正しく系統設計とシステム設計側に受け皿の関係する、上についでる機器の系統設計があって、
1:13:36	その中で終了するようじゃないものも含めて全体に流れてくれば、ここに来たときに、資料 3 との関係でそういう分類なのでってのはわかるかもしれん。
1:13:47	古作です。うん。
1:13:50	なんで、まずはこの設定方針っていうところの枝葉があるならちゃんとどの枝葉使ったのかを説明が、
1:13:58	明確にすることと、ということと、
1:14:01	経路上にあるっていうことであれば経路上にあるという系統図での説明が、
1:14:09	補足ではあるんですよと。
1:14:12	いうことだったりっていうことなので、補足に飛ばすのはいいですけど、補足もあわせて示していただいて、その確認まで意識するってやらないと、一連の
1:14:23	説明方針が合意できたっていう形にはならないかなと思います。

1:14:35	はい、新居上西様でございますはい。ちょっとそういう意味で全体それぞれ書いてることの数字を出すのであればその数字のバックにある系統設計なりの考え方を、
1:14:47	まずどういう形で示すのか、その数字を使っていい考え方は何なのか。
1:14:53	ということというのも含めて全体の資料として、この中で示すものを遅くに飛ばすもので、
1:15:03	なぜちょっと何かで題材にして全体の考え方を整理をして、全体に展開するという流れでやっていければと思いますはい。ちょっと仕組みも含めて考えます。
1:15:14	はい。です。岡です。よろしいですか。はい。どうぞ。
1:15:18	今のところは初めに議論したんですが今回の資料の位置付けとしてサンプル的に扱われてここグループさんで説明されるところで、
1:15:28	グループさんの資料3の中で、こういうところが示されて、仕様表のコアの根拠になってるようなものが、一律こう示された上でここに繋がってくるっていうような、
1:15:41	そういう流れを想定していたんですが、
1:15:45	はい。そこの扱いというのはどうなりますか。入院の収入でございます。少なくともですね、補足はおっしゃっていただいたグループさんとはいえどう、ここで言うここに書くことと、個別補足の関係の整理とかですね、いうのも含めて、
1:16:01	形を作る分には、今の段階でも十分正しく領域イケダの設計は、資料3の中で出ているわけですし、どこも含めて整理できるかなと思ってます。
1:16:12	まずはこの資料4の(イ)にと言っている資料の位置付けあと個別補足、設工認の図面とかの、あと仕様表ですね。
1:16:22	という申請書そのものバズとの関係、という
1:16:28	Catalogの整理っていう意味ですかね。のすんまずやらないといけないかなと思ってましたんでこれを題材にできればなという話をしました。
1:16:36	はい、規制庁からわかりました。じゃあ、サンプルとしてつけて今後説明される予定ではあるものの、今回サンプル一でつけてる分には、関してはもう先行してこう、
1:16:47	いろいろこういうことを説明していくのでこれが使えますみたいな、そういう紐付けがちゃんと整理されるということで理解しました。以上です。
1:16:58	古作です。
1:17:01	ここの部分の肝は欠損部だと思ってるんですけど、708ページの※2D、
1:17:09	閉じ込め03に示しますということになって、
1:17:13	いるので、それを見ればということなんですけど。
1:17:20	どこ明確に示したらいいかなあっていうゴトウ。

1:17:26	なんですけど、
1:17:29	はい、乳井西浦でございます。ここは前から議論になっていながらも全然ちょっと私も追加情報追加できてないので、少なくとも閉じ込め 03 で どういことを語るつもりかと。
1:17:42	いことをオノ示さないといけないと思ってますんで示せと思ってる根拠は、ここで言ってること大したことなくて、面積いうときに、
1:17:54	外す場所ってどういうことですか。DC、床面においても大体、
1:17:59	図面も見てれば想像もできますし、そういったものをどう取り扱いますか、なるべく保守的に見ますよねも含めて、その考え方が整理できればいいとすると、この紙、個別補足でやろうとしてることの概略ない辺りを、
1:18:13	変えていくということで、資料との住み分けができればと思ってました。
1:18:20	はい。コサクです。そうですね。具体が出されればそれで未定なんですけど、今このタイミングで出ないのであれば、そういったところで、
1:18:31	この補足の中にですね、図面、すいません、文章上は、設計図書の内装架台等の寸法よりって書かれてますけど実際どういうふうにするのかっていうサンプル
1:18:44	を見せといてもらうとかですね。
1:18:47	或いはそういうことをやるよっていうのを文書で、この※書きの中でわかるようにしておくとか、少し工夫をしていただければと思います。
1:18:56	はい。乳井ニシダでございます承知いたしました。
1:19:06	あ、規制庁ナカザキですちょっとじゃ耐震に戻りますけれども、よろしいですか。1 個文字。
1:19:12	788 ページなんですけれども、下の方に地震力の話を書いてあるんですけどこれ、前、ずっと前なんですけどお話したかと思うんですけども、荷重条件を、
1:19:25	の説明ですね、モデル図に、どういった種類の荷重を、例えばどういう方向に、本当はもう、荷重の大きさもベクトルであらわせばいいんですけども、
1:19:36	そういった形の下、最下条件の説明っていうものを、
1:19:41	説明してくださいねって話をしたかと思うんですけども、その準備っていうのは、
1:19:46	やっぱりできないんでしょうか。
1:19:52	はい。日本原燃の伊藤です。
1:19:54	ちょっと今河崎さんのおっしゃられたことの確認を一度したいんですけども、地震荷重以外の、

1:20:02	何ですかね、他の荷重について、どういった向きにかけてるかとかそういったことでしょうか。
1:20:10	吉ヤマザキです。
1:20:13	第1回の時もですね期限というよりも、FBのネットのところにFMで解析したところを書いてもらってるんですけど、
1:20:23	もう、基本的には前回ですね男女組み合わせに対処する荷重、ただ、課長によってはもう文書一行で済むものもありますし、地震力できたら、各設定、
1:20:33	にどういう方向にどういう風荷重をかけますっていうので、ベクトルで図示してもらってますし、
1:20:40	そういった形の再開条件の説明の図なんですけれども、
1:20:46	日本原燃伊田ですはい。わかります。理解しました。そちらの方をちょっと確認してみたいと思います。
1:20:55	はい。規制庁浜崎です。お願いします。
1:20:59	私から最後になりますけれども、これは確認なんですけど、799ページの、
1:21:06	と、
1:21:07	少々お待ちください。
1:21:16	上の表なる。
1:21:18	199ページですね、上にあります表の中で
1:21:26	ちょっと
1:21:28	一番右の列の選定位置って書いてある。
1:21:31	あるんですけども、この選定位置っていうのは、ドーズっていうかどこを見ればわかるんでしょうか。
1:21:37	全然。
1:21:41	すいません。日本原燃の井藤です。ちょっと説明不足なところあって申し訳ございません。こちら、設工認の添付書類の方に、
1:21:51	機能確認済み加速度の表が記載されておりまして、その中にグローボックスのポンチ絵みたいな載っております。その中で、この表Aとか6Aとか、どの位置かってのがわかるようになっておりまして、ちょっとそちら等リンクしないと、ちょっと説明できなかった。
1:22:11	なので、それもちょっとわかるようにいたします。
1:22:14	はい。規制庁山崎です。ちょっとこの表、この資料の中身見たんですけどもないようなんで、この資料の中で完結して説明してもらいたいと思います。
1:22:25	それってあとですね総じてなんですけども、資料4、最新の資料ごめんなさい、今のちょっと具体的に確認させてもらおうと。

1:22:33	グローブボックス数を、
1:22:37	サンプルの代表として床グローボックスを加振試験をしていて、
1:22:42	その加振試験の中で、グローボックス全体というよりは信Vそれぞれごとに、加速器を作った。
1:22:54	加速度をはかるセンサーをつけていて、
1:22:58	それで、その部位について、機能確認済み加速度っていうのを設けているっていうことなんで、
1:23:07	日本原燃、衛藤です。その通りです。
1:23:10	コサクですわかりましたそうすると試験体の構造と、その設置位置っていうのが示されてる図があってその図で示している番号ってことですね。
1:23:20	日本メリットですとなります。
1:23:23	細田ですわかりました。
1:23:25	ハバサキさんどうぞ。
1:23:26	はい。規制庁浜崎です。
1:23:29	ちょっとはいわかりました総じてなんですけども資料4耐震の部分、行間が非常に狭くて読みにくいんで、もう少し見やすいように、修正の方お願いします。
1:23:42	以上です。
1:23:44	はい。日本原燃城です。すいません申し訳ございません。読みやすくなるようにちょっと修正いたします。
1:23:52	規制庁コサクです。私も総じてというところと言うと、
1:23:56	イトウさんは、
1:23:58	誰にSteeringチームなり誰にデビューしてもらってるんですか。
1:24:11	あれ。
1:24:12	アノコサクですけど。
1:24:14	されてないってことですか。
1:24:17	先ほどから過去、第1回だったり、指摘をされて対応されてることっていうのを知らなかったりと、
1:24:26	いうことで、
1:24:28	ちょっと対応として、おかしいなと思うことが多くてですね、そのレビュワーだったり、そもそも整備する前の作業方針を立てるところだったりっていうのを、
1:24:40	前もそう、ちょっと野本さんの関与じゃないのっていうのが違ったりもしたんで、改めて整理をして、対応していただきたいと思うん
1:24:50	ですね。伊東さんが答えられないようなので、
1:24:54	ですけど、医者さんどんな状況ですか。

1:24:59	はい、日本イシダでございますSteeringチームのキャッチボールがうまくいってないというのが現状でございます。原料は、MOXのパートは全部私1人義務として私になっているので、
1:25:12	私が見なきゃいけないということだと思うんですけど、そこも含めて整理をしていかないといけないと思ってます。第1回のお話を理解できなかったのはイトウのとかですかね、第1回の際に最初やってる時も隣にいて、
1:25:26	状況把握しようと言っていたので、そこもできてないのはもう論外前提の前の条件なので、そこはさっき大きい、資料を見るときに私も見れる範囲と
1:25:39	何でしょう、耐震特有の部分ってのがミキれるかっていうところは野本さんとも多分組まないといけないところもありますんで、その整理をしていければと思いますはい。
1:25:50	はい。補足です。伊藤さんをお願いなのは、全体の先ほどの補足なのか何なのかっていう作業方針は全体として、イシハラさんがやっているののでイシハラさんのチェックを受けてください。
1:26:02	一方耐震計算書だったりを全体構成を整理をし、まとめていくのは最初にこそ、平仄合わせも必要だと思うので、
1:26:14	野本さんに見てもらってください。
1:26:17	それを確実にやってくださいよろしくお願いします。
1:26:20	はい。日本原燃の伊藤です。はい。申し訳ございませんでした。澤さんの今の、
1:26:25	先送りしました。
1:26:33	はい、規制庁です。
1:26:35	オカアノ資料4関係について、
1:26:39	ありますか。
1:26:45	そしたら、実は資料4入る前に、資料1から3の途中と補足が少し残ってますので、
1:26:56	ちゃんと終わらして振り返りをしたいなと思っていて、18時ぐらいまでちょっと、一通りお話しして
1:27:05	18時過ぎぐらいに振り替えできればいいかなと思ってます。
1:27:10	そしたら資料3関係で、少し途中で図の拡充等を求めるっていうのはあったと思うんですけども、他、
1:27:20	よろしいでしょうか。
1:27:25	うん。じゃあ規制庁かでちょっと言おうと思っていたところを幾つか、簡単に事実確認させていただきます。まず606ページ目。
1:27:35	ここ、冷媒の循環窒素の冷却の話をお話してきていただいて、
1:27:42	ここのF断面のコイルのコイルとその入口出口の

1:27:51	開口部との関係がちょっとわかんなくてですね、ここはどうなってますでしょうか。
1:28:08	途中です。日本インダでございます。今言われているのは、断面で言ってこれと、上側の冷媒出口令和入口と、この真ん中のボックスの関係っていうんですかね。
1:28:21	増加です。断面で冷却、或いは入口出口とコイルの太さを配管の太さがちょっと違うっていうこともあって、
1:28:32	これは入口とか出口の中に、コイルが
1:28:38	単独で細いものが入ってるってそういうことなんですね。
1:28:51	それとも0敗入口とか出口の太さの配管で、コイルが含まれているのかっていうその、その関係がちょっとわからなかったの、
1:29:06	もう1回表で見ると、冷媒入口出口って書いてあるところに帯がいるじゃないですか、オレンジと水色の、これを見るとこういうダクトとか配管、大きいのがいて、
1:29:18	その中にこの青い線とかアカイシみたいな声が通ってるっていえるんだけど、実は、実は、そういう時配管構造じゃなくて、もうだからこういう状態ではなくて、青とか赤のやつがもう、声としても、
1:29:32	何か関係してる状態ですけど、じゃあそう書こうか、何かダウンなんかおっかい配管中にこれが入ってみえるそうです。
1:29:40	でも、そうではないってことね。そうですね。うん。
1:29:44	どうも誤解を与えてるようなのではい。ちょっと事実に戻したようにしますはい。はい、規制庁カシマ聞こえましたし、おそらくそうだろうと思って聞いてますので、そこはよろしく願います。
1:29:56	あと610ページ目。
1:29:58	ここもウエイトバランスで佐瀬とかの逆流
1:30:04	通す逆流が感知したら、ウエイトバランスで動くようなメカニズムを今回書かれているんですが、
1:30:11	これで、
1:30:13	どうやって感知するのかというところで巡礼がなくなったら、ウエイトが落ちるってサイトが起動すると、そういうことでしょうか。なんか、逆流で、逆流によってこうウエイトが発生するような、
1:30:27	書き方をされてるんですが、ハウジョウを見ると、お互い準備がなくなることによって何か落ちるような、
1:30:34	メカニズムになっていてちょっと説明とおっしゃいませんかと思ってます。
1:30:40	だから、弓削西尾でございますまずおっしゃっていただいて、これ誤解を与える気がするので私も今日、

1:30:48	他の施設でもあるのはあくまで順流が止まったらその風が止まったことを受けてこのウエートが下がってくるという意味合いで思っていますので、
1:30:58	この事実はそうだと思うので事実即した記載にさせていただきますはい。
1:31:04	はい、規制庁ですよろしく申し上げます。あと 645 ページ目、前回、もう少し 20 ラインを、
1:31:14	二重化した時の考え方を説明してくださいということで、追加されたものと思うんですが、PDEやGがですね、ちょっとあんまりちゃんとコントロールできるかできてる感じがしなくてですね。
1:31:27	で、この構造をちゃんとす、担保するには、吊りワイヤーが減ったとしても不そのフックの上部にちゃんとかかっていることが条件だと思うん
1:31:39	です。そういう配慮ってされてますか。
1:32:00	はい。日本原燃車でございます。
1:32:03	20 あいあいするときに基本的な考え方をおっしゃっていただいたようにかけ方も含めた左右大小だったかななども含めたやり方のはずなので、
1:32:13	そこがちゃんとわかるように、これだと、日本って傾いて、何か全然駄目な感じに見えるので事実との関係で、二重化してることの効果っていうのをどう考えてるか。
1:32:25	いうことが見えるようにしたいと思いますはい。はい。
1:32:29	6、648 ページ目、燃料棒押さえを今回書いていると思うんですが、
1:32:40	この燃料防災って動いてる時も押されているんでしょうか。
1:32:44	もう止まっているときだけ押さえてるんです。
1:33:08	はい。ヤギのインダでございます。実際月に、
1:33:13	この間なエックス線装置。だからそっちの意味合いを書かないと分からないんだよこれ。
1:33:19	これだからあれでしょう。
1:33:21	上についてるビービービー底部詳細って書いてる図が上側についてのエックス線の検査装置ってこと。
1:33:34	違う。
1:33:35	でもそれだと、
1:33:37	それだとわざわざこいつが動くことにならないんじゃない。
1:33:40	この上は何のために動く。
1:33:49	されて、
1:33:55	えっと、
1:33:58	日本インダでございませうちょっとの書き方をもうちょっと整理します。
1:34:03	これ、うちの中にも言うのであれですけど、

1:34:06	全体の設備の中でこの燃料棒がどう動くのかっていうことと、その動いてる中、その時には燃料棒が動くパターンもあるし、そう違うパターンもあるかもしれないからそのパターンをちゃんと書いて、そのときに燃料を押さえてるの同意。
1:34:22	機能してるのかっていうのがわかるような絵にして、
1:34:26	OK。
1:34:28	日本インダでございますそういう形で整理をさせていただきますはい。はい。発表しました。
1:34:35	あと 658 ページ目、遮へいのところ。
1:34:40	今回追加いただいたと元にも説明があったんですが、
1:34:45	この使い分けというか、次の 659 ページ目もあるんですが、この遮へいふた仮置第 2 オク消すと、周りの記者ヘルパーの上に、
1:34:56	置くケースっていうのは、具体的にどういうふうに使分けられているんでしょうか。
1:35:19	はい、日本原燃石田でございます。藪氏、調べてみますって言っても、ぜひこのような気がしますが、リース関係だけいくと、パターとしては、土佐 659 ページみたいなやつは、グローブボックスの中のパターンがこのパターンが多いかなと思います。
1:35:39	グローブボックスん中という部屋に置いてあるものが 658 ページみたいなケースになるパターンが多い。多いけどもそんなケースあるわけじゃないですけどその辺でふたパターンで考え方になってますけどそれがなぜかっていうのをちょっと調べますはい。あんまり考え方ない気がしますが。はい。
1:35:58	はい、規制庁からどっちに設けるっていうことなのかもしれませんが、使う一応使い分けをちゃんと書かれているということでその、
1:36:08	部分、どういうケースに作るのかっていうところまで、ちゃんとこういう使い分けのところは記載して欲しいなと思った次第です。
1:36:18	あと、
1:36:19	664 ページ目。
1:36:26	ここが、
1:36:28	ですね凡例で圧力高圧力低を書いていて、この圧力高圧力では、隣のチャックの開閉のところのことを示されてるんですよまず、
1:36:44	はい、日本インダでございますはい。おっしゃる通りですということと、多分、そうですね。左側に凡例みたいに書くのがちょっと間違いな気がするのと、
1:36:55	あとここで言ってあった警報のインターロックみたいに見えちゃうので、空気を供給してる側と、廃棄してる側という関係かなと思いますけどは

	い。押し込んでるかどうかというところの位置関係が見えればいいのかと思いますので、
1:37:11	ちょっと全体判例も含めて整理をします。はい。その辺がわかるようになればっていうのがまずはあってあと、ちょっと色とかも、少し違うっていうのもあって、
1:37:21	上の設備の色になっちゃってるんで、圧力で何かそういうちゃんとした違いを明確にしていただければと思います。
1:37:32	あと 606。
1:37:34	600
1:37:35	もう 65 ページ名。もうこれも毎回ちょっと言ってること。
1:37:40	OKはあるんですが、結局、何が水産物における回転の、
1:37:49	から、回転によって影響を与えるものは改善までが欠損して飛んでいくっていうリスクなんですよ、ハザードなんです。
1:38:02	はい。まずはおっしゃってたというところSIはそっちですちょっとその、
1:38:07	その辺のことを書いて欲しくてですね文章の方でも少し書いてはいるんですが、
1:38:13	どこが熊どどこが会見になったときにどどこが売るのがかっていうのは私も、
1:38:19	全部一貫して書いてるんですが、
1:38:22	そのズーッとリンクをもう少し明確にしてもらおうというのと、
1:38:26	はい。確認したかったのは、
1:38:29	酸素誘電電動機ってこれ、衛藤。
1:38:33	1 番目はついてると思うんですが、
1:38:36	今の内部は水産物の回転基金を赤い展望シノ。
1:38:41	対策的な扱いを整理されていると思うんですが、
1:38:45	今の整理、
1:38:47	何かこれがあるからもう、
1:38:49	説明しませんみたいになってるような、
1:38:52	出していてこの後のベップダイゴ属も、
1:38:55	そういうふうに整理されてるんですが、
1:38:58	これってさ、
1:39:01	これがあるからもう説明しませんなのか、これで守りますっていう説明をするのがちょっと違うと思っていて、そこら辺いかがですか。
1:39:28	タブチのことじゃなくて、
1:39:30	まず、
1:39:32	皆さんが思ってる。
1:39:35	酸素誘導電動機をつけます。

1:39:38	説明以上終わりって持つてる母さんそういうエンドウゆ越冬誘導電動機をつけることによって、こういうことで抱えて防止できますという説明をしようと思っているか。
1:39:56	わかる。
1:40:00	いや、
1:40:01	それだと。
1:40:03	檀宗殿へ誘導電動機をつけることによって、こういう効果があるので、
1:40:08	改定になることはなく、飛散物が発生することはありませんまで説明することだね。
1:40:26	日本イシダでございます。まずう、ちょっと我々の書き方が、
1:40:33	中途半端かもしれませんが、最酸素誘導電動機をつけることによる効果、設計上の効果は期待をして、その効果が発揮されることによって回転機器による臭、
1:40:47	飛散っていかねそういったものにならない、繋がらないということを説明しようと思ってます。なので3層誘導電動機を使いました。だから第、それ以上説明するつもりませんということではないのかなと思ってましたが、
1:41:03	ちょっと説明が十分じゃないかもしれませんが今おっしゃってるのは、そこで止まってるように見えるってことですかね。はい規制庁です。補足説明資料なんかもそこで止まっていますので、そういうところをちゃんと説明してもらおうと、そういう電気がついてたらなんで、
1:41:18	はないのか、っていうところをちゃんと説明してもらおう必要があると、いうことです。
1:41:34	はい、日本イシダでございますはい。全体整理してはい。説明すべきことが説明できるようにさせていただきますはい。はい。あとこの観点で、
1:41:46	ちょっと基本設計方針がまだ調査おつきいも書いてあるんですが調速器で何か水産物を防止している機器っていうのはないんです。
1:42:09	はい、日本イシダでございますはい基本設計方針とかに書いてあるものはもう第3回の申請対象の非常用発電機、内アビルじゃなくてガスタービン等非常用発電機ですねその系統には物は出てきますねはい。
1:42:23	季節を貸すでしたらそういう壊す、第3回で説明されるということで第2回では、長期はないっていうことがいっぱい進言して、はい。そうなりますはい。
1:42:34	はい。あと、682ページ名で、ちょっといろいろ補足していただいたところ、
1:42:41	でもあったんですが、

1:42:43	ここの上面図の、何か楕円で書いてあってカセの上を書いてあるような小オダへ、どういう一番形になってるんでしょうか。
1:43:13	いや、それをどこに書いたってのが右側に書いたつもりってこと。
1:43:19	N招待で、
1:43:23	続けますよ。
1:43:31	緑色のやつがそもそもグローブボックスの柱だっていうのは、少々年度の上書いた。
1:43:39	吹き出し。
1:43:42	で、2、
1:43:45	ここでいうね、
1:43:49	この青と赤の関係が上の上面図は、
1:43:55	僕の艦隊で僕は普通なつつの上にくっつける。
1:44:03	日本イワイオカインシダウダオカさんが気にされてるってのは説明が足りないと思ってるポイントってどこで、
1:44:09	いえ、瀬口岡安これの柱というふうに聞いていて、それはわかるんですが、その上面ずーの、ここを例えば、
1:44:18	右側二つの柱、左側の三つの柱があって、それが下とコウ1関係の整合してルートということなんですよねおそらく。
1:44:28	はい。
1:44:29	はい、末次です。それでつつ帳面図コウ境界の線の上に給気口があるような感じに見えなくもないんですが、ここって、
1:44:40	グローブボックスの境界ってということなんですか。
1:44:44	はい、日本のインシダでございますこれ基本的にはグローブボックスのアノそうですね協会ってハセガワに建ってる柱を多分期待しているような気がしますので、
1:44:55	実態に合った形で書いてるつもりでした。はい。はい。末次。わかりました。
1:45:01	はい。ここは、その事実確認だけでした。私から以上です。
1:45:09	補足です。ちょっと先ほどの確認したところで1点、659ページ。
1:45:16	にある、その遮へいウタを重ねるっていう古藤なんですけど、
1:45:22	吹き出しを見ると、下流を基準に検討することを防止するためとあって、
1:45:29	この検討棒Cの説明としての共同評価ってのはされてますか。
1:45:43	宮城の石田でございます現状は示せてませんので整理をさせていただければと思いますはい。
1:45:51	はい。不足です。この転倒防止の趣旨は何でしょうか。
1:46:09	いや、だから、ここも、

1:46:12	GBがどっかに境界が書いてあれば、俺が検討した時にGBのパネルに当たる可能性があるからって言うんだけど、
1:46:18	その辺も何も書いてないから、これタダノフリーな状態で、漁期が終わったときに、
1:46:24	容器が、例えば下にある隣の貯蔵区域の遮へい物が壊れるのかこの、容器が入って上の方の天井みたいなところが壊れるってことを考えているのか何を気にしているのかがわからないから、それをどうしようかなと思った。
1:46:38	多分そういうことを言われてんじゃないかなと思って、今の絵だとわかんねえなど。
1:46:44	これで周りグローボックスいる。
1:46:46	アリマコウパネルがいるんだよね。前後にいるクマクラオクユキ手前、難しいです。
1:46:55	何でもいいので、
1:46:56	ああいう趣旨が伝わるようにしていただいて、そうすると、どういう評価であればいいのかも納得感があって、繋がっていくかなと。
1:47:07	はい、宮城石田でございます承知いたしました。
1:47:19	規制庁あれですけど、他、資料 3 関係でございます。
1:47:28	そしたら、
1:47:30	ちょっと最後んなっちゃいますけど、
1:47:33	補足が二つ用意されておりまして、ちょっと簡単に。
1:47:39	確認だけしていこうかなと思っています。
1:47:43	まず、閉じ込め 02 の方からにしましょう。
1:47:52	うん。
1:47:58	取り込み 02D、3 ページ目から、
1:48:02	今回どういう作業が開口部違うな、オープンポートボックスグループ、オープンポートボックスか、必要かっていうところを整理した時で反映されてると思うんですが、
1:48:16	今回補足説明、ちょっと私からで恐縮なんですけど、
1:48:20	この補足説明資料で示したいことっていうのは、
1:48:26	開口部の制限の、
1:48:28	運用なんですかね。
1:48:38	井上瀬谷でございます。開口部の制限を設定するに至ったベースの操作上の
1:48:49	考慮っていうんすかね。
1:48:50	いうことを書いてる、整理したつもりです。
1:48:55	はい。

1:48:56	そうすると、
1:49:00	3 ページ目の 2 ポツで、オープンポートボックスの開口部っていうところで、
1:49:06	作業に必要となる開口部及び開口ポート数の具体的な制限っていうところで、
1:49:12	開口部と開口ポート数を、例えば蚕ポート数二つ以下にしますとかっていう制限が、
1:49:20	運用が図れていて、そのあとオープンポートボックスごとに、
1:49:26	2.2 から(1)から(ウ)参加 4 ぐらいまでであると思うんですが、
1:49:32	これ出てくる作業っていうのは、どういう観点で、抽出した作業なんでしょう。
1:49:39	例えば
1:49:41	もうちょっと明確にした方がいいかなと思ったのは、
1:49:49	設計で定めている作業の中で、
1:49:52	一番、
1:49:55	ポートを開ける作業がこれなんですっていう考え方が最初に示されるのかなと思ったんですけども、そういうエッセンスを含んで、代表、代表的っていうか何か一番、
1:50:07	開ける作業を入れてるっていう理解でいいですか。
1:50:26	はい、日本イシハラでございますちょっと私もうまくありませんアライさんのご指摘とか趣旨を理解できてないかもしれません。
1:50:35	あれですよ。もともと想定されるものを、パーツとリスト化してその中で最大なものを選ぶというやり方をしているのかっていう趣旨ですかね。
1:50:46	ざっくりはそうです。
1:50:49	はい。そういうやり方ではないところもありますっていうのは結局限定するという趣旨でいけば決めて、このポート数以上開けないということを決めようということなんですけど。
1:51:01	どういうふうに入るかがわかりず、決めづらいメンテナンスみたいなものもあるので、それは、それ以外の通常やる操作をメインどころにしてですね、
1:51:14	そこで開ける数の中で、それ以外の想定されるメンテナンスみたいなものも制限管理をしていこうというやり方で整理をしました。
1:51:25	なので、言い方としてはどちらかというとポートの数を決められる、メインの採用をまず挙げてそれに対するポート数を決めると、それをある種制限値として今設定しようというやり方でやりました。
1:51:39	古作です。
1:51:41	何かそもそものう。

1:51:43	節項に申請の前の段階に戻ったような気がするんですけど。
1:51:47	累計ってどうなっちゃったんですか。
1:51:54	補足説明資料の構成も話したことと全く違ったままなんですけど。
1:52:25	右のイシハラでございますおっしゃっていただいているのはいいですかね 本とオープンポートボックスに対する制限という意味では、何個か、10 何個あるオープンと簿。
1:52:40	ポートボックスに対して、全体累計の大枠の考え方を持っていて、それ に対して、すべてに適用していくという流れがあって、具体の流れとして はこういうものがそれぞれあって、
1:52:54	今の基本的な考え方からすると、こういう数になりますという、という流 れなんではないのかということですかね。
1:53:04	はい。コサクです。基本的にはそうでしかなくて、じゃないと基本設計方 針として整理がしてあって、次回の申請も含めてこういうような体系で、
1:53:15	対応しますということには繋がっていかないんで、その点を整理してもら えればと思います。その上である程度その枠としてちゃんと制限します って言ってるんだったら、
1:53:28	次回も含めてですね、この補足についてはその宣言の内数でこういうよ うな作業ができるようになってますっていう。
1:53:38	後追的な、
1:53:39	状況説明っていうことだと思うん
1:53:42	ですよ。
1:53:43	その明示がどんどん増えていくのは構わないっていうのは、これまで もお話してると思うんですけど、
1:53:57	ちなみに現状の目次だと全部、補足説明資料つけますみたいになって るんですけど、
1:54:04	我々はそこまでは求めていなくて、
1:54:07	同様ですっていうことであれば同様でよくて、
1:54:12	同様とは言いにくそうなものっていうのは例示として追加してもらった らいいかなと思うんですけど、その辺りは、
1:54:19	どうなってますかね。
1:54:21	はい、日本イシダでございますはい。そこは、はい。私がかよく整理でき てなかったかなと思います。はい。おっしゃっていただいたようにこれ、
1:54:31	3回のやつも同様だと言って全体カバーしてここでクローズしようとして いるということと、ある種、仕様表の中でも制限として設定しているの で、これを超えてはならんということからすると、

1:54:45	その低減のかけ方の基本的な考え方があってその中の内数で全部を入れるんだったら以下の部分で終わりかなということオカとも思いますので、
1:54:56	ちょっと考え方を整理をして、全体他の補足も含めて整理つなげていけるようにしていければと思いますはい。
1:55:09	もう終わり。
1:55:11	他ありますか。
1:55:15	閉じ込め0に関して、
1:55:20	今の補足説明資料の構成とか目的とか、共通する部分だと思しますので、今回のやつに限らず、適宜水平展開をお願いできればと思っています。
1:55:32	うん。
1:55:34	はい続いて閉じ取り込みじゃなくて、あんいう09。
1:55:39	なんですけども、
1:55:41	内部発生飛散物に対する設計を実施する設備の選定についてというところで、
1:55:48	うん。
1:55:51	これは、
1:55:55	設備を網羅的にリスト化するっていうことが目的なんですよねこれ。
1:56:04	どこまで示すかって言い言くと、
1:56:11	はい、日本インダでございませう、防護対象施設通が置いてある部屋まさしく内部発生飛散物を考慮しなきゃいけない場所っていうのを、ポーラ一的に特定してあげていくというのが、目的みたいなもんですか。はい。はい。
1:56:25	それで、5 ページ目で、表がついてると思っててですね表がついておりました、
1:56:33	最後の、右一番右の欄のMOX粉末を取り扱うグローブボックスに該当する該当しないっていうのを、
1:56:43	ここで分けてるじゃないですか。
1:56:44	例えば、②該当したら、次に何かのアクションが起きたり、
1:56:50	バーだと。
1:56:52	ここで何か設計が止まるとか、そういうものに使う。
1:56:57	ものなんですかこの凡例っていうか0の丸とバーの。
1:57:02	意味合いというのは、
1:57:05	ただ単にありますっただけなんですか。
1:57:08	グローブボックスが。

1:57:17	丸の場合は、こういう設計になりますとか、こういう説明になりますとかっていう次のステップに繋がるのかなとかって思ったりしたんですけど。
1:57:28	次のステップに繋がるための判例に利用されるのかなと思ったんですけど。
1:57:38	人間一緒にちょっと待ってください。
1:58:56	コサクですけど、すいません時間もあれなので、三瓶G見るとですね。
1:59:01	MOX粉末を取り扱うグローブボックスについてもっとこうやっていったり、これ配置設計逃げる、その、その部屋にフレームを設置しないとかっていうような特別な考慮をしているという、
1:59:14	形になってたりスルーのですけど、
1:59:17	そういったことに繋がるのかどうかとか、そこら辺を
1:59:22	いつももう原燃であれば、
1:59:25	フロー図を書いてですね。
1:59:27	どういうパターンがあってそれは示せるようにこういうデータを出していきますっていうふうになっていると思うんですけど。
1:59:34	この辺りが大分わかりにくいので整理していただけますか。
1:59:40	はい。二本木の石田でございますはい、承知いたしました。はい。
1:59:47	はい。規制庁の荒井です。
1:59:51	フカワで
1:59:52	13 ページ目で、飛散物となりうる機器の選定っていうところで、
1:59:59	先ほど、
2:00:00	一井、一部言及ありましたけども、
2:00:04	長谷。
2:00:05	なお、最後のなお書きですね発生要因のうち電力不働元とする回転機器についてはっていうところで、
2:00:14	結局、回転速度を一定と維持するため、回転による、
2:00:20	回転ばねの損壊等の発生の、
2:00:24	発生し産物の飛散物の発生を防止できることからっていうところで、
2:00:30	その構造的な説明っていうのはさっきの資料 3 の中で説明し切るっていうイメージでいいんですかね。
2:00:43	はい。与儀ニシダでございますはい。おっしゃっていただいている通りかと思えますその関係性の整理、多分ここも先ほど岡さんが言われた、説明したことになってるのかっていうところの疑問系
2:00:56	うん。途中で切れたっていう感じもあるので、全体どういうことを説明したいのかっていうのを整理した上で、資料 3 のページと、この個別補足での関係性というのを整理したいと思いますはい。
2:01:10	はい。

2:01:13	私からは以上です他、
2:01:16	あれば、よろしく願いいたします。
2:01:21	あとコサクですけど、
2:01:25	ちょっと何か爾見見てなくて申し訳ないんですけど、ここはあくまで斜んこ。
2:01:32	設計を実施する設備野瀬。
2:01:35	選定だから、被害者側を抽出するだけ。
2:01:39	ですか。
2:01:45	日本原燃瀬谷でございますちょっとですねそこがわかりづらいと いて
2:01:52	5 ページ、さっきフローって話もしていただきましたけど 5 ページから書いているのは多分これ、被害者を書いているんです。次の表に行くと、右左が出てくるのが加害者に入れ替わるんですよ。
2:02:06	多分その関係性がわかりづらくてですね、全体として流れてないんだと思うんです。その上で、加害者と被害者の関係を含めて、
2:02:17	被害者が例えば申請対象設備になっていない人が、車もサノ設備のときに、先ほどあった 26 ページじゃないですけど、※打って右側に飛ばしてるんですけど、
2:02:28	そういったことの全体の流れ、どうやってこの説明をしていくつもりかっていう流れをちゃんとまずは整理をした上でそれぞれの表の役割とひもづけと、
2:02:38	いうことの整理が必要かと思いました。はい。
2:02:42	はい。コサクです。そうですね。後ろの方見て、前に戻ってきてからあれっと思ったのであえて前のことだけで言いましたけど、加害者側も書いてあるので、
2:02:53	加害者側もですねいくつか発生の要因の分類とか整理されているようではあるんですけど、
2:03:01	ここの累計の話になっちゃって申し訳ありませんが、どういうものでありそれをどう評価していくのかっていう抽出された加害者についての類型がありそれをどこで説明するのかっていう、
2:03:16	形までつなげていただければいいかなと思います。今も添付書類、
2:03:22	参照とかっていうので幾つか飛ばしてる部分もあると思うんですけど、その辺りももう少し、先ほどのところで載せて、
2:03:33	と書いて機器の説明もまた別の場所で整理されるんでしょうから、それとの繋がりっていうのもわかるようになればいいかなと思います。よろしく願いします。
2:03:45	はい。弓削ニシダでございますはい。整理します。

2:03:50	はい。他、よろしいでしょうか。
2:03:58	はい。
2:03:59	ちょっと補足説明資料についてはまた何ていうか
2:04:04	少しやり直してもらう、いただく部分が多いかなっていうふうには思いますが、
2:04:09	他の補足説明資料もありますので、例えば搬送 01 とかもありますので、今言ったような視点でちょっと整理をいただきたい、いただければと思っております。
2:04:20	補足です。ついでに申し上げますと、
2:04:24	加害者の方で、これで抽出し切れてるっていうのはどういう説明する
2:04:40	はい。日本インダでございますはい。加害者特に配置図なのか。
2:04:48	物が無いんで僕らもできないですから、見えないんで、開いてつないで説明をするしかないかなと思ってました。はい。
2:04:55	はい。コサクです。それも、ここの補足でつけないと、これ以上、
2:05:01	ケーヨーが無いんですね。
2:05:04	はい、柳下でございますはい。どこにも行きようがないのでこの中で説明をできればと思いますはい。はい。コサクです。よろしくお願いいたします。
2:05:12	以上です。
2:05:14	はい。
2:05:16	それでは、今日の項目、非常に多かったですけど、全体通じて何かございますか。
2:05:28	原燃側から。
2:05:29	振り返り、これからやろうと思ってる人も時間とかって必要ですか。
2:05:39	はい、日本のイシハラでございますこのままいきますかね。はい。
2:05:45	はい、じゃあ、本日の共通中に、本体から補足、最後やったやつまで振り返りを簡単をお願いします。
2:05:56	はい、日本インダでございます。まず
2:06:02	ベースRIS等の話と目次の関係ですね、添付 1 添付 2 度を出すときの、
2:06:09	別々に出す場合のことも考えた記載の整理というのをさせていただくというのが一番最初は宿題として承ってました。
2:06:18	あと資料 4 としては全体的にはまず資料 4 としての説明、今後どうしていくか、合意をどう目的をどうするかということ、あとその中での代表の考え方であったり類型だったり、
2:06:32	いうことを、ちゃんと整理をしていかないと、現状だと、まだ十分ではないということだと思っておりますので整理をしていきます。
2:06:40	ということ。

2:06:43	あとは、
2:06:47	その資料
2:06:48	1の方は、
2:06:53	溢水の話が一番メインであって溢水として今回、分割申請の中の第2回になりますので、第4回で出そうとして溢水評価までの全体の流れとして、
2:07:04	第2回で説明する対象というのが何かと言うことも、あと仕様表との関係というのも含めて整理を示していければと思います。
2:07:15	はいこれちょっと個別の速度101を改定するなり何なり、改定すると話おかしいだろうか、別もんで作るか、ちょっとどうするかの個別補足の扱いも含めて整理をしますはい。
2:07:30	あとは、資料1の関係では再処理の外傷での整理のフィードバックがまだできてなかったところがありますので反映していきますということ。
2:07:41	あと、資料2の関係は、10条と21条資料2の中ではセットになってますが資料1側の丸のつけ方の整理は、全体見てさせていただきたいと思います。
2:07:55	あと資料3関係は、
2:08:01	別法則ですね特に耐震も含めた個別放送部のところの整理ベッドをヒアリング設けてやらしていただく必要があるのでそこは処理と合わせ技も含めて、どうやっていくか作成を考えたいと思いますということが宿題だと思ってます。
2:08:18	はい。あとは線が、
2:08:22	おかしかったりというところ、動きも含めて修正をさせていただくということ、あと図面の方で、
2:08:31	いくつかご指摘ありましたので、修正を進めます。例えば、遮へい扉ですね、
2:08:42	上と下の固定部江川のオノドウ分のところは、詳細書いてありましたが下で受けてるところの構造がなかったりというのもありましたのでその記載を拡充するということと、
2:08:53	ああいった時の固定云々の話ですね、その辺の整理事実関係を確認した上で、図のほうに反映するなど反映していくということかと思ってます。
2:09:04	はい。
2:09:07	あとは、
2:09:10	の、
2:09:12	あとはもう04と風量の関係はすみません、図が、間違ったところは修正をしますということ。

2:09:19	ですかねあとは図の中で、し説明しきれないところは全体の拡充なりをしていきたいと思います。
2:09:28	はい。あとは資料 2-4 の個別の市場側での話としては、まずはこの資料 4 の特に(2)の中でどういうことを示していくかということ。
2:09:42	個別補足との関係であったり仕様表とか、添付の図面であったりの関係であったりということを、
2:09:51	領域イケダのやつを、サンプルにしてまずは全体像を示していこうと。それを水平展開していく形で順次、整理がしていければと思ってますのでそのやり方を進めていきたいと思います。
2:10:05	はい。あとは耐震側のモデルのところの付加質量の与え方だったり荷重のかけ方だったり、
2:10:14	必要などころは書いてないところも、並行して追加をしながら、労働液受け皿である全体の考え方に合わせて、必要な修正を加えていくことを進めさせていただければと思います。
2:10:30	はい。あと個別補足は、意見がありましたけども全体としては類型も含めた個別報告としての位置付けの整理をまずちゃんとや、
2:10:42	その位置付け整備方針に基づいた資料形態にさせていただくということかと思います。はい。
2:10:51	ということと、ああいう 09 の方は、閉じ込めとのリンクで内部発生飛散物以外にも楠本取り扱うグローブボックスと重量物の間を取り扱う機器との関係みたいのが、
2:11:06	合わせ技になってますけど、中の表を見てもその合わせ技にもなってないような気もするので、全体の考え方なりをフローでちゃんと書いて、それぞれの
2:11:17	橋渡しも関係性を示していくということで一度整理をしたいと思います。はい。振り返り以上です。
2:11:26	はい。今の振り返り等全体を通じて規制庁側から何かございますか。
2:11:40	はい。そしたら特にないようですので、本日のヒアリングは、これで終了したいと思います。
2:11:49	原燃側からもよろしいですか。
2:11:53	はい。横にありません。
2:11:54	はい、では終了します。